

令和3年版

# 消防年報



厚木市消防本部

# は じ め に

この年報は、令和2年度（一部令和2年）中における厚木市消防の概要を収録したもので、消防防災行政を広く紹介することを目的に編集しました。本書を地域防災活動の推進の参考として御活用いただき、消防行政に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

厚木市消防本部



# 目 次

一目統計	1
消防長あいさつ	2
消防団長あいさつ	3

## 【市と消防の概要】

### 厚木市の市勢

1 位置及び地勢	4
2 面積・人口・世帯数	5
3 人口の推移	5

### 消防の概要

1 常備消防のあゆみ	6
2 消防現勢（常備）	16
(1) 消防本部・署（分署）配置図	16
(2) 常備消防力の基準	17
(3) 消防庁舎概要	18
(4) 消防の機構図	19
(5) 消防職員配置状況	20
(6) 消防車両種類別内訳	21
(7) 本部・署車両配置状況	22
3 消防予算	24
(1) 消防費前年度比較	24
(2) 消防費財源内訳	24
(3) 年度別市当初予算と消防費の比較	24
(4) 消防費と人口の比較	24

## 【総 務】

### 消防職員

1 消防職員階級別勤続年数調	25
2 消防職員階級別年齢調	26
3 消防職員免許等取得状況	27
4 消防職員採用・退職状況	28

5	消防職員年度別公務災害発生状況	28
6	人事事務	29
7	衛生管理	29
8	表彰	29
9	教育・研修	
	(1) 派遣研修	30
	(2) 教養研修会等	30
	(3) 現地・教養訓練	30

## 消防施設

1	施設整備	31
2	水利状況	32
	(1) 地区別消防水利設置状況	32
	(2) 耐震性貯水槽の設置状況	33

## 消防車両

1	消防車両更新状況	34
2	消防車両整備の概要	34

## 【火災予防】

1	火災予防運動	35
	(1) 秋季火災予防運動	35
	(2) 春季火災予防運動	35
2	防火管理者等調	36
3	消防法・火災予防条例に基づく届出等処理状況	37
4	防火対象物定期点検報告制度	37
5	幼稚園児、小学生の消防署見学の推移	38
6	雑草地の指導	39
7	初期消火協力の推進	39
8	立入検査実施状況	40
9	消防同意事務等	41
	(1) 過去10年間の同意件数	41
	(2) 月別同意件数	41
	(3) 地区別及び用途別同意件数	42
10	防火対象物状況	43
11	高層建築物の状況	45
	(1) 高層建築物数	45
	(2) 主な高層建築物	45
	(3) 地区別・中高層建築物数	46
12	消防用設備等着工・設置届出状況	46

13	危険物施設	47
	(1) 危険物	47
	(2) 危険物施設の状況	47
	(3) 過去10年間の危険物施設の推移	47
14	地区別危険物施設	48
15	危険物施設等立入検査状況	48
16	危険物施設の事務処理状況	49
17	少量危険物等届出状況	49
18	危険物手数料	50
	(1) 手数料納入額	50
	(2) 過去10年間の危険物手数料の推移	50

## 【警 防】

### 火災の概要

1	火災種別死傷者発生調	51
2	火災概況調	51
3	過去10年間の火災件数	52
4	主要火災原因別累年比較調	52
5	損害見積額累年比較調	53
6	全国・県・市火災発生状況調	53
7-1	月別・曜日別火災発生状況(その1)	54
7-2	月別・曜日別火災発生状況(その2)	55
8-1	時刻別火災発生状況(その1)	56
8-2	時刻別火災発生状況(その2)	57
9	月別原因別火災発生状況	58
10-1	原因別火災発生状況(その1)	59
10-2	原因別火災発生状況(その2)	60
11	月別用途別火災発生状況	61
12-1	地区別火災発生状況(その1)	62
12-2	地区別火災発生状況(その2)	63
13	曜日別累年火災発生件数調	64
14	月別火災件数の比較調	64
15	消防相互応援件数(火災)	64
16	昭和40年以降の主な火災	65

### 消防署部隊の出動・訓練概要

1	月別部隊出動状況	66
2	月別部隊訓練等状況	66

## 【通信・指令】

### 通信・指令の概要

1 通信業務	67
(1) 119番受信状況	67
(2) 月別119番受信状況	67
(3) 119番受信状況の推移	67
(4) NET119緊急通報システム	68
(5) 多言語通訳	68
(6) 高機能消防指令システムを構成する装置	68
(7) その他の関連機器	69
(8) 神奈川県消防救急デジタル無線設備（共通波）	69
(9) 署活系無線	69
2 消防通信系統図	70
3 覚知別月別火災発生状況	71

### 気象

1 厚木市の気象状況	72
(1) 天候	72
(2) 気温	72
(3) 相対湿度	72
(4) 風向・風速	72
2 気象通報発表状況調	73
3 累年降雨量調	74
4 月別気象別火災発生状況	75
5 風向と火災件数	75

## 【救 急】

### 救急救命

1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制	76
2 応急手当普及啓発活動	76

### 救急活動

1 救急活動の概要	77
2 救急活動累年比較調	78
3 月別救急活動調	79
4 署所別救急活動調	80
5 月別覚知別救急件数調	81

6	曜日別救急件数調	81
7	年齢別搬送人員調	82
8	傷病程度別搬送人員調	82
9	傷病程度別年齢区分別搬送人員調	83
10	救急隊員の行った応急処置件数調	83
11	一般市民の行った応急手当件数調	83
12	発生地区別救急件数調	84
13	時間別救急件数調	85
14	消防相互応援件数（救急）	85
15	救急支援出動件数	86
16	派遣型救急ワークステーション医師同乗出動件数	86
17	熱中症年齢別程度別搬送人員調	87
18	熱中症年齢別発生場所別搬送人員調	87
19	家庭内や身近な生活で発生したケガ等の年齢別原因別搬送人員調	88

## 【救 助】

### 救助活動の概要

1	救助出動状況調	89
	(1) 救助出動件数	89
	(2) 地区別救助出動件数	89
	(3) 消防相互応援件数(救助)	90
	(4) 救助出動の推移	90
	(5) 主な人命救助活動	91
2	救助技術の強化	91
3	救助関係主要機械器具等一覧表	92

## 【消防団と古式消防保存会】

### 消防団

1	厚木市消防団のあゆみ	93
2	消防団事務	98
	(1) 公務災害補償	98
	(2) 退職消防団員に対する報償	98
	(3) 表彰	98
	(4) 消防団員教養訓練等	98
3	福利厚生	99
4	消防操法	99
5	消防団組織と現勢	100

6	消防団施設配置図	101
7	産業別消防団員調	102
8	消防団員退職状況	102
9	退職報償金年度別及び階級別支払状況	103
10	階級別年齢調	103
11	階級別勤務年数調	104
12	消防団員年度別公務災害発生状況	104
13	消防団員報酬	105
14	消防団員費用弁償	105
15	消防団出動状況	105
16	消防団施設一覧表	106
17	消防団車両保有状況	109
18	水防・資材倉庫施設一覧表	111

### 厚木鳶職組合 古式消防保存会

1	古式消防保存会のあゆみ	112
2	組織図	112

# 一目統計

面積	厚木市 93.84 km <sup>2</sup>	人口	厚木市 223,604人	世帯数	厚木市 101,903世帯	消防予算	4,063,944 千円
	清川村 71.24 km <sup>2</sup>		清川村 2,877人		清川村 1,256世帯		一般会計構成比率 4.7 %
(令和3年4月1日現在)		住民基本台帳人口 (令和3年4月1日現在)		(令和3年4月1日現在)		(令和3年度)	

職員数	定員 253 人	署所数	1 本部	消防団員数	定員 579 人	消防団組織・車両	8 分団 52 個部
	実員 258 人		2 消防署		実員 523 人		小型動力ポンプ付積載車 52台 その他の車両 1台
(令和3年4月1日現在)		(令和3年4月1日現在)		(令和3年4月1日現在)		(令和3年4月1日現在)	

消防署車両	消防ポンプ車 10 台	水利	水槽付ポンプ車 2 台	一一九番受信件数	消火栓 2,378 基	(令和2年中)	14,562 件
	はしご車 2 台		救助工作車 2 台		防火水槽 1,968 基		1日当り 約39.8件受信
(令和3年4月1日現在)		合計 70 台		(令和3年4月1日現在)		(令和2年中)	

火災件数	48 件	主な出火原因	・ こんろ 6 件	救急件数	10,600 件	主な救急種別	1 急病 6,710 件
	約8日に1件発生		(放火疑い含む)		・ 1日当り29件		2 一般負傷 1,536 件
(令和2年中)		(令和2年中)		(令和2年中)		(令和2年中)	

防火対象物	消防用設備等設置届出数 513 件	危険物施設	製造所 3 件	定期点検報告制度 防火対象物	防火優良認定証交付対象物数 43 件	普通施救状況講習	1,753 人
	防火管理者選任対象物数 1,832 件		貯蔵所 297 件		取扱所 165 件		普及員 22 人 上級 0 人 普通 1,417 人 一般 314 人
(清川村含む) (令和3年3月31日現在)		(令和3年3月31日現在)		(令和3年3月31日現在)		(令和2年度)	



## 消防長あいさつ



厚木市消防本部は、厚木市、清川村を管轄し、1本部、2消防署、7分署、職員258名体制で消防活動、救助活動及び救急活動に当たっております。

近年、消防を取り巻く環境は大きく変化しており、日常生活を脅かす火災や事故はもとより、各地で発生する地震や豪雨災害、また、新たな感染症の脅威など、予測不能なあらゆる災害に対応することが求められています。

これらの状況を踏まえ、消防体制の更なる充実強化に取り組むとともに、職員一人一人が消防の任務に誇りと使命感を持ち、市民の皆様から信頼される組織を目指して職員一丸となって消防行政運営に邁進してまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

消防長 太田 寛

歴代	氏名	就任
初代	石川 正治	昭和38年4月
第2代	小林 文雄	昭和41年4月
第3代	高橋 正男	昭和48年10月
第4代	柳谷 由雄	昭和54年4月
第5代	原川 久雄	昭和56年4月
第6代	飯塚 和生	昭和56年7月
第7代	村上 勝	昭和58年4月
第8代	高橋 卯平	昭和61年7月
第9代	村上 勝	昭和62年7月
第10代	北条 昌彦	平成2年4月
第11代	三橋 知光	平成3年5月
第12代	伊藤 悟	平成3年5月
第13代	齋藤 健一	平成4年4月
第14代	藤井 信義	平成5年4月
第15代	霜島 榮	平成9年4月

歴代	氏名	就任
第16代	落合 次郎	平成10年4月
第17代	土屋 茂	平成12年4月
第18代	山口 正男	平成12年10月
第19代	小島 一郎	平成14年4月
第20代	平本 菊一	平成16年4月
第21代	鈴木 太平	平成17年4月
第22代	柏木 孝之	平成19年4月
第23代	小瀬村恒男	平成20年4月
第24代	落合 俊雄	平成22年4月
第25代	飯島 悟	平成23年4月
第26代	朝倉 國夫	平成26年4月
第27代	山田 茂穂	平成27年4月
第28代	鈴木佐重喜	平成28年4月
第29代	太田 寛	令和2年4月

## 消防団長あいさつ



厚木市消防団は、昭和 30 年 2 月、5 町村（厚木町、睦合村、小鮎村、玉川村、南毛利村）の合併による「厚木市」とともに発足しました。現在、8 個分団 52 個部、523 名で活動しております。

我々消防団員は、市民の皆様の安心安全を守るため、郷土愛護の精神と強い責任感をもって日々研鑽に励んでおります。

しかしながら、近年の社会情勢の変化に伴い、団員数の減少などの様々な課題に直面しております。

消防団といたしましては、地元企業の皆様や次世代を担う学生など多様な方々の入団を促進してまいりたいと考えております。

これからも、市民の皆様の安心安全のためにより一層組織の充実強化を図る所存です。

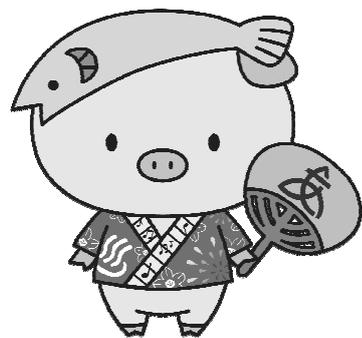
今後ともご支援・ご協力を心からお願いいたします。

消防団長 望月 玉三朗

歴代	氏名	就任
初 代	木下 信勝	昭和 30 年 2 月
第 2 代	新戸 裕治	昭和 31 年 8 月
第 3 代	山本総三郎	昭和 33 年 2 月
第 4 代	向島 孝秋	昭和 33 年 4 月
第 5 代	吉村 博	昭和 51 年 4 月
第 6 代	小泉 阿栗	昭和 57 年 4 月
第 7 代	小瀬村初男	昭和 59 年 4 月
第 8 代	和田 美正	昭和 63 年 4 月

歴代	氏名	就任
第 9 代	関野 靖徳	平成 3 年 8 月
第 10 代	萩原 隆行	平成 6 年 4 月
第 11 代	森久保純生	平成 14 年 4 月
第 12 代	森屋 昭一	平成 18 年 4 月
第 13 代	堀池 春夫	平成 22 年 4 月
第 14 代	井上 衛	平成 26 年 4 月
第 15 代	望月玉三朗	平成 30 年 4 月

# 市と消防の概要



# 厚木市の市勢

## 1 位置及び地勢

方位	経度	地名	方位	緯度	地名
極 東	東経 139° 22′ 45″	下依知	極 北	北緯 35° 31′ 41″	上依知
極 西	東経 139° 13′ 42″	七 沢	極 南	北緯 35° 23′ 41″	戸 田

厚木市は、神奈川県を中心に位置し、西に大山を境に秦野市、西から北にかけて愛甲郡清川村、愛川町に、北から東にかけては相模川をはさみ相模原市、座間市、海老名市、高座郡寒川町に、また南は平塚市、伊勢原市と6市2町1村に接している。

地勢は、西北から東南に緩やかに傾斜し、西部及び西北部は山岳地帯で数系の小山脈が南北に走っている。ことに西部においては霊峰阿夫利の峰大山がそびえ、丹沢山塊へ無限に連なっている。

市の東部は、遠く富士五湖の一つである山中湖に源を発する相模川の清流が南北に貫通し、これに併流する中津川、そして小鮎川、これら河川の流域に平野が開けている。

東西 13.76 キロメートル、南北 14.71 キロメートルの扇形に近い地形で、面積 93.84 平方キロメートルを有している。

市街地は、三河川の合流点の右岸に位置し、文化、産業、交通の要衝で東京へ 46 キロメートル、横浜へ 32 キロメートルという地理的条件に恵まれている。



## 2 面積・人口・世帯数

(令和3年4月1日現在 ※厚木市のみ)

区分 地区別	面積 (km <sup>2</sup> )	人 口			世帯数 (世帯)	1 km <sup>2</sup> の密度	
		計(人)	男(人)	女(人)		世帯数(世帯)	人口(人)
計	93.84	223,604	115,524	108,080	101,903	1,086	2,383
厚 木	3.597	34,349	17,684	16,665	18,903	5,255	9,549
依 知	13.955	31,438	16,799	14,639	13,713	983	2,253
睦 合	10.195	41,015	21,082	19,933	18,063	1,772	4,023
荻 野	17.273	25,482	12,913	12,569	10,725	621	1,475
小 鮎	13.376	14,001	7,224	6,777	6,197	463	1,047
南毛利	10.377	49,791	25,768	24,023	22,486	2,167	4,798
玉 川	18.223	9,557	4,732	4,825	3,714	204	524
相 川	6.316	14,174	7,486	6,688	6,402	1,014	2,244
緑ヶ丘	0.518	3,797	1,836	1,961	1,700	3,282	7,330

(住民基本台帳人口)

## 3 人口の推移

(各年4月1日現在 ※厚木市のみ)

年 別	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
H24	93,513	224,038	116,534	107,504
H25	94,366	224,415	116,666	107,749
H26	95,641	224,700	116,705	107,995
H27	96,617	224,749	116,793	107,956
H28	96,137	225,284	116,394	108,890
H29	97,132	224,994	116,233	108,761
H30	98,638	225,194	116,407	108,787
R 1	99,669	224,655	116,132	108,523
R 2	100,792	224,139	115,937	108,202
R 3	101,903	223,762	115,718	108,044

(平成27年国勢調査確報値を基準とした推計人口)

## 消防の概要

### 1 常備消防のあゆみ

昭和35年1月14日午後9時35分ごろ、中央商店街の料亭「末広」から出火した火災で8棟を全半焼（6世帯）し、繁華街で、国道に面した現場は、交通がマヒし大混乱となった。

この火災を契機として、常備消防設置の気運が一層高まり、同年3月25日「厚木市消防審議会」が設置され、同年8月の臨時市議会で部課設置条例を改正し「総務課消防係」を「消防課」に昇格、新規採用12名の消防職員を県消防学校に派遣し、卒業を待って、同年12月1日消防常備隊が発足した。

昭和35. 12. 1	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し消防職員19名をもって消防常備隊発足
昭和36. 6. 2	横浜市在住 福住喜代治氏から救急自動車1台寄贈される
昭和36. 6. 3	救急業務開始
昭和37. 1. 24	親子型消防ポンプ自動車1台購入
昭和37. 8. 6	指令車1台購入
昭和37. 10. 26	消防用中短波無線機（基地局1基 移動局5基2120KC）設置
昭和37. 11. 1	中型消防ポンプ自動車1台購入
昭和38. 4. 1	消防本部及び消防署設置 初代消防長 石川正治 就任 (1)組 織 署長以下42名 (2)設 備 水槽付消防ポンプ自動車1台 親子型消防ポンプ自動車1台 中型消防ポンプ自動車1台 救急自動車1台 (3)場 所 厚木市元町9-3
昭和39. 6. 10	救急自動車1台購入
昭和40. 6. 30	救助自動車1台購入
昭和40. 7. 10	特命救助隊編成（消防士長2名 消防士10名）
昭和41. 4. 1	第2代消防長 小林文雄 就任
昭和41. 8. 10	消防用超短波無線電話機（152.81MC） 基地局1基 移動局13基に切替える
昭和41. 10. 1	厚木市消防署吹奏楽部発足
昭和41. 10. 29	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
昭和43. 2. 20	救急自動車1台購入
昭和43. 4. 1	厚木市消防音楽隊発足 隊員以下19名
昭和43. 5. 20	庁用車1台購入
昭和45. 11. 24	広報車1台購入
昭和46. 4. 1	消防副士長制度採用
昭和46. 12. 27	指令車1台購入
昭和47. 2. 26	化学消防ポンプ自動車1台購入
昭和47. 3. 31	親子式消防ポンプ自動車1台購入
昭和47. 6. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を107名に改定
昭和47. 7. 1	厚木市消防庁舎落成 厚木市消防署の組織改革により第1警備隊、第2警備隊を設置 郵政省令の改正に基づき消防狭帯化（150.07MC） 基地局1基、移動局13基に切替える

昭和47. 11. 4	はしご付消防ポンプ自動車 (24m級) 1台購入
昭和48. 3. 30	作業車 1台購入
昭和48. 10. 5	第3代消防長 高崎正男 就任
昭和48. 11. 16	連絡車 1台購入
昭和49. 1. 22	消防専用超短波無線電話機 (救急波腹信方式147.76MHz) 基地局 1基、移動局 3基設置
昭和49. 4. 1	消防本部機構改革に伴い課制を施行し警防課に危険物係を設置 ・庶務課 (庶務係、装備係) ・警防課 (予防係、警防係、危険物係)
昭和50. 1. 7	消防ポンプ自動車 1台購入
昭和50. 2. 7	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 1台寄贈される
昭和50. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を109名に改定
昭和51. 3. 31	日本損害保険協会から救急車 1台寄贈される
昭和51. 11. 20	厚木市消防音楽隊の組織改革により、厚木市消防音楽隊の定数を28名に改定 隊長 1名 副隊長 2名 楽長 1名 隊員 24名
昭和51. 12. 22	指揮車 1台購入
昭和52. 4. 1	厚木市消防署荻野分署設置 消防隊、救急隊を配置
昭和53. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を123名に改定
昭和53. 12. 19	消防ポンプ自動車 1台購入
昭和54. 4. 1	第4代消防長 柳谷由雄 就任 厚木市消防署南毛利分署設置
昭和54. 10. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を133名に改定
昭和54. 12. 1	厚木市消防音楽隊再編成 隊員11名
昭和54. 12. 13	消防ポンプ自動車 1台購入
昭和55. 3. 17	救急自動車 1台購入
昭和55. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を137名に改定 厚木市消防署依知分署設置 消防本部署機構改革 消防本部 総務課 (管理係、装備係) 警防課 (予防係、警防係、危険物係)

```

graph LR
    A[署] --- B["(庶務係)"]
    A --- C["警備第一課 (第一中隊、第二中隊、通信指令室)"]
    A --- D["警備第一課 (第一中隊、第二中隊、通信指令室)"]
    A --- E["荻野分署 (第一中隊、第二中隊)"]
    A --- F["南毛利分署 (第一消防小隊、第二消防小隊)"]
    A --- G["依知分署 (第一消防小隊、第二消防小隊)"]

```

昭和55. 7. 1	清川村の救急業務実施（応援協定に基づくもの）
昭和55. 11. 23	常備消防発足20周年式典を厚木一番街空地において実施
昭和56. 3. 27	指令車 1 台購入
昭和56. 4. 1	第 5 代消防長 原川久雄 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を145名に改定
昭和56. 7. 1	第 6 代消防長 飯塚和生 就任 消防本部機構改革により地震対策室を設置する 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を161名に改定
昭和56. 9. 29	救急自動車 1 台購入
昭和56. 10. 1	厚木市消防署南毛利分署に救急隊を配置、救急業務を開始
昭和57. 4. 1	消防ポンプ自動車 1 台購入 厚木市消防署相川分署設置 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を166名に改定
昭和58. 3. 7	はしご付消防自動車（41m級） 1 台購入
昭和58. 4. 1	第 7 代消防長 村上勝 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を182名に改定 消防署機構改革 荻野分署に梯子小隊を配置し、署員を25名とする 消防テレホンサービス業務開始
昭和58. 6. 10	消防用気象観測装置 FWS-7910ED 設置
昭和59. 4. 1	厚木市消防署小鮎分署設置 消防署庶務係に査察担当（2名）配置 市機構改革により地震対策室を防災対策室と名称を変更し市長部局に組み入れる
昭和59. 7. 28	資材運搬車 1 台購入
昭和59. 12. 15	照明付救助工作車 1 台購入 火災救急指令検索装置 1 台購入
昭和60. 3. 10	119番録音装置 1 台購入
昭和60. 4. 1	消防本部警防課に査察係を設置
昭和60. 12. 3	軽作業トラック 1 台購入
昭和61. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を186名に改定
昭和61. 7. 1	第 8 代消防長 高橋卯平 就任
昭和62. 2. 13	通信指令室を 3 階に移転すると共に、電子式一斉指令装置を導入して指令体制の充実を図り、本署、各分署にファクシミリを設置する
昭和62. 2. 18	救急車 1 台購入
昭和62. 2. 20	広報用としてミニ消防自動車 1 台購入
昭和62. 3. 4	消防本部・消防団が消防庁長官から竿頭綬を受賞
昭和62. 4. 1	消防本部の機構改革に伴い予防課を設置すると共に、署指令室を指令係に名称を変更し、本部警防課に組み入れ本部を 3 課 8 係とする また、依知分署に救急隊を配置、救急業務を開始

昭和62. 7. 1	第9代消防長 村上勝 就任
昭和62. 7. 1	オートバイ1台、厚木さつきライオンズクラブから寄贈される
昭和62. 9. 28	オートバイ1台、厚木さつきライオンズクラブから寄贈される
昭和63. 1. 5	はしご付消防自動車（12m級）1台購入
平成元. 7. 1	消防署機構改革 相川、小鮎分署を課相当へ昇格 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を219名に改定
平成元. 8. 5	査察車1台購入
平成2. 4. 1	第10代消防長 北条昌彦 就任
平成2. 10. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を233名に改定
平成2. 11. 6	救急自動車2台購入（1台更新）
平成2. 11. 9	常備消防発足30周年記念式典を厚木市文化会館において実施
平成2. 11. 20	連絡車1台購入
平成3. 3. 14	はしご付消防自動車（30m級）1台購入
平成3. 3. 18	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
平成3. 3. 25	水難救助艇及びトレーラー1台購入
平成3. 4. 1	厚木市消防署相川分署に救急隊を配置、救急業務を開始 厚木市消防署小鮎分署にはしご小隊を配置 厚木市消防署睦合分署設置（消防訓練場併設）
平成3. 4. 17	救急自動車に自動車電話を設置
平成3. 5. 1	第11代消防長 三橋知光 就任
平成3. 5. 21	第12代消防長 伊藤悟 就任
平成3. 9. 13	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈される
平成3. 10. 31	査察車1台購入
平成4. 3. 4	消防本部・消防団が消防庁長官から表彰旗を受賞
平成4. 3. 13	消防ポンプ自動車1台購入
平成4. 4. 1	第13代消防長 齋藤健一 就任
平成4. 7. 11	厚木市消防署玉川分署設置（東丹沢七沢観光案内所との複合施設）
平成4. 11. 16	救急救命士誕生
平成4. 12. 22	地図検索装置一式購入（更新）
平成5. 1. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を240名に改定
平成5. 4. 1	第14代消防長 藤井信義 就任
平成5. 9. 21	揚州市消防隊員来厚、消防施設・設備を視察
平成6. 3. 17	高規格救急自動車1台購入
平成6. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を244名に改定
平成6. 7. 27	財団法人日本消防協会から普通小型乗用車1台寄贈される
平成7. 1. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を246名に改定
平成7. 1. 18	阪神・淡路大震災の被災地に救助工作車1台及び隊員延べ15人を派遣し救助活動を実施
平成7. 3. 31	はしご付消防自動車（30m級）1台購入

平成7. 7. 1	消防署機構改革 厚木市消防署を厚木市厚木消防署と名称変更するとともに、厚木市消防署 荻野分署を消防署に格上げし、厚木市北消防署と改め、1署7分署体制 から2署6分署体制とする
平成7. 9. 20	財団法人日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈される
平成7. 12. 29	元消防長 三橋知光氏 叙位・死亡叙勲 従五位・勲五等双光旭日章を賜る
平成8. 2. 16	消防ポンプ自動車1台購入
平成8. 4. 1	本部・署組織の一部を名称変更 (旧) (新) 総務課 → 消防総務課 総務課管理係 → 消防総務課消防総務係 庶務係 → 管理係
平成8. 5. 1	119番回線バックアップシステム設置
平成8. 11. 26	消防ポンプ自動車2台購入
平成9. 2. 25	高規格救急自動車1台購入
平成9. 4. 1	第15代消防長 霜島榮 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を 249名に改定 消防署機構改革 厚木市厚木消防署及び厚木市北消防署にそれぞれ指揮班を配置
平成10. 1. 20	高規格救急自動車1台購入
平成10. 2. 5	消防ポンプ自動車1台購入
平成10. 4. 1	第16代消防長 落合次郎 就任
平成10. 11. 6	消防本部庁舎望楼解体
平成11. 3. 10	救助工作車1台購入
平成11. 4. 1	本市初の女性消防吏員3名採用
平成11. 6. 20	厚木市北消防署新庁舎建設工事着手
平成12. 2. 25	高規格救急自動車1台購入
平成12. 3. 3	消防ポンプ自動車1台購入
平成12. 4. 1	第17代消防長 土屋茂 就任
平成12. 10. 1	第18代消防長 山口正男 就任
平成12. 11. 3	厚木市北消防署新庁舎完成
平成12. 11. 15	消防本部庁舎耐震補強・改修工事完了
平成12. 12. 18	高規格救急自動車1台購入
平成13. 1. 25	救助支援車1台購入
平成13. 2. 1	自動車電話・携帯電話119番受信業務を開始
平成13. 6. 21	防災資機材運搬車1台購入
平成14. 1. 31	消防ポンプ自動車1台購入
平成14. 4. 1	第19代消防長 小島一郎 就任
平成14. 6. 1	携帯電話の電子メール活用による災害情報配信の運用開始
平成14. 6. 6	防災資機材運搬車1台購入
平成14. 9. 1	厚木市火災予防査察規程改正
平成15. 2. 20	高規格救急自動車1台購入
平成15. 2. 20	NBC災害用資機材の整備（除染シャワー等） 防災資機材運搬車2台・高規格救急自動車1台購入
平成15. 3. 1	厚木市雑居ビル防火安全対策連絡協議会設置

平成15.	3. 13	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入
平成16.	1. 29	高規格救急自動車 1 台購入
平成16.	2. 25	屈折はしご付消防自動車 (15m級) 1 台購入
平成16.	4. 1	第20代消防長 平本菊一 就任
平成16.	7. 9	元消防署長 葉山英雄氏 叙位・死亡叙勲 従五位・瑞宝双光章を賜る
平成16.	8. 1	高機能消防通信指令システムの導入
平成16.	12. 9	高規格救急自動車 1 台購入
平成16.	12. 16	緊急消防援助隊派遣都市として消防本部が消防庁長官より褒状を受賞
平成17.	2. 16	化学消防ポンプ自動車 1 台購入
平成17.	4. 1	第21代消防長 鈴木太平 就任
		消防本部・消防署機構改革
		予防課予防係と査察係を統一し、予防査察係に名称変更
		厚木消防署及び北消防署の指揮班を指揮第一担当・指揮第二担当に名称変更
平成17.	9. 22	救急二輪車 2 台購入
平成17.	9. 28	防災資機材運搬車 1 台購入
平成17.	11. 1	救急二輪車 2 台の運用開始
平成17.	11. 3	元北消防署副署長 井上雅由氏 第 5 回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成17.	11. 7	厚木さつきライオンズクラブから自転車(マウンテンバイク) 8 台寄贈される
平成18.	2. 27	消防ポンプ自動車 1 台購入
平成18.	2. 28	高規格救急自動車 1 台購入
平成18.	4. 29	元厚木消防署相川分署長 飯塚勝美氏 第 6 回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成18.	12. 5	救助工作車 1 台購入
平成19.	2. 26	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入
平成19.	4. 1	第22代消防長 柏木孝之 就任
		携帯電話・IP電話等からの119番通報に係る位置情報通知システムの運用開始 (平成18年度総務省実証実験後)
		北消防署管内の救助業務を消防隊が開始 (消防隊兼務)
平成19.	10. 9	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により初任の教育訓練を受けている消防吏員を消防職員の定数に含まないことに改定
平成19.	11. 3	元北消防署長 金井光富氏 第 9 回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成19.	12. 28	元相川分署中隊長兼消防小隊長 内田昇氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成20.	2. 27	高規格救急自動車 1 台購入
平成20.	4. 1	第23代消防長 小瀬村恒男 就任
		消防本部機構改革
		消防本部警防課から救急救命担当を分離し救急救命課を設置する
平成20.	4. 29	元北消防署副署長 清水忠良氏 第10回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成20.	8. 10	元消防長 霜島榮氏 叙位・死亡叙勲 従五位・瑞宝小綬章を賜る
平成20.	11. 3	元厚木消防署副署長 黄金井忠男氏 第11回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成21.	1. 15	消防ポンプ自動車 1 台購入
平成21.	2. 19	高規格救急自動車 1 台購入
平成21.	4. 1	北消防署睦合分署に日勤救急隊を配置、救急業務を開始
平成21.	7. 23	元相川分署長 井上暎一氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る

平成21.	10.	7	北消防署依知分署建替えに伴う仮庁舎（旧依知公民館）への移転完了
平成22.	2.	8	高規格救急自動車1台購入
平成22.	3.	3	はしご付消防自動車（30m級）1台購入
平成22.	3.	25	元消防本部次長 守屋英和氏 叙位・死亡叙勲 従六位・瑞宝双光章を賜る
平成22.	4.	1	第24代消防長 落合俊雄 就任
平成22.	4.	20	元副小隊長 平井俊氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成22.	4.	29	元消防長 藤井信義氏 春の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成22.	6.	1	住宅用火災警報器設置推進対策本部の設置
平成22.	11.	3	元防災担当部長 坂上鎮穂氏 第15回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成22.	12.	1	常備消防発足50周年記念式典を厚木市文化会館において実施
平成22.	12.	31	元消防本部参事 潮田博之氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝双光章を賜る
平成23.	2.	28	化学消防ポンプ自動車1台購入
平成23.	3.	7	高規格救急自動車1台購入
平成23.	4.	1	第25代消防長 飯島悟 就任
			消防本部機構改革
			消防総務課装備係を警防課装備係に改める
			北消防署睦合分署の日勤救急隊を当直救急隊とする
平成23.	4.	29	元厚木消防署長 山崎正氏 第16回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成23.	8.	10	元北消防署警備第二課課長代理兼第一中隊長 三橋征男氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成23.	11.	3	元消防長 山口正男氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成23.	11.	3	元睦合分署長 長嶋義明氏 第17回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成23.	11.	9	厚木市大規模災害サポート隊発足
平成23.	12.	24	元小鮎分署長 高塚雅夫氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成24.	1.	30	高規格救急自動車1台購入
平成24.	2.	2	消防ポンプ自動車1台購入
平成24.	3.	8	消防ポンプ自動車1台購入
平成24.	3.	23	消防ポンプ自動車1台購入
平成24.	4.	1	消防本部機構改革
			消防本部警防課から指令担当を分離し、指令課を設置する
平成24.	4.	1	元北消防署警備第二課長 門倉正男氏 叙位・死亡叙勲 従七位 瑞宝単光章を賜る
平成24.	4.	5	モンゴル国へ消防車・救急車を寄贈
平成24.	4.	29	元厚木消防署長 安藤勉氏 第18回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成24.	11.	9	元北消防署長 永島優氏 第19回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成25.	3.	6	高規格救急自動車1台購入
平成25.	3.	19	消防ポンプ自動車1台購入
平成25.	4.	1	厚木消防署に救急隊を1隊増隊
平成25.	4.	8	派遣型救急ワークステーション運用開始
平成25.	4.	29	元厚木消防署副署長 小島澄夫氏 第20回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成25.	10.	10	元相川分署中隊長兼消防小隊長 原田義秋氏 叙位・死亡叙勲 正七位 瑞宝単光章を賜る
平成25.	11.	3	元消防長 小島一郎氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成25.	11.	3	元北消防署参事兼依知分署長 岡山正男氏 第21回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る

平成25. 11. 3	元北消防署参事兼依知分署長 島村長幸氏 第21回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成25. 11. 29	厚木・清川消防広域化協議会を設置
平成25. 12. 25	救助工作車1台購入
平成26. 2. 7	高規格救急自動車1台購入
平成26. 3. 16	厚木市北消防署依知分署新庁舎完成
平成26. 4. 1	第26代消防長 朝倉國夫 就任
平成26. 4. 16	厚木・清川消防広域化協議会にて、「厚木・清川広域消防運営計画」及び 「厚木市と清川村との消防の事務委託に関する規約」を合意
平成26. 4. 29	元北消防署睦合分署長 高部智氏 第22回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章 を賜る
平成26. 6. 28	元北消防署警備第二課長 臼井理一氏 叙位・死亡叙勲 正七位 瑞宝単光章を賜る
平成26. 6. 30	厚木市長と清川村長が「厚木市と清川村との消防の事務委託に関する規約」 を締結
平成26. 9. 25	元厚木消防署厚木消防署玉川分署長 大谷尚美氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成26. 11. 1	森の里地区に厚木市市民救命サポート隊発足
平成26. 11. 3	元北消防署副署長兼小鮎分署長 小塩稔氏 第23回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成27. 2. 18	高規格救急自動車1台購入
平成27. 4. 1	第27代消防長 山田茂穂 就任
平成27. 11. 3	元北消防署依知分署長 横谷正春氏 第25回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章 を賜る
平成28. 2. 9	高規格救急自動車1台購入
平成28. 2. 26	消防ポンプ自動車1台購入
平成28. 3. 27	厚木市北消防署清川分署落成・開署式
平成28. 4. 1	第28代消防長 鈴木佐重喜 就任
平成28. 4. 1	厚木市と清川村との消防広域化開始
平成28. 4. 1	高機能消防指令システムの導入
平成28. 4. 4	元厚木消防署救助救急担当課長兼警備第二課長 森康男氏 叙位・死亡叙勲 従七位・瑞宝単光章を賜る
平成28. 4. 28	元厚木消防署副署長 黄金井忠男氏 叙位・死亡叙勲 正七位を賜る
平成28. 4. 29	元消防本部技監 杉山常治氏 第26回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成28. 8. 21	元厚木消防署南毛利分署長兼第一中隊長 山崎正宏氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成28. 11. 3	元消防本部次長 永井隆氏 第27回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成28. 11. 3	元厚木消防署長 井上博史氏 第27回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成29. 1. 13	元厚木消防署相川分署長 小澤茂行氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成29. 1. 19	高規格救急自動車1台購入
平成29. 2. 1	消防ポンプ自動車1台整備
平成29. 3. 1	はしご付消防ポンプ自動車(15m級)1台整備
平成29. 4. 1	違反對象物に係る表示制度を開始
平成29. 4. 22	宮の里中央自治会に厚木市市民救命サポート隊発足
平成29. 4. 29	元厚木消防署長 加藤伸行氏 第28回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る

平成29. 4. 29	元北消防署長 高橋正一氏 第28回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成29. 8. 1	消防活動用ドローン運用開始
平成29. 11. 3	元消防長 柏木孝之氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成29. 11. 3	元北消防署長 梅田治氏 第29回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成29. 11. 3	元厚木消防署長 井上忠博氏 第29回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成30. 1. 22	高規格救急自動車1台購入
平成30. 3. 26	総務省消防庁から緊急消防援助隊用車両（拠点機能形成車）の無償使用配備が決定される
平成30. 4. 1	「厚木市消防整備指針」を改定し、「あつぎ元気プラン」の個別計画として、消防の総合的な計画である「厚木市消防力整備計画」を策定
平成30. 4. 1	消防署所の適正な配置の方向性を示す「厚木市消防署所適正配置計画」を策定
平成30. 4. 29	元厚木消防署参事兼厚木消防署副署長兼玉川分署長 田中茂氏 第30回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成30. 5. 1	119番通報時における多言語通訳の24時間対応を開始
平成30. 5. 11	元厚木消防署参事兼相川分署長 飯塚勝美氏 叙位 正七位を賜る
平成30. 7. 22	古松台自治会に厚木市市民救命サポート隊発足
平成30. 11. 3	元北消防署参事兼北消防署副署長兼小鮎分署長 神崎孝久氏 第31回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成30. 12. 13	元消防長 藤井信義氏 叙位 正六位を賜る
平成31. 2. 1	水難救助車1台整備
平成31. 2. 1	NET119緊急通報システム運用開始
平成31. 2. 4	高規格救急自動車1台購入
平成31. 2. 27	総務省消防庁から緊急消防援助隊用車両（拠点機能形成車）が無償使用車両として配備される
平成31. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を253名に改定
平成31. 4. 1	高度救助隊発足
平成31. 4. 1	神奈川県（くらし安全防災局）に職員を派遣
平成31. 4. 16	緊急消防援助隊用車両（拠点機能形成車）運用開始
平成31. 4. 21	元厚木消防署長 安藤誠崇氏（旧姓安藤勉） 叙位 従六位を賜る
令和元. 5. 21	元厚木消防署参事兼厚木消防署副署長 吉田清治氏 第32回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
令和元. 6. 25	元北消防署参事兼北消防署副署長兼小鮎分署長 清水忠良氏 叙位 正七位を賜る
令和元. 8. 30	元北消防署依知分署第二中隊長兼消防小隊長 川瀬豊氏 叙位・死亡叙勲 正七位を賜る
令和元. 11. 3	元厚木消防署長 川井弘氏 第33回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
令和元. 12. 1	調査車1台整備
令和2. 2. 1	水槽付消防ポンプ自動車1台整備
令和2. 2. 4	高規格救急自動車1台購入
令和2. 4. 1	第29代消防長 太田寛 就任
令和2. 4. 29	元北消防署参事兼北消防署副署長 原進氏 第34回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
令和3. 2. 9	消防ポンプ自動車1台整備
令和3. 3. 13	高規格救急自動車1台購入

令和3.3.31 令和3.4.29	第2期厚木市消防力整備計画策定 元厚木消防署玉川分署長 萩原重孝氏 第36回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る
----------------------	--

## 2 消防現勢（常備）

### (1) 消防本部・署（分署）配置図

厚木市消防本部は、厚木市内に消防本部、2消防署、6分署を、清川村内に1分署を配置し、24時間体制で災害対応しています。



(2) 常備消防力の基準

ここにあげた数字は、平成12年消防庁告示第1号の規定に基づき、人口密度・建築物の構造により定められた本市の必要とする消防力の比較を表示したものです。

区 分	基準消防力 (非常用を除く)	現有消防力 (非常用を除く)  (令和3年 4月1日現在)	基準に対する割合 (%) ※1			
			厚木市  (令和3年 4月1日現在)	全 国	神奈川県 (全体集計)	
消 防 車 両	ポンプ自動車	12	11	91.7	97.7	99.6
	はしご車	2	2	100.0	88.2	93.2
	化学車	2	2	100.0	90.7	95.6
	救急車	8	8	100.0	96.3	93.4
	救助工作車	2	2	100.0	92.5	100.0
水 利	1,444	1,430	99.0	78.7	92.6	
消防職員	313 (現有台数に対する基準)	248	79.2	78.3	86.9	

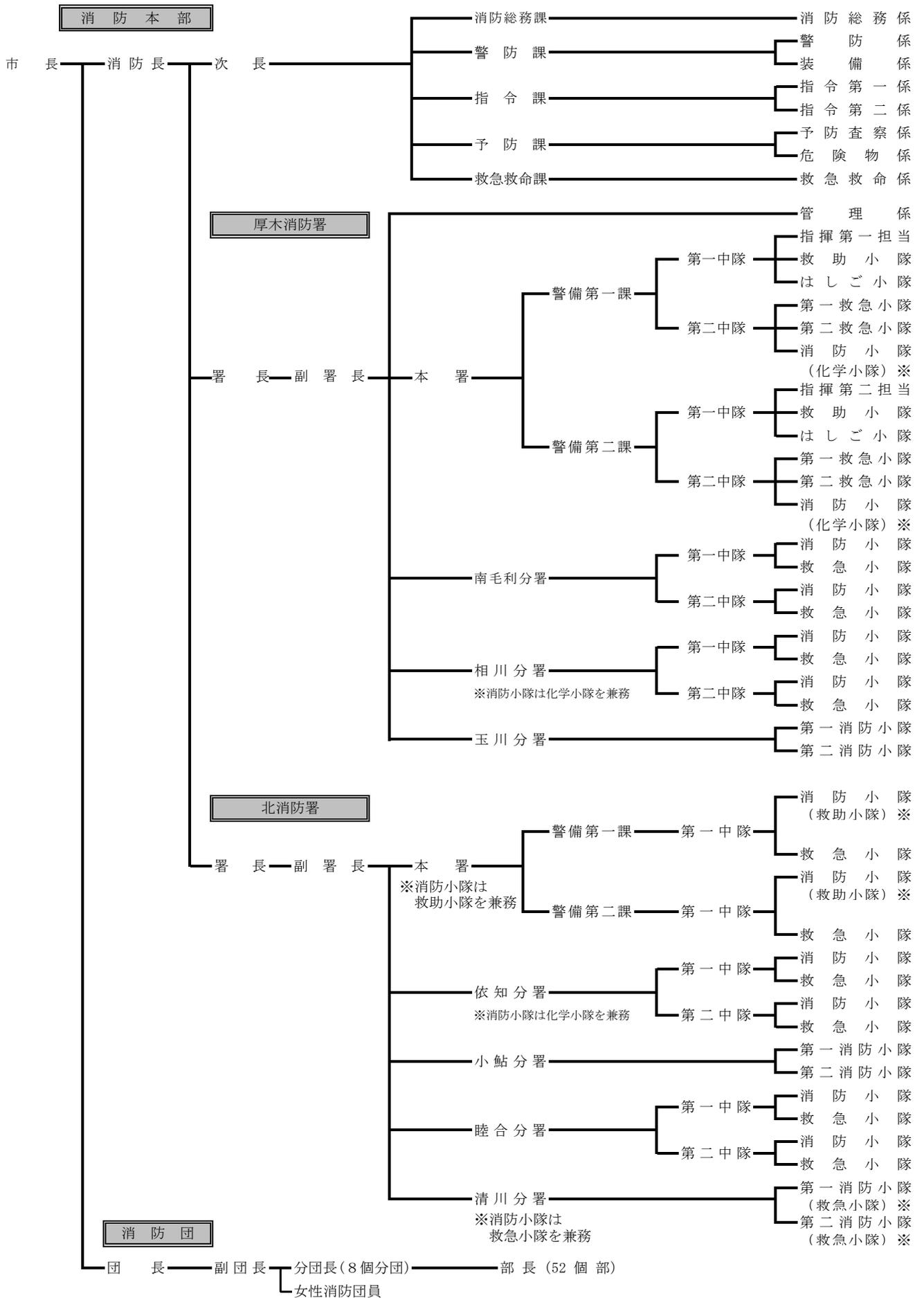
※1 厚木市以外の数値は、令和元年度消防施設整備計画実態調査集計による。

※2 人員には、神奈川県消防学校派遣の初任教育生等（条例定数外）を含まない。



(3) 消防庁舎概要

区分		所在地 電話番号	竣工 年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	管轄面積 (Km <sup>2</sup> )	管轄区域	
消防本部	本部	寿町3-4-10 ☎ 046-221-2331 FAX 046-223-8251	昭和47年 7月1日	RC造 地下1階 地上3階 訓練棟 RC造 地上3階	2,248.23	793.80	2,070.18	9.36	下記以外の地域	
	厚木	南毛利署	長谷1574-3 ☎ 046-248-2988 FAX 046-247-5641	昭和54年 4月1日	RC造 平屋建	750.22	256.17	250.53	8.15	愛名 温水の一部 温水西(1~2) 船子の一部 長谷 愛甲の一部 愛甲(1~4) 愛甲西(1~3) 毛利台(1~3) 小野の一部 岡津古久の一部 森の里若宮
		相川分署	酒井1417-1 ☎ 046-228-0119 FAX 046-228-5221	昭和57年 4月1日	RC造 平屋建	1,074.20	365.31	360.40	7.77	南町 温水の一部 船子の一部 愛甲の一部 愛甲東(1~3) 岡田 岡田(1~5) 酒井 戸田 下津古久 上落合 長沼
		玉川分署	七沢751-1 ☎ 046-250-0119 FAX 046-250-9398	平成4年 7月11日	RC造 2階建	2,583.08 <small>(観光案内所含)</small>	425.32	1,008.01	15.48	七沢 小野の一部 岡津古久の一部 森の里(1~5)
	北	本署	下荻野135-1 ☎ 046-241-6111 FAX 046-241-3871	平成12年 11月3日	RC造 2階建	2,400.95	936.60	1,626.76	18.58	及川の一部分 上荻野 中荻野 下荻野の一部 鷹尾(1~5) まつかげ台 みはる野(1~2)
		依知分署	関口869-1 ☎ 046-245-0119 FAX 046-245-4281	平成26年 3月16日	RC造 2階建	1,034.26	407.67	625.06	12.66	上依知 猿ヶ島 山際 関口 中依知 下依知 下依知(1~3) 金田の一部 下川入 棚沢の一部
		小鮎分署	飯山3481-1 ☎ 046-247-0857 FAX 046-247-9491	昭和59年 4月1日	RC造 2階建	1,322.00	375.37	443.38	14.96	飯山 上古沢 下古沢 宮の里(1~4) 温水の一部 緑ヶ丘(1~5) 森の里青山
		睦合分署	三田1475-1 ☎ 046-241-2119 FAX 046-241-3165	平成3年 4月1日	RC造 2階建	5,998.60 <small>(消防訓練場含)</small>	704.21	945.62	6.87	棚沢の一部 三田 三田(1~3) 三田南(1~3) 及川の一部 及川(1~2) 妻田の一部 妻田北(1~4) 妻田西(2~3) 下荻野の一部
	清川分署	愛甲郡清川村 煤ヶ谷2126-1 ☎ 046-288-2119 FAX 046-288-3120	平成28年 4月1日	鉄骨造 2階建	992.19	304.83	433.49	71.24	愛甲郡清川村の全域	



## (5) 消防職員配置状況

(令和3年4月1日現在)

階級等		計	消	消	消	消	消	消	消	消	消	
			防	防	防	防	防	防	防	防	防	
所属別			正	監	司	司	司	士	副	士	務	
			監		令	令	長	長	士	長	職	
					長	令	補	長	長	士	員	
<b>合計</b>		248 (258)	1	3	19	32	78	26 (27)	74 (76)	14 (21)	1	
<b>消防本部</b>		44 (54)	1	1	4	8	17	5 (1)	7 (2)	(0) (7)	1	
消防長	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
次長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
消防総務課	6	5 (13)	-	-	-	1	3	-	1 (1)	0 (7)	-	
警防課	7	警防係	4 (5)	-	-	1	-	2	-	1 (1)	-	-
		装備係	3	-	-	-	1	-	1	-	-	1
指令課	13	指令第一係	7	-	-	1	2	2	1	1	-	-
		指令第二係	6	-	-	-	1	3	1	1	-	-
予防課	13	予防査察係	10	-	-	1	1	5	1	2	-	-
		危険物係	3	-	-	-	1	-	1	1	-	-
救急救命課	4	4 (5)	-	-	1	1	2	0 (1)	-	-	-	
<b>厚木消防署</b>		115	-	1	8	15	36	13	33	9	-	
署長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
副署長	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
本署	57	管理係	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		警備第一課	28	-	-	2	3	9	7	6	1	-
		警備第二課	28	-	-	2	5	8	2	9	2	-
南毛利分署	22	第一中隊	11	-	-	1	1	4	-	4	1	-
		第二中隊	11	-	-	-	2	4	1	3	1	-
相川分署	22	第一中隊	11	-	-	-	2	3	-	4	2	-
		第二中隊	11	-	-	1	-	4	2	3	1	-
玉川分署	12	第一消防小隊	6	-	-	1	-	2	-	2	1	-
		第二消防小隊	6	-	-	-	1	2	1	2	-	-
<b>北消防署</b>		89	-	1	7	9	25	8	34	5	-	
署長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
副署長	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
本署	22	警備第一課	11	-	-	1	1	3	-	6	-	-
		警備第二課	11	-	-	1	-	4	1	5	-	-
依知分署	22	第一中隊	11	-	-	1	1	3	1	4	1	-
		第二中隊	11	-	-	-	2	2	1	5	1	-
小鮎分署	12	第一消防小隊	6	-	-	-	1	2	1	1	1	-
		第二消防小隊	6	-	-	1	-	3	1	1	-	-
睦合分署	20	第一中隊	10	-	-	-	2	3	-	5	-	-
		第二中隊	10	-	-	1	-	3	1	4	1	-
清川分署	11	第一消防小隊	6	-	-	1	1	1	1	2	-	-
		第二消防小隊	5	-	-	-	1	1	1	1	1	-

※1 次長は、消防総務課長を兼ねる。  
 警防課長は警防係、指令課長は指令第一係、予防課長は予防査察係、  
 救急救命課長は救急救命係、清川分署長は第一消防小隊に含む。

2 ( )内の数字は、県消防学校初任教育生等10人(条例定数外)を含み、市長部局出向者を除く。

## (6) 消防車両種類別内訳

(令和3年4月1現在)

消 防 車 両 種 類 別	台 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車	10 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 台
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 台
救 助 工 作 車	2 台
水 難 救 助 車	1 台
高 規 格 救 急 自 動 車	11 台
は し ご 車	2 台
指 令 車	3 台
拠 点 機 能 形 成 車	1 台
調 査 車	1 台
広 報 車	2 台
連 絡 車	4 台
査 察 車	7 台
赤 バ イ	2 台
作 業 車 ( 防 災 資 機 材 運 搬 車 )	14 台
マ イ ク ロ バ ス	1 台
オ ー ト バ イ ( 情 報 収 集 用 )	5 台
車 両 合 計	70 台

## (7) 本部・署車両配置状況

担当	名称	車両番号	車名	登録年月	無線	備考
消防本部						
消防総務課	本部指令1号車	相模800さ3195	日産プレサージュ	平成12年8月	有	
警防課	調査1号車	相模830す1940	日産キャラバン	令和元年11月	有	4WD
	連絡1号車	相模480あ7329	日産クリッパー	平成17年9月	無	
	連絡3号車	相模502な4993	日産セレナ	平成29年6月	無	
予防課	広報1号車	相模800さ2818	日産バネット	平成12年6月	有	
	広報2号車	相模800す4859	日産AD	平成20年11月	有	
	連絡2号車	相模800さ7902	トヨタサクシード	平成15年3月	有	
救急救命課	連絡4号車	相模480う6506	ダイハツハイゼット	平成19年10月	無	
厚木消防署						
厚木消防署 本署	厚木指令1号車	相模800す4211	トヨタハイエース	平成20年2月	有	
	厚木水槽1号車	相模830す1910	日野レンジャー	令和2年1月	有	水5,000L
	厚木1号車	相模830と119	日野デュトロ	平成28年2月	有	4WD・CD-I
	はしご1号車	相模830さ8451	日野レンジャー	平成29年3月	有	はしご付消防ポンプ自動車(15m級)
	はしご2号車	相模800は699	日野プロフィア	平成22年3月	有	はしご付消防自動車(30m級)
	厚木救助1号車	相模830て119	日野レンジャー	平成25年12月	有	照明・クレーン ウィンチ付・4WD
	厚木水難救助1号車	相模830さ1830	いすゞエルフ	平成31年2月	有	
	厚木救急1号車	相模800せ92	日産パラメディック	平成28年2月	有	4WD
	厚木救急2号車	相模830さ1920	日産パラメディック	令和2年1月	有	4WD
	厚木救急3号車	相模800す7823	トヨタハイエース	平成25年3月	有	4WD
	厚木作業1号車	相模41か7539	スバルサンバー	平成12年5月	無	4WD
	厚木資材1号車	相模800す1871	いすゞエルフ	平成17年12月	有	
	赤バイ1号車	1相模き8420	ヤマハセロー	平成17年9月	無	
	南毛利分署	南毛利1号車	相模830つ71	日野デュトロ	平成29年2月	有
南毛利救急1号車		相模830さ2021	トヨタハイエース	令和3年2月	有	4WD
南毛利作業1号車		相模480う6757	ダイハツハイゼット	平成19年10月	無	4WD
南毛利査察1号車		相模800さ7901	トヨタサクシード	平成15年3月	有	
相川分署	相川1号車	相模800す6933	日野デュトロ	平成24年1月	有	4WD・CD-I
	厚木化学1号車	相模800は762	日野レンジャー	平成23年2月	有	水2,250L 消火薬液500L
	相川救急1号車	相模800せ1852	日産パラメディック	平成30年1月	有	4WD
	相川作業1号車	相模41く9753	スバルサンバー	平成14年6月	無	4WD
	相川査察1号車	相模800す4860	日産AD	平成20年11月	有	
	相川2号車	相模88た3619	日産アトラス	平成8年1月	無	資機材搬送車

担当	名称	車両番号	車名	登録年月	無線	備考
玉川分署	玉川1号車	相模830せ2010	日野デュトロ	令和3年2月	有	CD-I
	玉川作業1号車	相模41け7303	スバルサンバー	平成15年2月	無	4WD
	玉川査察1号車	相模800す3997	日産AD	平成19年11月	有	
	厚木2号車	相模800す2077	日野デュトロ	平成18年2月	有	4WD・CD-I
北消防署						
北消防署 本署	厚木北1号車	相模800す6998	日野デュトロ	平成24年3月	有	CD-I
	北救急1号車	相模800せ894	トヨタハイエース	平成29年1月	有	4WD
	北救助1号車	相模800は535	日野レンジャー	平成18年11月	有	照明・クレーン ウィンチ付・4WD
	北査察1号車	相模800す2976	日産ADバン	平成18年10月	有	
	北指令1号車	相模800さ8877	日産キャラバン	平成15年10月	有	
	北作業1号車	相模41き8843	スバルサンバー	平成13年6月	無	4WD
	北救急2号車	相模800す8608	日産パラメディック	平成26年2月	有	4WD
	赤バイ2号車	1相模き8421	ヤマハセロー	平成17年9月	無	
	拠点機能形成車	相模830さ1831	いすゞギガ	平成31年2月	有	総務省消防庁 無償使用車両
依知分署	依知1号車	相模800す4944	日野デュトロ	平成21年1月	有	4WD・CD-I 水600L
	北化学1号車	相模800は365	日野レンジャープロ	平成17年2月	有	水1,500L、消火薬 液500L
	依知救急1号車	相模800す9340	日産パラメディック	平成27年2月	有	4WD
	依知2号車	相模88た3031	トヨタハイエース	平成7年9月	有	資機材搬送車
	依知作業1号車	相模41け7304	スバルサンバー	平成15年2月	無	4WD
	依知査察1号車	相模88そ993	日産ADバン	平成10年9月	有	
小鮎分署	小鮎1号車	相模800す7029	日野デュトロ	平成24年3月	有	CD-I
	北水槽1号車	相模800は552	日野レンジャー	平成19年2月	有	水2,000L
	小鮎作業1号車	相模480い6891	ダイハツハイゼット	平成18年9月	無	4WD
	小鮎査察1号車	相模800す5548	日産AD	平成21年11月	有	
睦合分署	睦合1号車	相模830ち119	日野デュトロ	平成25年3月	有	CD-I
	睦合救急1号車	相模830さ1820	日産パラメディック	平成31年1月	有	4WD
	睦合作業1号車	相模480あ7316	スバルサンバー	平成17年9月	無	4WD
	睦合査察1号車	相模800す180	日産ADバン	平成16年8月	有	
	北救急3号車	相模800す6376	トヨタハイエース	平成23年3月	有	4WD
	睦合2号車	相模88た3618	日産アトラス	平成8年1月	無	資機材搬送車
	厚木支援1号車	相模800さ4048	いすゞエルフ	平成13年1月	無	
	マイクロバス	相模200さ677	日産シビリアン	平成19年1月	無	乗車定員29名
清川分署	清川1号車	相模830な119	日野デュトロ	平成28年2月	有	4WD・CD-I 水550L
	清川救急1号車	相模800せ65	トヨタハイエース	平成28年1月	有	4WD
	清川資材1号車	相模883い119	スズキエブリイ	平成28年2月	無	4WD

### 3 消 防 予 算

厚木市の令和3年度一般会計当初予算額は87,200,000千円で前年度と比較して約1.5%の増となっており、消防費の当初予算額は4,063,944千円で前年度比19.9%増となり、一般会計当初予算における構成比は4.7%です。

#### (1) 消防費前年度比較

単位：千円

款・項	目	令和3年度	令和2年度	比 較	
				増	減
消防費	計	4,063,944	3,389,273	674,671	
	常備消防費	2,560,078	2,529,960	30,118	
	非常備 消 防 費	104,093	90,305	13,788	
	消防施設費	1,142,453	532,414	610,039	
	水 防 費	1,984	1,597	387	
	災害対策費	255,336	234,997	20,339	

#### (2) 消防費財源内訳

単位：千円

令和3年 度消防費	消 防 費 財 源 内 訳					率(%)
	国庫 支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	$\frac{\text{一般財源}}{\text{消 防 費}}$
4,063,944	5,703	31,266	927,600	184,681	2,914,694	71.72

#### (3) 年度別市当初予算と消防費の比較

単位：億円

年度 区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
市 予 算	737.8	754.8	777.8	805.8	808.0	862.0	863.0	859.0	872.0
消 防 費	27.8	25.5	33.5	30.1	31.2	30.3	32.1	33.8	40.6
割合 (%)	3.8	3.4	4.3	3.7	3.9	3.5	3.7	3.9	4.7

#### (4) 消防費と人口の比較

単位：円

当 初 予 算 額	人口1人当たり	1世帯当たり	
市当初予算	87,200,000,000	389,975	855,716
消 防 費	4,063,944,000	18,175	39,881

(令和3年4月1日現在の人口 223,604人、世帯数 101,903世帯で計算)

総

務



# 消防職員

## 1 消防職員階級別勤続年数調

(令和3年4月1日現在)

年数別	合計	消防職員									消防事務職員
		小計	消防正監	消防副監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合計	258	257	1	3	19	32	78	27	76	21	1
平均	17.6	-	37.0	37.7	35.4	31.5	23.8	12.7	6.0	1.9	1.0
1年未満	6	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-
1年	9	8	-	-	-	-	-	-	-	8	1
2	10	10	-	-	-	-	-	-	9	1	-
3	7	7	-	-	-	-	-	-	7	-	-
4	8	8	-	-	-	-	-	-	8	-	-
5	20	20	-	-	-	-	-	-	14	6	-
6	17	17	-	-	-	-	-	-	17	-	-
7	6	6	-	-	-	-	-	1	5	-	-
8	7	7	-	-	-	-	-	2	5	-	-
9	7	7	-	-	-	-	-	2	5	-	-
10	3	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-
11	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-
12	9	9	-	-	-	-	2	5	2	-	-
13	14	14	-	-	-	-	4	9	1	-	-
14	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
16	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
17	8	8	-	-	-	-	7	1	-	-	-
18	4	4	-	-	-	-	4	-	-	-	-
19	4	4	-	-	-	-	3	1	-	-	-
20	3	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-
21	5	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
22	6	6	-	-	-	-	6	-	-	-	-
23	3	3	-	-	-	1	2	-	-	-	-
24	7	7	-	-	-	-	5	-	2	-	-
25	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	5	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
27	3	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-
28	12	12	-	-	-	1	11	-	-	-	-
29	4	4	-	-	-	1	3	-	-	-	-
30	14	14	-	-	3	7	4	-	-	-	-
31	27	27	-	-	3	16	7	1	-	-	-
32	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	4	4	-	-	2	2	-	-	-	-	-
35	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
37	9	9	1	1	5	-	2	-	-	-	-
38	3	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-
39	5	5	-	-	2	3	-	-	-	-	-
40	2	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-
41	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-

※消防吏員には、初任教育生等10人（条例定数外）を含み、市長部局出向者を除く。

## 2 消防職員階級別年齢調

(令和3年4月1日現在)

年齢別	合計	消防職員									
		小計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防事務職員
合計	258	257	1	3	19	32	78	27	76	21	1
平均年齢	39.0	-	58.0	57.7	56.1	51.5	44.4	35.1	28.3	23.5	53.0
18歳	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	4	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-
23	7	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-
24	17	17	-	-	-	-	-	-	9	8	-
25	11	11	-	-	-	-	-	-	11	-	-
26	9	9	-	-	-	-	-	-	8	1	-
27	6	6	-	-	-	-	-	-	5	1	-
28	10	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-
29	8	8	-	-	-	-	-	-	8	-	-
30	10	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-
31	6	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-
32	10	10	-	-	-	-	-	7	3	-	-
33	8	8	-	-	-	-	-	5	3	-	-
34	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-
35	3	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-
36	5	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-
37	9	9	-	-	-	-	8	1	-	-	-
38	6	6	-	-	-	-	5	1	-	-	-
39	6	6	-	-	-	-	3	2	1	-	-
40	6	6	-	-	-	-	6	-	-	-	-
41	4	4	-	-	-	-	4	-	-	-	-
42	6	6	-	-	-	-	5	-	1	-	-
43	4	4	-	-	-	-	3	-	1	-	-
44	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
45	9	9	-	-	-	-	9	-	-	-	-
46	9	9	-	-	-	-	9	-	-	-	-
47	6	6	-	-	-	-	6	-	-	-	-
48	10	10	-	-	-	5	5	-	-	-	-
49	13	13	-	-	-	9	4	-	-	-	-
50	6	6	-	-	-	4	2	-	-	-	-
51	5	5	-	-	1	3	1	-	-	-	-
52	2	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
53	6	5	-	-	1	1	2	1	-	-	1
54	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-
55	8	8	-	-	5	1	2	-	-	-	-
56	6	6	-	1	4	-	1	-	-	-	-
57	3	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-
58	8	8	1	1	1	4	1	-	-	-	-
59	7	7	-	1	4	1	1	-	-	-	-

※消防吏員には、初任教育生等10人（条例定数外）を含み、市長部局出向者を除く。

### 3 消防職員免許等取得状況

(令和3年4月1日現在)

階級・所属 免許・資格		計	階 級 別 等									所 属 別										
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 事 務 職 員	本 部	厚木消防署				北消防署					
													本 署	南 毛 利 分 署	相 川 分 署	玉 川 分 署	本 署	依 知 分 署	小 鮎 分 署	睦 合 分 署	清 川 分 署	
実 員		258	1	3	19	32	78	27	76	21	1	54	59	22	22	12	24	22	12	20	11	
運 転 免 許	普 通	258	1	3	19	32	78	27	76	21	1	54	59	22	22	12	24	22	12	20	11	
	中 型	9	-	-	-	1	-	-	7	1	-	2	-	-	1	-	-	1	-	4	1	
	大 型	178	-	3	11	27	59	21	52	5	-	34	50	13	12	7	20	15	9	11	7	
	大 型 二 種 免 許	27	-	3	7	10	7	-	-	-	-	8	8	1	2	1	3	1	1	-	2	
	大 型 特 殊	22	-	2	5	7	6	1	1	-	-	6	5	2	3	1	2	-	1	-	2	
	自 動 二 輪	170	-	3	13	22	58	16	47	10	1	36	38	19	16	5	16	13	4	16	7	
危 険 物 取 扱	甲 種	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	乙 類	4 類	211	-	-	6	23	71	27	73	11	-	41	50	18	20	8	19	19	9	17	10
		5 類	11	-	-	1	2	1	1	6	-	-	4	2	2	-	1	-	1	-	-	1
		6 類	5	-	-	1	1	1	1	1	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	1
丙 種	45	1	3	14	14	11	2	-	-	-	8	11	5	2	3	5	4	2	4	1		
高圧ガス（乙種化学）		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高圧ガス（丙種化学）		3	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	
消 防 設 備 士		2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
電 気 工 事 士		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
陸 上 特 殊 無 線		196	-	-	8	16	57	26	76	13	-	41	46	12	19	7	18	19	8	17	9	
ア マ チ ュ ア 無 線		23	1	2	9	8	2	1	-	-	-	7	6	1	2	2	2	1	-	1	1	
2 級 ボ イ ラ ー 取 扱 者		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能		13	-	3	4	-	6	-	-	-	-	4	3	-	-	1	1	-	3	-	1	
玉 掛 技 能 講 習		50	-	3	5	12	15	8	7	-	-	7	27	2	2	1	6	3	-	-	2	
小 型 ク レ ー ン		55	-	2	8	15	16	6	7	1	-	11	26	3	2	1	6	2	2	2	-	
高 所 作 業 車		20	-	2	6	8	2	2	-	-	-	6	7	2	1	-	3	-	1	-	-	
ガ ス 溶 接		54	1	3	14	22	14	-	-	-	-	14	11	4	5	3	4	4	5	2	2	
小 型 船 舶 操 縦 士		96	-	3	12	12	37	9	21	2	-	13	27	6	12	6	11	8	3	5	5	
衛 生 管 理 者		5	-	-	-	-	2	1	2	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
救 急（135H）		83	-	3	18	30	30	1	1	-	-	17	21	9	5	6	7	5	6	5	2	
救 急Ⅱ 課 程		21	-	-	2	8	11	-	-	-	-	4	-	2	3	1	3	3	-	4	1	
救 急 標 準 課 程		27	-	-	2	1	21	1	2	-	-	7	10	2	1	1	2	-	-	3	1	
救 急 科		117	-	-	1	6	21	22	58	9	-	19	25	10	12	5	12	14	8	7	5	
救 急 救 命 士		59	1	-	1	12	16	6	19	4	-	10	13	6	6	-	6	6	-	8	4	
応 急 手 当 指 導 員		241	1	3	18	32	77	27	76	7	-	44	58	19	21	12	24	21	12	19	11	
潜 水 士		88	-	1	6	11	25	15	27	3	-	13	36	4	5	2	13	6	3	3	3	
特定化学物質等作業主任者		7	-	-	-	2	2	2	1	-	-	2	1	1	1	-	-	1	-	-	1	

※1 厚木消防署本署には、署長、副署長、管理係を含む。

2 北消防署本署には、署長、副署長を含む。

3 実員には、初任教育生等10人（条例定数外）を含み、市長部局出向者を除く。

#### 4 消防職員採用・退職状況

(令和3年4月1日現在)

区分	年度	H29	H30	R1	R2	R3
	定員		249	249	253	253
年度当初実員 (消防学校初任教育生等)		262 (15)	262 (13)	267 (13)	261 (8)	258 (10)
採用(4月1日付け)		11	7	13	7	6
市長部局異動(4月1日付け)		0	-1	-1	-2	-
採用(10月1日付け)		-	-	-	-	-
市長部局異動(10月1日付け)		-	-	-	-	-
退職		6	8	10	9	-
年度末実員		256	254	257	252	-

- ※1 実員には、神奈川県消防学校初任教育生等(人数は括弧内。条例定数外)を含み、市長部局出向者を除く。  
 2 市長部局異動は、市長部局からの異動者と市長部局への異動者を差し引きした人数。

#### 5 消防職員年度別公務災害発生状況

年度	区分	総数	負傷時の状況						治療期間		
			災害活動	演習訓練	救急業務	点検業務	消防業務	その他	1週間未満	1ヶ月未満	1ヶ月以上
H29	件数	4	-	3	1	-	-	-	-	4	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	4	-	3	1	-	-	-	-	4	-
H30	件数	2	-	1	1	-	-	-	-	2	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	2	-	1	1	-	-	-	-	2	-
R1	件数	2	-	-	-	-	1	1	1	1	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	2	-	-	-	-	1	1	1	1	-
R2	件数	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-

## 6 人事事務

令和2年度においては、多様化する消防行政に対応する常備消防組織の確立を図るため、消防司令補、消防士長、消防副士長の各昇任試験を実施しました。

## 7 衛生管理

職員の安全及び健康管理体制の充実並びに庁舎の環境整備・衛生思想の普及について、さらなる強化を図るため、産業医による巡回相談やメンタルヘルス診断のほか職場点検を実施するとともに、定期健康診断（年1回）・特定業務従事者健康診断（隔日勤務者年1回）・B型肝炎ワクチン接種他各種予防接種などを実施し疾病の予防に努めています。

## 8 表彰

消防庁長官	神奈川県消防長会
永年勤続功労章 2人	消防功労者表彰 (団体表彰) 救急活動の部 本部1係 2部隊

※令和2年度中の初期消火等消防協力者に対する消防長表彰等は2件で、個人5人に対し、感謝状を送付いたしました。

## 9 教育・研修

職員の資質向上を図るため県消防学校等において、教養訓練等を実施しました。

### (1) 派遣研修

令和2年度中の受講状況

区分	科目	人員	日数	区分	科目	人員	日数
消防大学校	高度救助・特別高度救助コース	1	12	消防学校 特別教育	特別救助隊員研修	-	-
救急救命士	東京研修第59期	1	126		救急救命士研修	-	-
消防学校 初任教育	初任教育 第216期生	5	57		女性活躍推進研修	-	-
消防学校 専科教育	救急科	4	41		外国人対応研修	-	-
	救助科	-	-		航空機特別応援研修	-	-
	警防科	-	-		体力練成指導員研修	-	-
	予防査察科	-	-	その他	潜水士	2	3
特殊災害科	-	-	玉掛け技能講習		1	3	
火災調査科	-	-	小型移動式クレーン 技能講習		1	3	
消防学校 特別教育	幹部特別教育 (研修教官)	-	-		酸欠・硫化水素 技能講習	1	3
	水難救助課程	-	-		特別教育フルハーネス 研修	13	1
	はしご車操作員課程	-	-		二級船舶操縦士免許	1	3
				ドローン総合コース	-	-	

※ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い

- 1 消防大学校（救助科）は、令和3年度に延期
- 2 消防学校専科教育（救急科除く）、特別教育は中止

### (2) 教養研修会等

- ・特別教育（墜落制止用器具）（10月～1月）

### (3) 現地・教養訓練

- ・救命ボート訓練（4月）
- ・水防訓練（5月）
- ・現地潜水訓練（5月・7月）
- ・消防学校潜水訓練（7月）
- ・山岳救助連携訓練（9月・12月）
- ・緊急自動車運転訓練（10月）
- ・救助隊員資格取得研修（10月～12月）
- ・鉄塔及び送電線に係る訓練（11月）
- ・機関員養成訓練（4月～3月）

## 消防施設

### 1 施設整備

○ 消防団器具置場 1 施設を整備しました。

施設名	第7分団第3部器具置場		
所在地	温水西2丁目2番20号		
構造	鉄骨2階建		
面積	1階 車庫	44.04	m <sup>2</sup>
	2階 待機室	44.04	m <sup>2</sup>
	延べ	88.08	m <sup>2</sup>
屋根	ガルバリウム鋼板葺き		
外壁	窯業系サイディング		



## 2 水利状況

### (1) 地区別消防水利設置状況

(令和3年4月1日現在)

区分別		地区別										
		市 合	内 計	厚 木	依 知	睦 合	荻 野	小 鮎	玉 川	南 毛 利	相 川	清 川
総合計		4,399	552	713	629	444	394	315	863	489	161	
消 火 栓	公 設	2,378	250	342	395	299	222	166	480	224	130	
	(水利基準適合)	(1,700)	(186)	(245)	(292)	(218)	(129)	(121)	(345)	(164)	(120)	
合計		1,968	297	364	225	136	168	143	375	260	29	
防 火 水 槽	公 設	小 計	677	42	122	111	72	77	59	133	61	24
	40t未満	187	6	54	18	24	20	17	28	20	4	
	40～100t 未 満	467	27	68	87	48	57	42	103	35	19	
	100t以上	23	9	-	6	-	-	-	2	6	1	
	私 設	小 計	1,291	255	242	114	64	91	84	242	199	5
40t未満	201	32	48	14	10	15	2	49	31	4		
40～100t 未 満	1,053	215	189	98	53	71	79	183	165	1		
100t以上	37	8	5	2	1	5	3	10	3	-		
そ の 他	プ ー ル 等	53	5	7	9	9	4	6	8	5	2	
	( )	(43)	(4)	(6)	(7)	(9)	(3)	(3)	(7)	(4)	(2)	

※消火栓の( )は、水利基準適合消火栓、プールの( )は、鋼鉄製又はアルミ、FRP製でそれぞれ内数

## (2) 耐震性貯水槽の設置状況

東海地震における被害想定に基づき、地震で火災が同時多発すれば、広範囲に延焼する危険が最も大きい地域を重点に耐震性貯水槽を設置しており、100m<sup>3</sup>以上の主なものは次のとおりです。

No.	所在地	貯水量 (m <sup>3</sup> )	設置 年度	型式
1	厚木市旭町1丁目18番 あさひ公園内	100	S53	丸型 6.0m×3.9m
2	厚木市中町4丁目11番 さつき公園内	100	S54	〃
3	厚木市中町1丁目4番3号 立体駐車場西側	100	S55	丸型 6.0m×3.7m
4	厚木市緑ヶ丘3丁目4番 緑ヶ丘西公園内	100	S56	〃
5	厚木市酒井1975番地 旧農協相川支所内	100	S56	〃
6	厚木市妻田東2丁目23番 東河原第1公園内	100	S57	角型 4.0m×14.09m×2.0m
7	厚木市元町9番3号 北児童館内	100	S58	丸型 6.0m×3.7m
8	厚木市岡田4丁目19番5号 三嶋神社境内	100	S59	〃
9	厚木市妻田西1丁目24番 市場公園内	100	S60	〃
10	厚木市長沼244番地 長沼公園内	100	S61	〃
11	厚木市南町24番 すみれ公園内	100	S61	〃
12	厚木市水引2丁目9番 農協本所内	100	S62	〃
13	厚木市旭町4丁目13番 ふじみ公園内	100	S63	〃
14	厚木市林3丁目8番52号 消防団第3分団第1部器具置場敷地内	100	H元	〃
15	厚木市酒井2157番地 白髭公園内	100	H2	〃
16	厚木市三田2735番地1 睦合北公民館内	100	H3	〃
17	厚木市岡田3058番地 中丸公園内	100	H5	〃
18	厚木市寿町3丁目2番10号 厚木中央公園内	100	H6	〃
19	厚木市旭町1丁目30番 どんぐり公園内	100	H8	丸型 6.4m×3.16m
20	厚木市戸室1丁目40番 宮田公園内	100	H9	〃
21	厚木市酒井3009番地 八木間公園内	100	H10	〃
22	厚木市妻田南1丁目21番 中河原けやき公園内	100	H11	〃

## 消防車両

### 1 消防車両更新状況

(令和2年度)

車種別	台数	配属先	備考
高規格救急自動車	1	厚木消防署 南毛利分署	更新
消防ポンプ自動車	1	厚木消防署 玉川分署	更新

### 2 消防車両整備の概要

消防車両の保守管理は迅速整備の基本方針で、車両の機能保持を図っています。

(令和2年度)

区分	車種 合計	常備			非常備
		消防ポンプ車	救急車	その他車両	小型動力ポンプ付積載車
車検	53	6	5	21	21
法定整備	204	30	16	73	85
一般整備	169	50	57	28	34

# 火災予防



秋・春の火災予防運動をはじめ、年間計画に基づく防火対象物の立入検査、歳末火災特別警戒、消防訓練指導等を行い、地域住民並びに事業所等に火災予防と人命の安全確保を呼びかけ、防火意識の高揚に努めています。

## 1 火災予防運動

### (1) 秋季火災予防運動 11月9日～11月15日

#### ア 重点目標

- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 乾燥時及び強風時火災発生防止対策の推進
- (ウ) 放火火災防止対策の推進
- (エ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (オ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

#### イ 主な実施事項

- (ア) 火災予防広報の実施（各種広報媒体を活用しての広報）
- (イ) 事業所等への協力依頼
- (ウ) 立入検査の実施（特定防火対象物、危険物施設等）
- (エ) 住宅防火診断

### (2) 春季火災予防運動 3月1日～3月7日

#### ア 重点目標

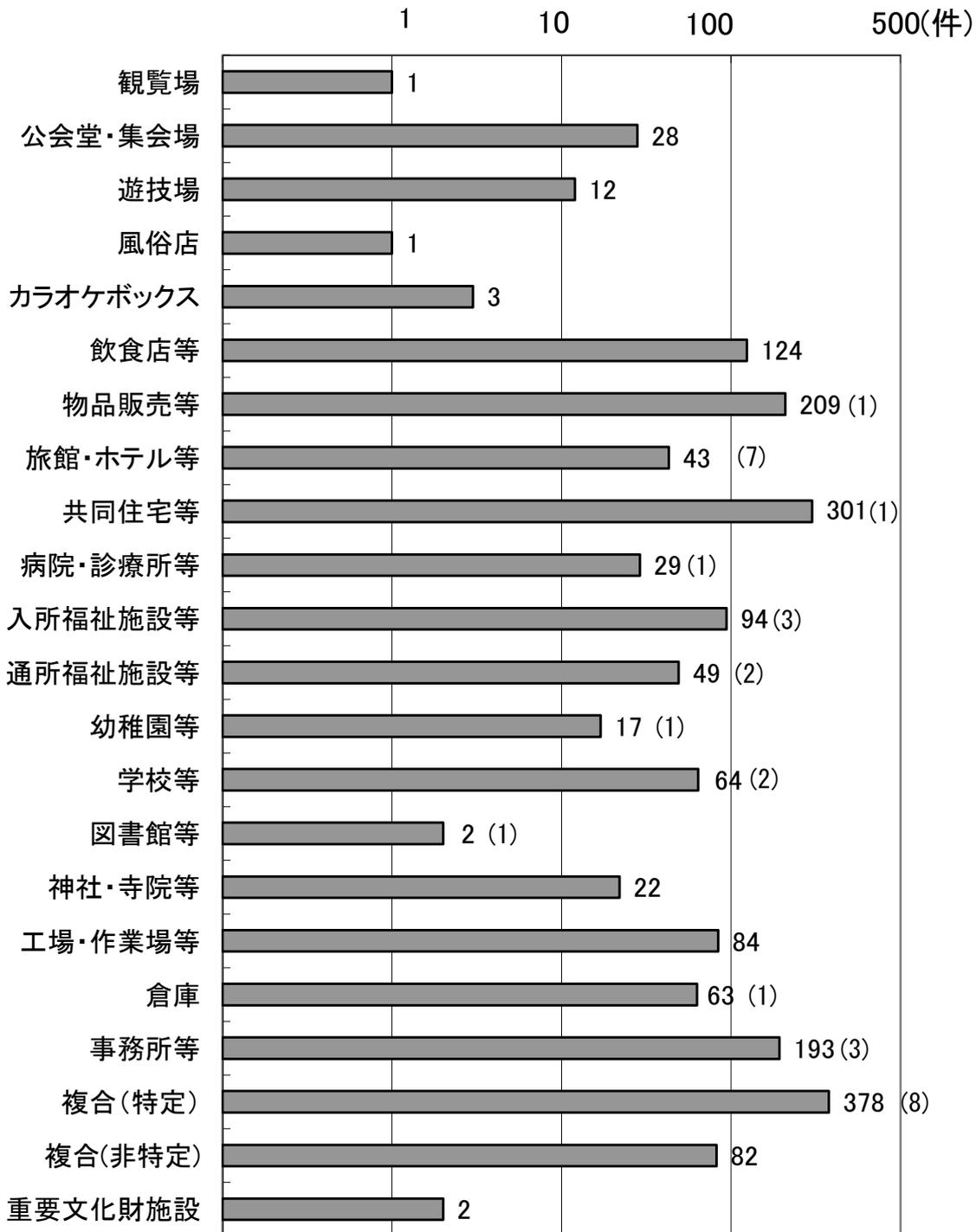
- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (ウ) 放火火災防止対策の推進
- (エ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (オ) 林野火災予防対策の推進

#### イ 主な実施事項

- (ア) 火災予防広報の実施（各種広報媒体を活用しての広報）
- (イ) 事業所等への協力依頼
- (ウ) 立入検査の実施（特定防火対象物、営業用バス、危険物運搬車両）
- (エ) 林野火災防止標識の点検及び整備

## 2 防火管理者等調

防火管理者の選任及び消防計画の届出を必要とする防火対象物 1,801 (31)件



(令和3年3月31日現在)

※ ( ) 内は清川村の防火対象物数。

### 3 消防法・火災予防条例に基づく届出等処理状況

(令和2年度)

届 出 別	厚 木 市 届 出 数 (件)	清 川 村 届 出 数 (件)
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	518	8
消 防 計 画 作 成 ( 変 更 ) 届	335	5
消 防 用 設 備 等 の 点 検 結 果 報 告 書	2,267	18
ポ イ ラ ー 設 備 等	28	-
防 火 対 象 物 使 用 開 始	172	3
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球	-	-
催 物 開 催	3	1
電 気 設 備	63	1
喫 煙 等 禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請	24	1
合 計	3,410	37

### 4 防火対象物定期点検報告制度

#### ◎実施目的及び実施対象物の状況

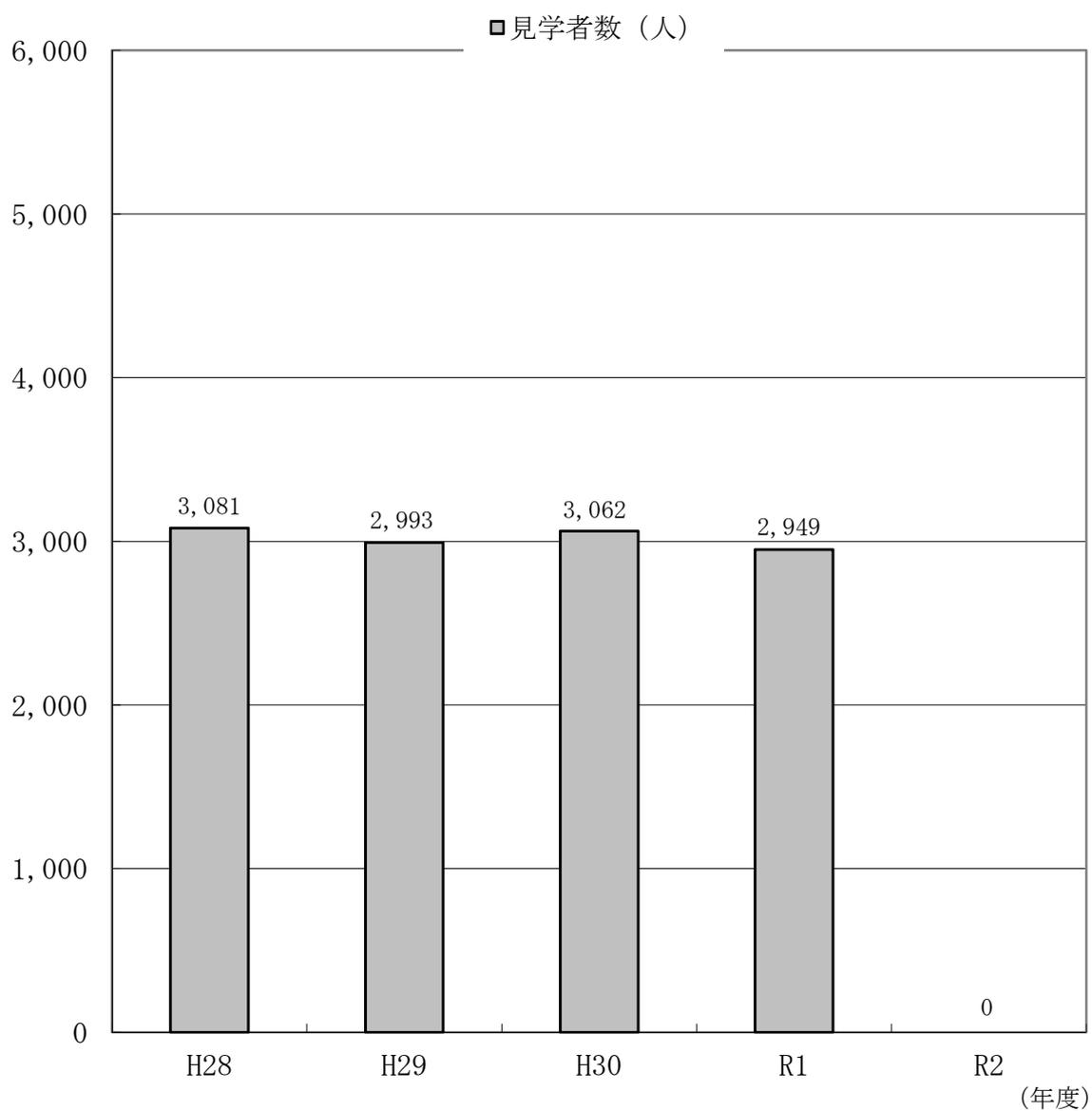
この制度は、旅館、ホテル等不特定多数の者を収容する防火対象物の管理権原者等による防火管理の徹底を図ることを目的に一定の規模、用途の管理権原者等に対し、点検報告を義務付けるもので、消防機関が行う法令要件に該当する旨、又は防火対象物点検基準に適合した建物である旨を「防火優良認定証及び防火基準点検済証」で表示し、広く市民に防火上の情報を提供するとともに、防火安全上の目安に活用してもらうことを目的としています。

令和3年3月31日現在、43件の防火対象物に「防火優良認定証」の表示に係る通知書を交付しています。

## 5 幼稚園児、小学生の消防署見学の推移

幼稚園等の保育活動及び小学生の社会科校外学習等の一環として、消防署を見学された方々に火災等についての講話を行い、消防署員の訓練状況や消防についての知識を高めていただくとともに、火災予防思想の普及に努めています。

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
見学者数（人）	3,081	2,993	3,062	2,949	0



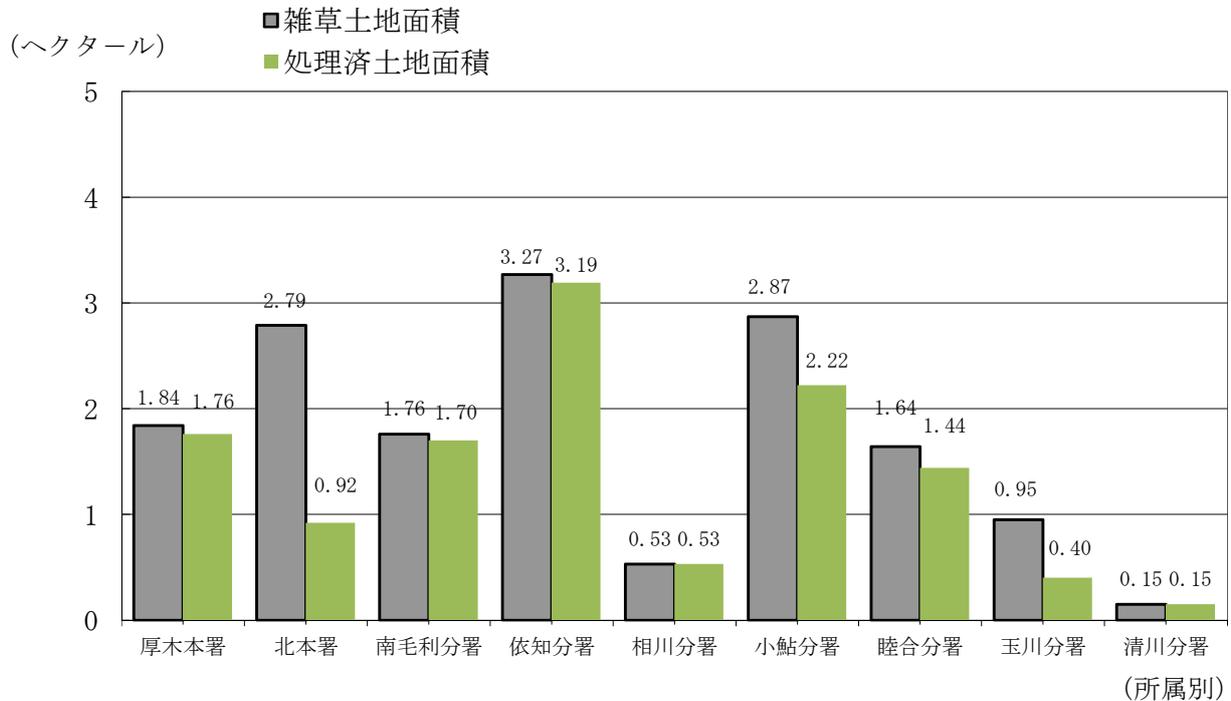
## 6 雑草地の指導

毎年10月1日から翌年3月31日までを雑草火災防止対策期間として、空き地等に繁茂している火災予防上危険な雑草処理の指導を行いました。

令和2年度中の状況は、10月上旬に実態調査を行った結果、15.8ヘクタール（所有者336人）の雑草地があり、11月に文書等による刈取り依頼、12月に刈取り指導等を行い、1月に最終調査を行った結果、12.31ヘクタール（所有者282人）の雑草地約77.9%が処理されました。

（令和2年度）  
単位：ヘクタール

所属別 土地面積等	厚木本署	北本署	南毛利分署	依知分署	相川分署	小鮎分署	睦合分署	玉川分署	清川分署
雑草土地面積	1.84	2.79	1.76	3.27	0.53	2.87	1.64	0.95	0.15
処理済土地面積	1.76	0.92	1.70	3.19	0.53	2.22	1.44	0.40	0.15



## 7 初期消火協力の推進

不幸にして発生した火災の被害を最小限にとどめるには、適切な初期消火活動が大切です。

令和2年中、初期消火活動が有効だった火災は20件ありました。

（令和2年中）

水道水	消火器	屋内消火栓	その他	合計（件）
8	6	1	5	20

## 8 立入検査実施状況

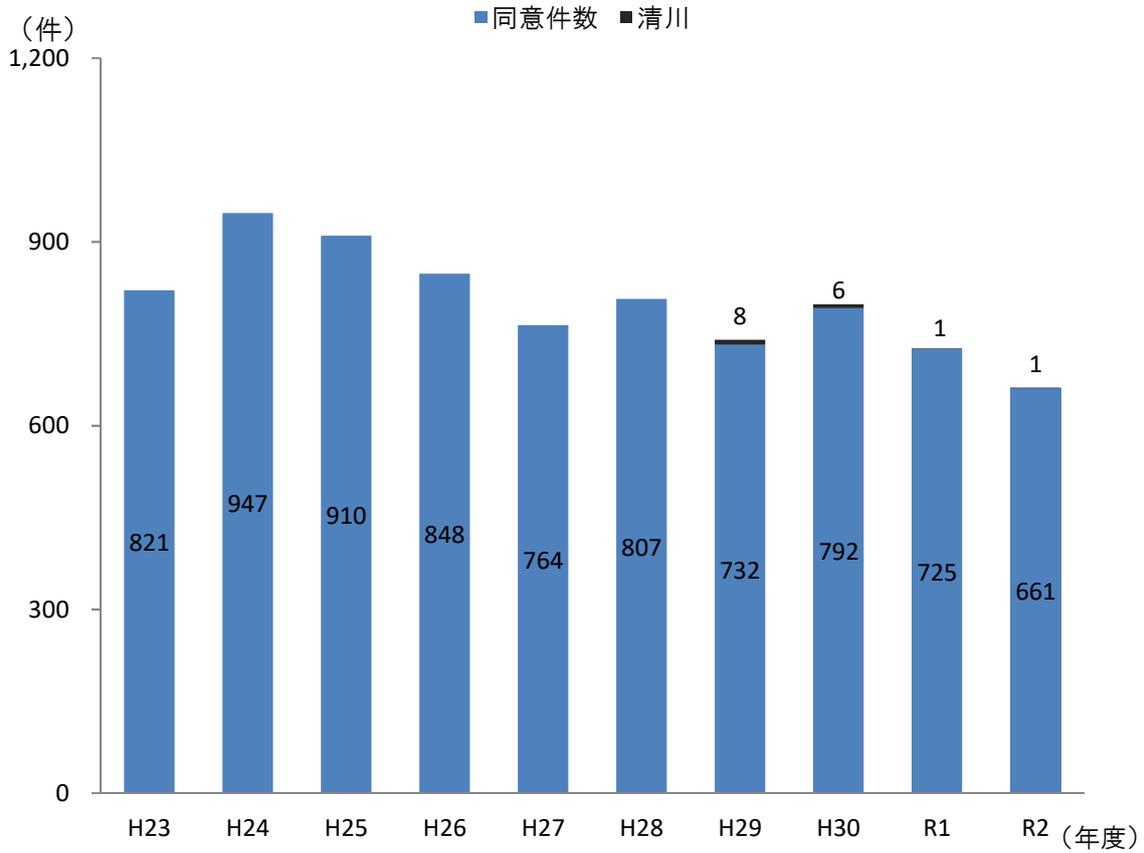
(令和2年度)

用途別 概要	立入 検査 数	指 導 対 象 物 数	指 導 事 項 数	指 導 事 項 内 容						
				設 備 防 用 係	建 築 物 関 係	火 気 使 用 関 係	電 気 関 係	危 険 物 関 係	防 火 管 理 関 係	そ の 他
観覧場・集会場等	17	10	36	24	-	-	-	2	7	3
飲食店・物品販売	89	60	276	108	11	4	-	1	117	35
旅館・ホテル	1	1	16	5	1	-	1	-	4	5
共同住宅	94	27	45	37	-	1	-	1	1	5
病院等	36 (2)	6 (2)	8 (4)	4 (4)	-	-	-	-	1	3
工場・倉庫等	38 (1)	1 (1)	5 (4)	4 (2)	-	-	-	- (2)	1 -	-
複合用途(特定)	19 (3)	15 (3)	109 (30)	34 (10)	2	3	-	2 (2)	53 (18)	15
上記以外の対象物	119	20	87	45	4	1	2	6	21	8
危険物施設等	31 (3)	25	50	1	-	-	-	49	-	-
合 計	<b>444 (9)</b>	<b>165 (6)</b>	<b>632 (38)</b>	<b>262 (16)</b>	<b>18</b>	<b>9</b>	<b>3</b>	<b>61 (4)</b>	<b>205 (18)</b>	<b>74</b>

(注) ( )内は清川村の件数

## 9 消防同意事務等

### (1) 過去10年間の同意件数

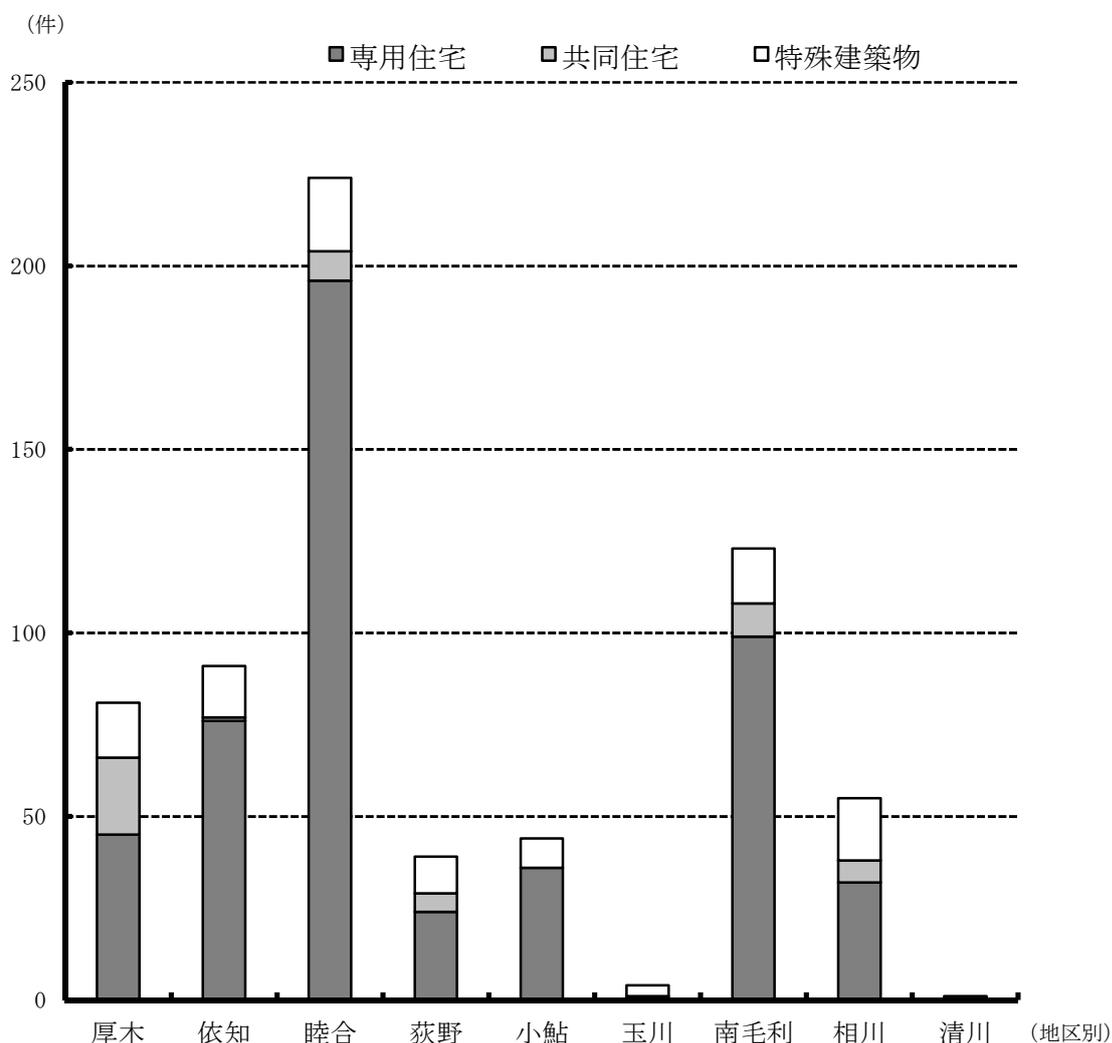


### (2) 月別同意件数

(令和2年度)

区分 月	合計件数		新築件数		増築件数		改築件数		用途変更件数		移転件数		その他の件数	
	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川	厚木	清川
4	74	-	71	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
5	42	-	40	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	59	-	59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	47	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	38	-	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	64	1	64	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	64	-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	65	-	64	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
12	45	-	44	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	52	-	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	42	-	39	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
3	69	-	66	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
合計	661	1	647	1	10	-	1	-	3	-	-	-	-	-

(3) 地区別及び用途別同意件数



(令和2年度)

用途 \ 地区	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	清川	合計
専用住宅	45	76	196	24	36	-	99	32	-	508
共同住宅	21	1	8	5	-	1	9	6	-	51
特殊建築物	15	14	20	10	8	3	15	17	1	103
合計	81	91	224	39	44	4	123	55	1	662

10 防火対象物状況（消防用設備等の設置対象物数を示す。）

（令和3年3月31日現在）

消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物の区分		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		厚木市	清川村	厚木市	清川村	厚木市	清川村	
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	6	-	6	-	6	-
	ロ	公会堂・集会場	37	1	37	1	38	1
2	ロ	遊技場・ダンスホール	12	-	12	-	12	-
	ハ	風俗営業等を営む店舗等	2	-	2	-	2	-
	ニ	カラオケボックス等	3	-	3	-	3	-
3	ロ	飲食店	143	1	140	2	128	1
4		百貨店・マーケット等	330	1	329	1	329	1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	68	34	68	34	67	34
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	3,971	3	3,990	3	4,020	3
6		※詳細は次頁による	288	11	300	11	309	12
7		小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	264	3	265	3	269	3
8		図書館・博物館・美術館等	4	1	4	1	4	1
11		神社・寺院・教会等	40	1	41	1	41	1
12	イ	工場・作業場	707	3	712	4	713	4
13	イ	自動車車庫・駐車場	71	1	71	1	71	1
14		倉庫	1,051	3	1,057	3	1,064	3
15		前各項に該当しない事業場	1,183	8	1,193	11	1,213	11
16	イ	1～4、5イ、6、9イを含む複合用途防火対象物	804	10	809	10	810	11
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	571	1	570	-	573	-
17		重要文化財施設等	10	-	10	-	10	-
18		延長50m以上のアーケード	1	-	1	-	1	-
合 計			9,566	82	9,620	86	9,683	87

## 6項詳細

消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物の区分		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		厚木市	清川村	厚木市	清川村	厚木市	清川村
イ	(1) 診療科名中に特定診療科名を有し、医療法に規定する療養病床又は一般病床を有するもの	14	2	14	2	14	2
	(2) 診療科名中に特定診療科名を有し、4人以上の患者を入院させるための施設を有するもの	2	-	2	-	2	-
	(3) 病院（(1)に掲げるものを除く。）、患者を入院させるための施設を有する診療所（(2)に掲げるものを除く。）又は入院施設を有する助産所	9	2	9	2	9	2
	(4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	68	1	70	1	71	1
ロ	(1) 高齢者施設 避難が困難な要介護者を主として入居させるもの	73	2	79	2	81	3
	(2) 救護施設等	-	-	-	-	-	-
	(3) 乳児院	-	-	-	-	-	-
	(4) 障害児入所施設等	-	-	-	-	-	-
	(5) 障害者施設 避難が困難な障害者等を主として入所させるもの	24	1	24	1	26	1
ハ	(1) 高齢者施設 6項ロ(1)に掲げるものを除くもの	17	1	16	1	17	1
	(2) 更生施設等	-	-	-	-	-	-
	(3) 助産施設、保育所等	31	1	32	1	32	1
	(4) 児童発達支援センター等	1	-	1	-	1	-
	(5) 障害者施設 6項ロ(5)に掲げるものを除くもの	28	-	32	-	35	-
ニ	幼稚園等	21	1	21	1	21	1
合 計		288	11	300	11	309	12

## 11 高層建築物の状況

### (1) 高層建築物数 121件

(軒の高さが31メートルを超える建築物及び地階を除く階数が11以上の建築物。)

### (2) 主な高層建築物

(令和3年3月31日現在)

番号	名称	所在地	階数 (地上/地下)	軒の高さ (m)	延面積 (㎡)	用途
1	厚木アクストメインタワー	岡田3050	26 / 1	107	57,400	(16)イ
2	ザ・パークハウス本厚木タワー 本厚木ミハラス	旭町1-25-1	22 / 2	78	24,400	(16)イ
3	リヴァージュ21	東町2-1	21 / 1	69	18,800	(16)イ
4	厚木ビジネスタワー	中町3-16-1	16 / 1	59	11,800	15
5	レーベン本厚木 THE MASTERS TOWER	中町4-13-1	19 / 1	57	10,000	(5)ロ
6	プレミスト本厚木	中町4-13-2	19 / 0	57	12,500	(5)ロ
7	メイテック厚木テクノセンター 本部棟	森の里青山15-1	14 / 1	55	12,100	15
8	日産テクニカルセンター 103号棟	岡津古久560-2	10 / 2	51	106,900	15
9	神奈川工科大学 情報学部棟	下荻野1030	13 / 1	51	16,300	7
10	第1伊藤ビル	旭町1-24-13	12 / 1	50	9,700	15
11	リーフィアレジデンス本厚木	栄町2-7-12	16 / 0	48	7,600	(5)ロ
12	信金中央金庫厚木システムセンター	森の里青山22	9 / 1	47	43,600	15
13	ルリエ本厚木	寿町3-1	14 / 2	46	19,800	(16)イ
14	ポレスター本厚木	泉町13-10	15 / 0	45	4,000	(5)ロ
15	ルネ本厚木	田村町1-10	15 / 1	44	18,900	(5)ロ

※ 用途は、消防法施行令別表第一に掲げる用途区分による。

## (3) 地区別・中高層建築物数

(令和3年3月31日現在)

階層 地区	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	19階	21階	22階	26階	合計 (棟)
厚木	600	120	161	101	76	54	38	18	12	18	11	20	6	2	2	1	1	-	1,241
依知	221	36	9	3	2	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	275
睦合	379	68	77	9	5	2	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	545
荻野	85	17	39	1	4	6	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	155
小鮎	81	16	10	3	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	115
玉川	52	40	18	4	5	4	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	128
南毛利	474	68	58	31	17	2	4	1	3	2	-	4	-	-	-	-	-	-	664
相川	182	34	50	6	9	3	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	289
清川	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
合計 (棟)	2,076	405	422	158	120	74	50	25	16	21	14	26	6	2	2	1	1	1	3,420

## 12 消防用設備等着工・設置届出状況

(令和2年度)

設備名	着工届出数	設置届出数
消火器	-	67
屋内消火栓設備	17	15
スプリンクラー設備	30	26
泡消火設備	2	1
不活性ガス消火設備	2	2
ハロゲン化物消火設備	4	3
粉末消火設備	4	4
屋外消火栓設備	5	3
動力消防ポンプ設備	-	1
自動火災報知設備	135	151
ガス漏れ火災警報設備	1	3
漏電火災警報器	-	-
消防機関へ通報する火災報知設備	11	15
非常警報設備 (ベル)	-	1
非常警報設備 (放送)	-	44
避難器具	12	25
誘導灯	-	119
誘導標識	-	6
消防用水	-	-
排煙設備	-	3
連結散水設備	-	-
連結送水管	-	14
非常コンセント設備	-	6
パッケージ型消火設備	4	4
合計	227	513

## 13 危険物施設

### (1) 危険物

一般的に危険物とは、引火性物質、爆発性物質、毒劇物あるいは放射性物質などの危険性のあるものを称している場合が多く、消防法上の危険物は消防法第2条第7項において「別表第一の品名欄に掲げる物品で、同表の性質欄に掲げる性状を有するものをいう。」と定義されています。

なお、消防法では指定数量以上の危険物の貯蔵、取扱いを原則的には禁止しており指定数量以上の危険物を貯蔵、取り扱う場合は許可を受けなければならないと規定され貯蔵、取扱いの許可を受けた施設が「危険物施設」です。

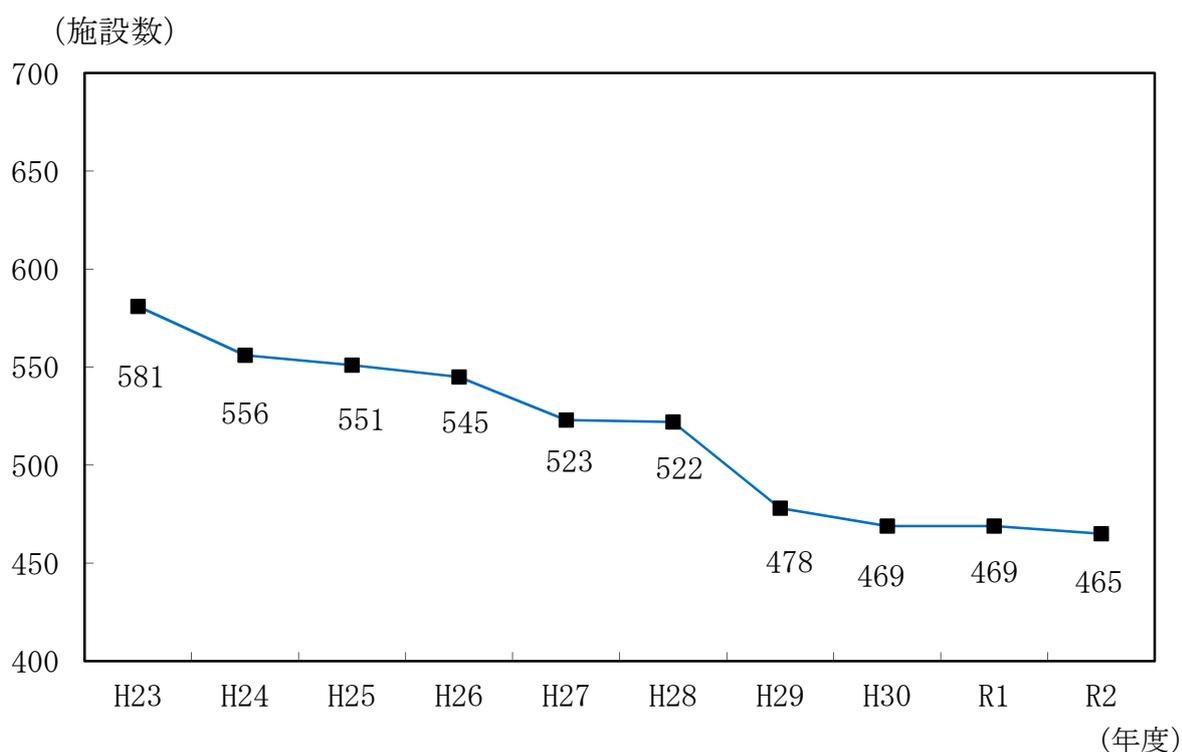
また、危険物はあらゆる生活分野に浸透している石油製品等に代表されるように、社会生活の向上に大きく貢献している反面、ひとたびその取扱い等を誤ると火災や爆発事故等の災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

### (2) 危険物施設の状況

危険物施設数は、令和3年3月31日現在465施設となっております。

施設別にみると屋内貯蔵所が104施設（22.4%）で最も多く、次に地下タンク貯蔵所が98施設（21.1%）、一般取扱所が84施設（18.1%）の順となり、また、地区別にみると依知地区及び南毛利地区に施設が多く設置されていますが、これは両地区に工業団地があり工場等が多数存在しているためです。

### (3) 過去10年間の危険物施設の推移



## 14 地区別危険物施設

(令和3年3月31日現在)

施設別		地区別											構成比 (%)
		合計	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	緑ヶ丘	清川村	
合計		465	41	125	53	29	40	52	64	45	5	11	100
製造所		3	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	0.6
貯蔵所	屋内	104	3	34	6	7	8	17	12	15	2	-	22.4
	屋外タンク	21	-	12	-	-	3	1	3	2	-	-	4.5
	屋内タンク	10	4	2	-	-	-	1	-	2	-	1	2.2
	地下タンク	98	11	26	4	3	5	13	19	12	-	5	21.1
	簡易タンク	8	-	1	-	3	1	2	1	-	-	-	1.7
	移動タンク	42	8	1	24	4	2	-	-	-	-	3	9.0
	屋外	14	-	8	-	-	3	-	3	-	-	-	3.0
取扱所	給油(営業)	38	3	8	5	4	3	1	7	6	-	1	8.2
	給油(自家)	41	1	9	5	5	5	2	7	5	1	1	8.8
	第1種販売	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2
	第2種販売	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	0.2
	一般	84	10	22	8	3	9	15	12	3	2	-	18.1

## 15 危険物施設等立入検査状況

(令和2年度)

施設別 区分	計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	第1種販売	第2種販売	一般
施設数	465	3	104	21	10	98	8	42	14	79	1	1	84
検査実施施設数	34	-	2	-	-	8	-	20	-	-	-	-	4
延べ人員	98	-	6	-	-	20	-	60	-	-	-	-	12
指導施設数	25	-	2	-	-	8	-	11	-	-	-	-	4
指導事項数	50	-	4	-	-	18	-	13	-	-	-	-	15

※移動タンク貯蔵所の検査実施施設数は、他市町村長の許可施設を含む。

## 16 危険物施設の事務処理状況

消防法の規制を受ける危険物施設の令和3年3月31日における設置許可、変更許可及び完成検査等の事務取扱い件数は222件あり、このうち設置及び変更許可は83件、完成検査は77件でした。

また、届出等の事務取扱い件数は250件で、そのうち主なものは危険物製造所等資料提出（取扱者関係を含む。）が171件、次に保安監督者選任（解任）届が61件となっています。

(令和2年度)

施設別 区分		計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 1 種 販 売	第 2 種 販 売	一 般
合 計		472	16	58	15	3	46	1	20	7	141	0	1	164
許 可	設 置	8	-	2	1	-	-	-	4	-	1	-	-	-
	変 更	75	5	2	1	-	-	-	2	-	24	-	-	41
完 成	設 置	8	-	2	1	-	-	-	4	-	1	-	-	-
	変 更	69	4	2	4	-	1	-	2	-	24	-	-	32
仮 使 用		62	5	-	1	-	-	-	-	-	22	-	-	34
小 計		222	14	8	8	0	1	0	12	0	72	0	0	107
種類、数量変更届		6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
譲 渡 引 渡 届		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
廃 止 届		11	-	-	1	-	2	-	3	-	2	-	-	3
保安監督者選任(解任)届		61	-	23	4	-	6	1	-	2	16	-	1	8
資 料 提 出	取扱者関係	28	-	-	-	1	14	-	4	2	-	-	-	7
	そ の 他	143	2	23	2	2	23	-	-	3	51	-	-	37
小 計		250	2	50	7	3	45	1	8	7	69	0	1	57

## 17 少量危険物等届出状況

(令和2年度)

施設別 区分	合 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外 貯 蔵 所	販 売 所	取 扱 所
令和2年度届出数	42	14	5	1	-	5	2	-	15
令和2年度廃止届出数	29	5	10	2	-	4	2	-	6
合 計	71	19	15	3	0	9	4	0	21

## 18 危険物手数料

### (1) 手数料納入額

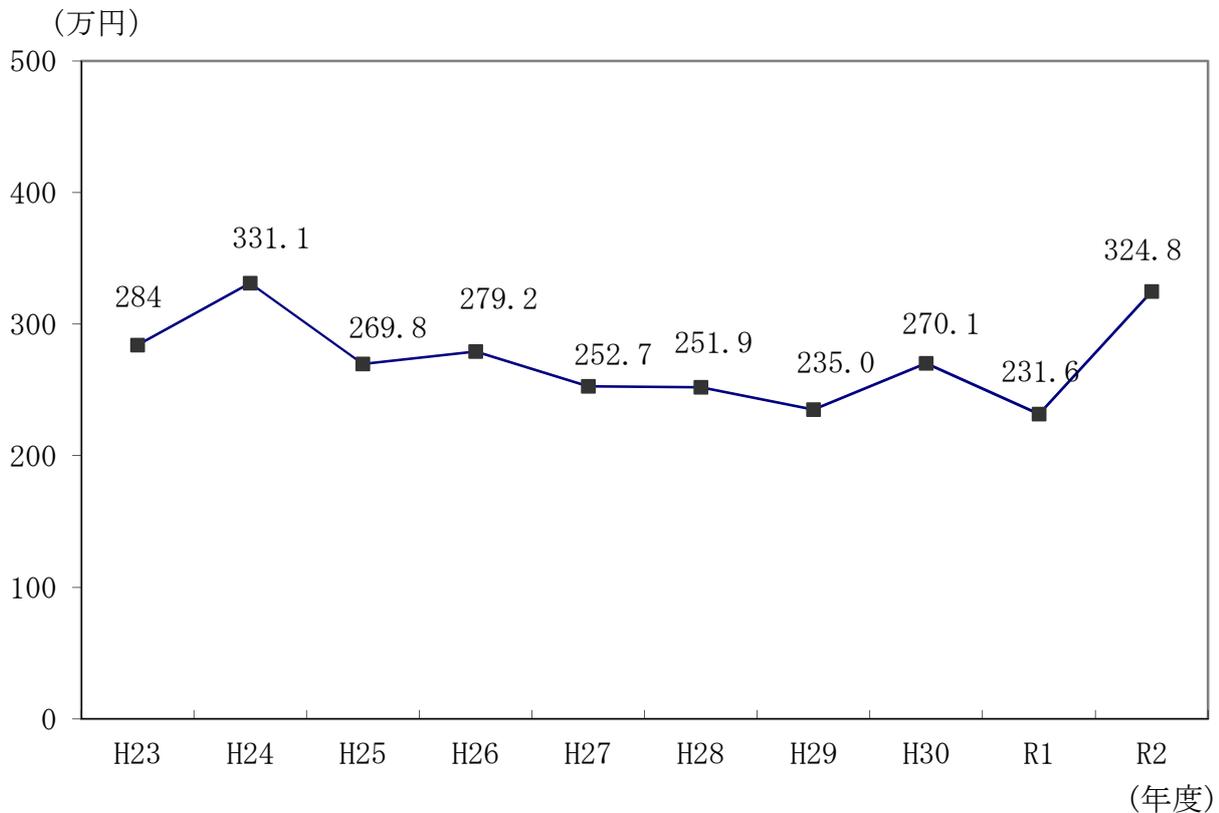
指定数量以上の危険物を貯蔵又は取扱いをする場合及び指定数量以下の少量危険物を貯蔵又は取扱いをするタンクの水張検査等を受ける場合の市条例に基づく手数料納入額です。

(令和2年度)

区分	合計	許可及び完成検査			タンク検査		仮貯蔵・仮取扱・仮使用		
		設置許可	変更許可	完成検査	水張	水圧	仮貯蔵	仮取扱	仮使用
金額(円)	3,248,800	216,000	1,672,500	856,500	—	88,000	32,400	48,600	334,800
					—	—			

※タンク検査欄の下段は、指定数量未満の危険物等の手数料納入額

### (2) 過去10年間の危険物手数料の推移



警

防



## 火災の概要

令和2年中の火災は48件で、前年に比べ8件の減少となっています。これは、約8日に1件の割合で火災が発生したことになります。

この火災件数を種別ごとにみると、建物火災が32件（全火災の66.7%）、林野火災が1件（2.1%）、車両火災が4件（8.3%）、その他の火災が11件（22.9%）となっています。これらを前年と比較すると、建物火災が2件、車両火災、その他火災がそれぞれ3件減少し、林野火災が増減なしでした。

また、火災による死傷者については、死者5人、負傷者14人で前年に比べ死者は5人増加し、負傷者は6人増加しました。

損害見積額は、108,552千円で、前年と比較すると40,321千円の減少となっています。

なお、出火原因別の出火件数を多い順にみると（その他、不明・調査中を除く。）、こんろ、放火（疑い含む。）が6件、たき火、ストーブがそれぞれ5件と続いています。

また、こんろ、放火（疑い含む。）の件数は、それぞれ全体の12.5%を占めています。

### 1 火災種別死傷者発生調

（令和2年中）

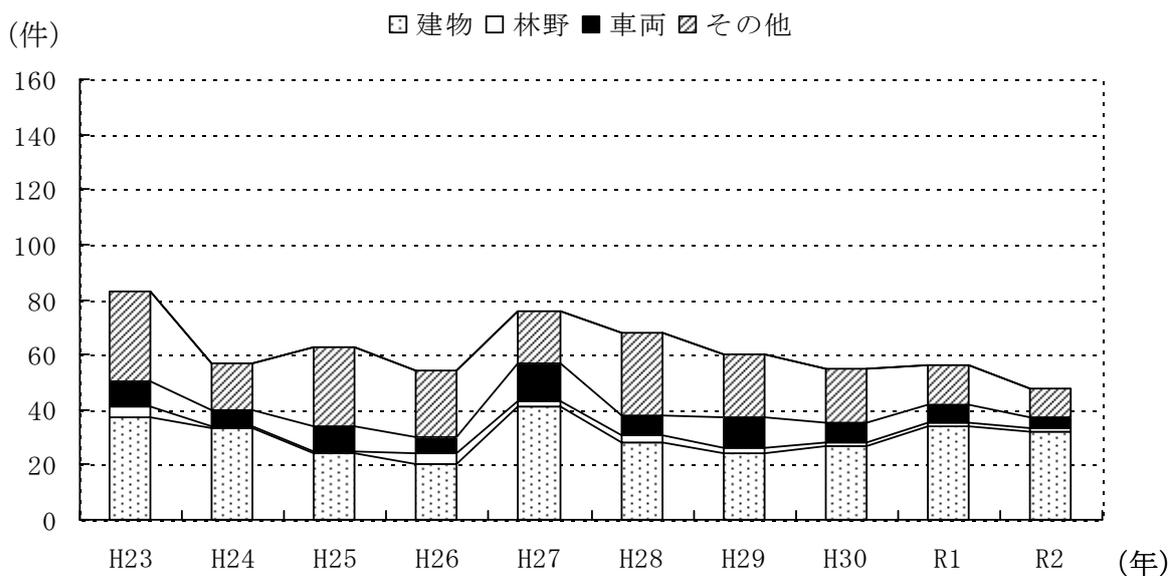
火災種別		建物	林野	車両	その他	合計
R1	件数	34	1	7	14	56
	死者	-	-	-	-	-
	負傷者	7	-	-	1	8
R2	件数	32	1	4	11	48
	死者	5	-	-	-	5
	負傷者	13	-	-	1	14

### 2 火災概況調

令和3年1月1日 人口 223,868人

区分	件数等	摘要
火災発生件数	48件	建物32、林野1、車両4、その他11（件）
建物焼損面積	996㎡	令和元年 1,352㎡
林野焼損面積	1 a	令和元年 20 a
建物焼損棟数	41棟（類焼含む）	全焼7、半焼2、部分焼13、ぼや19（棟）
損害額	108,552千円	令和元年 148,873千円
り災世帯数	33世帯	全損13、半損2、小損18（世帯）
死者	5人	令和元年 0人
負傷者	14人	令和元年 8人
1日当たり発生件数	0.13件	令和元年 0.15件
1日当たり建物焼損面積	2.72㎡	令和元年 3.70㎡
1日当たり林野焼損面積	0.0027a	令和元年 0.054a
1日当たり建物焼損棟数	0.112棟	令和元年 0.093棟
1日当たり損害見積額	297千円	令和元年 408千円
1日当たりのり災世帯数	0.091世帯	令和元年 0.041世帯
住民1人当たりの損害見積額	485円	令和元年 663円
1件当たりの損害見積額	2,262千円	令和元年 2,658千円

### 3 過去10年間の火災件数



種別	年別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2
建 物		37	33	24	20	41	28	24	27	34	32
林 野		4	1	1	4	2	3	2	1	1	1
車 両		9	6	9	6	14	7	11	7	7	4
そ の 他		33	17	29	24	19	30	23	20	14	11
合 計		83	57	63	54	76	68	60	55	56	48

### 4 主要火災原因別累年比較調

区分	たばこ	たき火	火遊び	こんろ	放火	放火の疑い	風呂かまど	ストーブ	ライター・マッチ	煙突・煙道	電灯・電話等の配線	配線器具	その他	不明・調査中	合計
H27	7	2	2	8	16	3	1	-	2	-	-	4	19	12	76
H28	4	2	5	4	19	3	-	-	2	-	4	3	10	12	68
H29	5	7	-	2	14	2	-	1	1	-	2	2	16	8	60
H30	2	3	1	3	9	8	-	1	1	-	1	4	16	6	55
R 1	4	4	-	2	12	1	-	-	1	-	4	-	20	8	56
R 2	2	5	1	6	4	2	-	5	-	-	2	4	13	4	48

## 5 損害見積額累年比較調

(単位：千円)

火災種別 \ 年別	H28	H29	H30	R 1	R 2
建 物	139,097	40,072	69,508	145,618	105,126
林 野	8	—	—	—	—
車 両	11,060	13,186	17,774	3,078	1,176
そ の 他	1,392	7,255	860	177	2,250
合 計	151,557	60,513	88,142	148,873	108,552

## 6 全国・県・市火災発生状況調

(令和2年中)

区分 \ 種分	火 災 件 数							損害額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	
全 国	34,602	19,314	1,235	3,453	75	—	10,525	68,071,009
神奈川県	1,803	1,093	8	181	3	—	518	1,682,069
厚 木 市	48	32	1	4	—	—	11	108,552



7-2 月別・曜日別火災発生状況（その2）

（令和2年中）

火災種別 月・曜日別		死傷者			損害額(千円)								
		死者	負傷者	30日死者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
					建 造 物	収 容 物							
月 別	1月	-	-	-	30	76	-	-	-	-	3	-	109
	2月	-	4	-	15,994	1,590	-	-	-	-	50	-	17,634
	3月	5	2	-	9,567	1,733	-	-	749	-	66	-	12,115
	4月	-	2	-	7,022	255	-	-	307	-	78	-	7,662
	5月	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1,892	-	1,901
	6月	-	1	-	1,784	4,252	-	-	-	-	-	-	6,036
	7月	-	-	-	921	13,661	-	-	-	-	2	-	14,584
	8月	-	1	-	10,720	156	-	-	-	-	-	-	10,876
	9月	-	-	-	137	16	-	-	-	-	-	-	153
	10月	-	1	1	10,214	6,215	-	-	120	-	159	-	16,708
	11月	-	-	-	322	144	-	-	-	-	-	-	466
	12月	-	2	-	19,238	1,070	-	-	-	-	-	-	20,308
合 計		5	13	1	75,958	29,168	-	-	1,176	-	2,250	-	108,552
曜 日 別	日曜日	-	-	-	545	9,872	-	-	-	-	-	-	10,417
	月曜日	5	2	-	10,652	1,843	-	-	100	-	1,895	-	14,490
	火曜日	-	6	1	33,702	7,599	-	-	30	-	2	-	41,333
	水曜日	-	1	-	47	-	-	-	120	-	66	-	233
	木曜日	-	2	-	19,204	1,515	-	-	-	-	209	-	20,928
	金曜日	-	2	-	6,373	4,290	-	-	649	-	-	-	11,312
	土曜日	-	-	-	5,435	4,049	-	-	277	-	78	-	9,839
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



8-2 時刻別火災発生状況（その2）

（令和2年中）

時刻別 火災種別	死傷者			損害額(千円)								
	死者	負傷者	30日死者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
00-01	-	-	-	-	9,867	-	-	-	-	-	-	9,867
01-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
02-03	-	1	-	1,804	227	-	-	649	-	66	-	2,746
03-04	-	1	-	9,955	976	-	-	-	-	-	-	10,931
04-05	-	-	-	149	4,090	-	-	-	-	159	-	4,398
05-06	2	2	-	6,708	493	-	-	100	-	-	-	7,301
06-07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
07-08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
08-09	-	-	-	5	-	-	-	30	-	-	-	35
09-10	-	-	-	50	50	-	-	-	-	-	-	100
10-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-12	-	3	-	2,105	330	-	-	-	-	-	-	2,435
12-13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13-14	-	-	-	137	16	-	-	-	-	-	-	153
14-15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15-16	-	1	-	23,590	1,026	-	-	-	-	2	-	24,618
16-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17-18	-	-	-	4,130	-	-	-	120	-	78	-	4,328
18-19	-	-	-	32	35	-	-	-	-	-	-	67
19-20	3	3	-	15,234	2,019	-	-	277	-	50	-	17,580
20-21	-	-	-	2,044	3,889	-	-	-	-	-	-	5,933
21-22	-	2	1	10,015	6,150	-	-	-	-	3	-	16,168
22-23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,892	-	1,892
23-24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	5	13	1	75,958	29,168	-	-	1,176	-	2,250	-	108,552

9 月別原因別火災発生状況

(令和2年中)

原因別 月	(令和2年中)												合 計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
たばこ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
こんろ	-	-	-	2	1	-	-	1	1	-	-	1	6
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	5
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
電気機器	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
電気装置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	1	-	4
火あそび	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マッチ・ライター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
たき火	-	1	-	1	1	-	-	1	-	-	-	1	5
溶接機・溶断機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火入れ	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
放火	1	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	4
放火の疑い	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2
その他	-	-	-	2	-	-	1	-	-	2	1	1	7
不明・調査中	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4
合 計	4	4	6	6	2	4	3	3	1	6	2	7	48



10-2 原因別火災発生状況 (その2)

(令和2年中)

原因別 火災種別	死傷者			損害額(千円)								
	死者	負傷者	30日死者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
たばこ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
こんろ	-	3	-	3,536	276	-	-	-	-	-	-	3,812
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	-	4	1	22,452	7,040	-	-	-	-	50	-	29,542
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	-	-	-	-	-	-	-	649	-	-	-	649
電気機器	-	-	-	-	4,090	-	-	-	-	-	-	4,090
電気装置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	-	1	-	14,644	1,021	-	-	-	-	-	-	15,665
内燃機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	-	-	-	1,280	3,984	-	-	-	-	-	-	5,264
火あそび	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マッチ・ライター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
たき火	-	-	-	4,130	-	-	-	-	-	1,970	-	6,100
溶接機・溶断機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
灯火	-	1	-	9,960	976	-	-	-	-	-	-	10,936
衝突の火花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火入れ	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	-	1	-	10,324	151	-	-	-	-	228	-	10,703
放火の疑い	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-	47
その他	-	-	-	50	9,932	-	-	307	-	-	-	10,289
不明・調査中	5	2	-	9,535	1,698	-	-	220	-	-	-	11,453
合 計	5	13	1	75,958	29,168	-	-	1,176	-	2,250	-	108,552

1 1 月別用途別火災発生状況

(令和2年中)

用途別	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
住宅	-	1	2	1	-	1	-	-	-	1	1	3	10
併用住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2
共同住宅	-	1	1	2	1	2	-	1	-	1	1	1	11
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
物品販売店舗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
旅館	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
グループホーム等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	3
事務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
複合用途(特定)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
複合用途(非特定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1	2	4	4	1	4	2	2	1	5	2	4	32
自動車車両	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	4
鉄道車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
林野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
その他	3	2	1	-	1	-	1	1	-	-	-	2	11
計	3	2	2	2	1	-	1	1	-	1	-	3	16
合計	4	4	6	6	2	4	3	3	1	6	2	7	48

1 2 - 1 地区別火災発生状況（その1）

（令和2年中）

火災種別 地区別	火災件数						焼損棟数										り災世帯数				り災人員	焼損面積					
	建物	屋 外					計	爆 発	火 元					類 焼					全 損	半 損		小 損	計	焼 損 床 面 積 (m <sup>2</sup> )	焼 損 表 面 積 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	そ の 他 (m <sup>2</sup> )
		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計									
厚木地区	6	-	-	1	-	3	10	-	-	1	1	4	6	-	-	-	-	-	1	1	5	7	8	113	-	-	10,000
依知地区	7	-	-	1	-	3	11	-	-	-	3	4	7	-	-	-	-	-	-	-	4	4	12	58	8	-	-
睦合地区	1	-	-	1	-	2	4	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	1	5	1	-	6	7	120	45	-	-
荻野地区	5	-	-	-	1	2	8	-	1	-	2	2	5	-	-	-	-	-	3	-	1	4	11	222	64	1	-
小鮎地区	2	-	-	1	-	-	3	-	2	-	-	-	2	1	-	1	-	2	1	-	-	1	1	173	5	-	-
玉川地区	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	1	-	-
南毛利地区	6	-	-	-	-	-	6	-	2	-	3	1	6	-	-	2	4	6	3	-	7	10	22	301	157	-	-
相川地区	3	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-
清川村	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	32	-	-	4	1	11	48	-	6	1	10	15	32	1	1	3	4	9	13	2	18	33	65	996	280	1	10,000

1 2 - 2 地区別火災発生状況（その2）

（令和2年中）

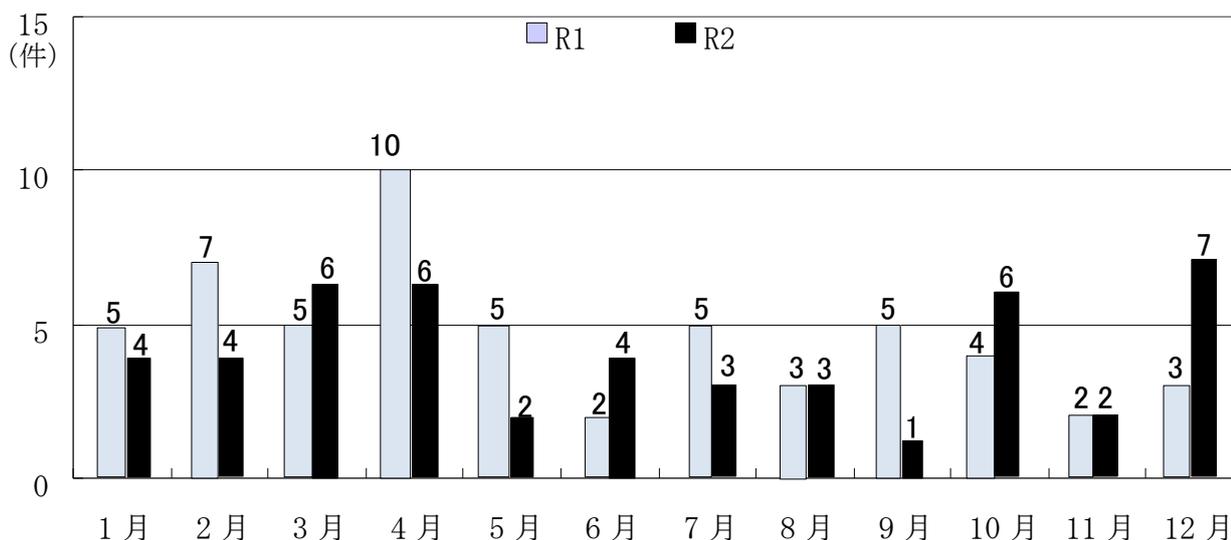
火災種別 地区別	死傷者			損害額(千円)								
	死者	負傷者	30日死者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
厚木地区	-	3	1	11,887	6,436	-	-	30	-	68	-	18,421
依知地区	-	1	-	11,184	10,194	-	-	277	-	3	-	21,658
睦合地区	-	1	-	9,955	976	-	-	649	-	1,892	-	13,472
荻野地区	2	4	-	19,727	1,363	-	-	100	-	159	-	21,349
小鮎地区	-	1	-	10,498	200	-	-	120	-	78	-	10,896
玉川地区	-	-	-	32	35	-	-	-	-	-	-	67
南毛利地区	3	3	-	11,608	5,779	-	-	-	-	50	-	17,437
相川地区	-	-	-	1,067	4,185	-	-	-	-	-	-	5,252
清川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	5	13	1	75,958	29,168	-	-	1,176	-	2,250	-	108,552

13 曜日別累年火災発生件数調

曜日 年別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
H28	10	8	7	10	15	6	12	-	68
H29	14	15	5	4	10	8	4	-	60
H30	12	10	10	4	4	6	9	-	55
R 1	8	11	3	6	8	10	10	-	56
R 2	4	7	9	6	8	8	6	-	48

14 月別火災件数の比較調

月別 年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
R 1	5	7	5	10	5	2	5	3	5	4	2	3
R 2	4	4	6	6	2	4	3	3	1	6	2	7



15 消防相互応援件数 (火災)

(令和2年中)

区分 応援市町村	横 浜 市	相 模 原 市	平 塚 市	綾 瀬 市	海 老 名 市	伊 勢 原 市	大 和 市	秦 野 市	座 間 市	愛 川 町	合 計
応 援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
東名高速	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
受 援	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	6
東名高速	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 16 昭和40年以降の主な火災

(令和2年12月31日現在)

発生年月日	出火時分	出火場所	用途	全焼	半焼等	焼損面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)	焼死者
40.1.21	12:20	上古沢74	林野	-	-	10(アール)	4	1
41.3.24	18:19	金田982	工場	2	1	5,219	331,025	-
6.14	22:43	飯山3061	工場	1	2	1,456	136,982	-
44.12.18	1:27	旭町4-16-10	住宅	-	1	25	1,210	1
45.1.7	12:20	飯山2367	学校	1	2	640	20,390	-
5.21	8:26	中町2-12-13	飲食店舗	1	-	756	28,903	-
7.8	20:16	幸町8-8	住宅	-	1	40	973	1
11.13	4:30	上依知2677	住宅	1	-	84	1,465	4
46.5.12	16:35	三田984	住宅	1	-	139	5,678	1
10.5	18:30	温水2200	工場	1	-	1,855	82,663	-
47.1.27	1:00	寿町1-9-1	住宅他	4	3	348	17,684	-
2.20	1:14	厚木794-2	住宅	1	1	236	11,217	1
48.8.18	0:10	酒井2191	住宅	1	-	33	1,484	1
49.1.20	21:59	妻田247	住宅	3	-	535	58,249	-
5.25	10:30	中依知88-1	工場	1	-	3,942	218,443	-
50.4.30	23:42	金田871	工場	1	-	389	65,648	-
51.11.9	0:10	中町1-7-11	倉庫・住宅	1	3	201	23,543	-
52.1.20	23:27	温水2200	工場	1	-	1,865	59,533	-
6.29	2:20	寿町2-2-20	倉庫	1	-	509	30,703	-
53.1.30	13:58	妻田559-3	住宅	1	-	32	1,950	3
3.29	9:29	下依知49-4	住宅	-	1	28	3,609	1
54.2.12	7:30	金田160-2	住宅	1	-	150	17,978	1
5.17	3:50	旭町3-17-15	住宅	1	-	62	7,257	1
56.2.4	18:34	下荻野1150-2	住宅	-	1	23	2,591	2
2.24	4:40	金田519	住宅	-	1	52	3,463	1
5.5	16:48	三田3-4	住宅	3	-	132	30,909	1
57.1.9	3:04	飯山3061-3	工場	1	-	355	51,144	-
12.24	22:29	下荻野231	住宅	1	-	49	10,267	1
59.6.5	2:48	上荻野2688	工場	1	-	3,320	150,270	-
12.16	14:17	金田62-2	工場	2	-	727	73,277	-
60.4.19	10:41	恩名437	住宅	1	-	220	22,929	1
61.2.25	16:54	寿町2-8-18	住宅	1	1	457	32,487	-
62.8.4	3:20	戸田933	牛舎	3	-	582	35,272	-
63.11.11	17:21	猿ヶ島101	住宅	4	3	397	25,220	-
H元.6.20	21:15	三田2003	工場	1	-	2,399	272,534	-
7.1	1:15	飯山278	作業場	1	-	961	47,606	-
2.1.16	3:42	岡津古久910	事務所他	3	-	659	16,907	-
4.5.2	16:00	妻田西1-31-38	住宅(かや葺き)	1	3	273	34,631	-
9.18	21:10	森の里5-14-11	建築中住宅	1	4	167	15,790	-
5.1.22	20:45	愛甲375	住宅	1	-	416	39,400	-
2.18	11:27	下川入404-3	作業場	1	1	428	19,900	-
6.10.27	2:45	中町2-10-15	店舗	-	3	438	150,358	-
7.9.19	9:32	下荻野972-2	住宅	1	1	40	4,600	1
11.19	0:15	及川111	住宅	2	3	333	20,212	-
8.4.11	19:32	関口75	作業場	1	-	376	23,539	-
6.3	0:48	三田975	倉庫	2	-	217	10,974	-
9.7.24	13:05	金田378	住宅	1	1	137	16,658	-
10.1.31	23:37	上古沢1894	住宅	3	-	271	7,571	-
12.2.7	2:07	上依知592-14	倉庫	10	3	720	150,175	-
13.10.16	1:37	下川入216	作業場他	4	11	932	174,081	-
14.10.22	15:10	中町3-1-17	複合用途	-	1	132	24,764	-
15.10.24	19:00	下依知300	倉庫	-	1	2,232	225,205	-
16.6.9	3:24	金田699-1	工場	1	-	931	149,309	-
17.10.18	13:04	上依知421	工場	1	2	365	22,848	-
18.7.29	0:42	船子607-40	住宅	1	5	186	19,167	-
19.12.13	5:20	上依知1323	住宅	1	-	104	5,299	2
20.11.13	20:57	林3-14-43	住宅	1	2	134	20,966	1
21.5.27	10:31	温水2263-6	住宅	2	1	122	17,558	1
22.11.2	13:37	岡津古久560	工場	-	1	378	116,115	-
23.4.2	1:50	下依知1094	住宅	1	-	192	68,184	2
25.6.20	13:40	旭町4-8-8	住宅	2	9	370	45,909	-
26.4.20	20:20	厚木町3-8	住宅等	5	3	305	10,174	-
27.4.11	15:53	妻田東1-17-52	作業所等	2	4	329	24,207	-
28.3.29	1:45	金田896-2	作業場	1	2	589	70,799	-
29.12.21	13:40	下川入1365-7	資材置場	-	-	1,200	1,279	-
30.6.4	23:25	林3-9-69	住宅	1	-	161	13,230	-
31.2.22	8:43	飯山2385-8	倉庫	-	1	240	73,969	-
R2.3.9	5:58	中荻野1724-1	住宅	1	-	142	7,301	2
R2.3.30	19:10	愛甲西2-18-11	住宅	1	-	128	4,032	3

消防署部隊の出動・訓練概要

1 月別部隊出動状況

(令和2年中)

種別	区分	合計			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
		件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員						
合計		11,030	12,524	38,700	1,027	1,107	3,396	939	1,033	3,165	901	1,026	3,158	752	852	2,674	746	806	2,480	806	904	2,804	959	1,152	3,565	1,119	1,264	3,935	926	1,096	3,375	940	1,133	3,521	910	985	3,020	1,005	1,166	3,607
火災		48	334	1,194	4	20	70	4	24	85	6	49	171	6	42	157	2	10	36	4	20	73	3	28	100	3	34	136	1	13	41	6	47	168	2	12	37	7	35	120
救急		10,600	10,600	31,800	997	997	2,991	916	916	2,748	868	868	2,604	719	719	2,157	725	725	2,175	774	774	2,322	911	911	2,733	1,077	1,077	3,231	886	886	2,658	891	891	2,673	880	880	2,640	956	956	2,868
救助		192	1,128	3,965	11	57	208	12	65	235	11	83	282	11	68	260	11	52	195	15	77	286	23	182	608	22	118	436	23	138	470	24	139	466	12	57	197	17	92	322
警戒		187	456	1,723	15	33	127	7	28	97	15	22	91	16	23	100	8	19	74	13	33	123	21	30	120	17	35	132	15	58	202	19	56	214	16	36	146	25	83	297
風水害		3	6	18	-	-	-	-	-	-	1	4	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	

2 月別部隊訓練等状況

(令和2年中)

種別	区分	合計			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
		回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員						
合計		2,796	4,121	12,031	240	332	1,041	211	293	875	173	238	770	400	647	1,746	368	559	1,534	245	354	1,056	174	262	769	204	273	821	203	293	880	227	368	1,049	196	296	852	155	206	638
消防操法		33	49	136	12	16	42	4	5	14	3	3	11	1	2	5	5	10	21	-	-	-	4	6	16	1	3	12	1	1	7	-	-	-	1	1	4	1	2	4
梯子車 架てい操法		56	115	294	4	6	15	-	-	-	-	-	20	43	110	2	3	9	10	21	63	6	8	32	4	7	19	2	6	9	2	6	12	6	15	25	-	-	-	
揚水、放水		220	310	935	22	23	88	16	22	65	17	29	67	32	49	131	31	41	123	12	20	44	10	15	43	13	15	56	16	21	69	9	15	38	19	31	105	23	29	106
走行		542	700	1,960	24	37	83	26	34	94	45	54	170	96	140	334	72	86	245	45	53	154	35	39	119	35	46	128	32	38	117	43	57	181	45	64	181	44	52	154
消防器具		656	969	2,755	94	141	439	76	109	321	39	51	162	100	170	423	61	100	228	45	59	183	27	40	120	59	78	226	35	44	145	62	102	264	30	40	132	28	35	112
梯子車 現地架てい		5	11	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	18	-	-	-	1	2	4	-	-	-	1	3	7	-	-	-	-	-	-	
救助		370	617	1,807	26	39	113	26	41	127	17	28	108	31	45	172	63	108	301	42	71	178	20	34	85	27	41	126	36	59	202	34	62	174	38	72	177	10	17	44
救助器具		269	434	1,271	15	22	79	18	20	79	28	45	151	35	64	157	26	50	105	25	45	121	15	25	73	25	31	119	29	47	125	27	48	133	17	25	82	9	12	47
救命ボート		20	43	171	-	-	-	-	-	-	-	-	11	29	117	-	-	-	1	2	7	3	5	15	4	4	25	1	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
救急		507	656	1,918	33	38	131	35	45	121	24	28	101	67	94	251	80	100	304	49	62	211	38	45	135	35	46	106	43	59	159	25	38	91	40	48	146	38	53	162
礼式		20	17	135	1	1	8	-	-	-	-	-	4	3	33	-	-	-	8	8	49	1	1	8	-	-	-	-	-	-	6	4	37	-	-	-	-	-	-	
潜水		22	66	186	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	5	4	14	49	2	2	9	13	42	109	-	-	-	1	3	7	1	3	7	-	-	-	-	-	-	
水防		29	56	177	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	47	149	3	5	19	-	-	-	-	-	-	2	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
演習		32	51	159	9	9	43	10	17	54	-	-	-	2	6	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	17	3	5	14	-	-	-	-	2	6	9	
地震初動 態勢訓練		15	27	98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	7	14	25	91	-	-	-	-	-	-		

# 通信 · 指令



## 通信・指令の概要

### 1 通信業務

平成 28 年度から運用を開始した高機能消防指令システムは、統合型位置情報通知装置や地図検索装置と連動し、固定電話や携帯電話等からの緊急通報時に通報者の位置を素早く特定、災害の種別や規模に応じて出動車両を自動編成し、迅速な出動指令を行います。

また、消防救急デジタル無線システムにより、多様なデータ通信で支援情報を共有することで災害に対してより効果的な部隊の運用が可能となっているほか、暗号化による秘匿性があることから個人情報保護を果たします。

指令課では、24 時間 2 交替勤務を行って、火災・救急・その他の災害発生による 119 番の受信、消防隊等への出動指令、出動部隊との無線交信による災害状況等の把握及び出動部隊へ活動上必要な情報伝達等、消防通信全般を総轄しています。

しかしながら、119 番通報については、本来の目的である災害出動に伴う緊急通報以外に、火災や救急に対する問い合わせやまちがいが多く見受けられます。

#### (1) 119 番受信状況 (令和 2 年中)

( ) 内は、受信件数のうち携帯電話等からの受信件数

種 別	受信件数	比率 (%)	種 別	受信件数	比率 (%)
火 災	182 ( 126)	1.2	いた ずら	15 ( 8)	0.1
救 急	10,133 (5,476)	69.6	ま ち が い	480 ( 361)	3.3
その他の災害	312 ( 212)	2.1	試験・その他	2,891 (1,625)	19.9
問い合わせ	549 ( 413)	3.8	計	14,562 (8,221)	100

※ 試験・その他には、訓練・消防用設備試験などがあります。

#### (2) 月別 119 番受信状況 (令和 2 年中)

( ) 内は、受信件数のうち携帯電話等からの受信件数

月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	1,332 (733)	1,233 (647)	1,261 (698)	1,083 (591)	1,016 (616)	1,067 (616)	1,207 (661)	1,435 (894)	1,191 (665)	1,211 (660)	1,234 (693)	1,292 (747)	14,562 (8,221)
割合 (%)	9.1	8.5	8.7	7.4	7.0	7.3	8.3	9.8	8.2	8.3	8.5	8.9	100

※割合については、合計件数から各月の件数を割った数値(%)となっています。

#### (3) 119 番受信状況の推移

年 別	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
件数	15,795	15,708	16,596	16,915	14,562
( ) 内は携帯電話件数	(7,601)	(8,072)	(8,865)	(9,356)	(8,221)
前年比件数	-256	-87	+888	+319	-2,353
携帯電話の割合 (%)	48.1	51.4	53.4	55.3	56.5

#### (4) NET119緊急通報システム

音声（肉声）による119番通報が困難な聴覚・言語障がい者が、緊急通報を行う補助手段として携帯電話及びスマートフォンのWeb（インターネット）機能を通し、簡単な画面操作で119番通報を行い、消防車や救急車の要請ができるものです。

受信件数 （運用開始日 平成31年2月1日）

年 別	令和元年	令和2年
災害種別件数	火 災 0件 救 急 2件 その他 0件	火 災 0件 救 急 3件 その他 0件

#### (5) 多言語通訳

日本語によるコミュニケーションが困難な外国人の方からの119番通報時、①通報者、②受信した指令課員、③電話通訳センター（通訳者）の三者が同時に通話することができ、より詳しい通報内容の把握や応急手当等の指導を伝えられることで、安心と安全を提供し、より迅速確実な出場が可能となります。

対応言語 19言語（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語ほか）

利用件数・言語別 （運用開始日 平成30年5月1日）

年 別	平成30年	令和元年	令和2年
件 数	4	20	12
言語・内数	スペイン語 1 中国語 1 その他 2	英 語 9 ベトナム語 3 ポルトガル語 2 スペイン語 3 その他 3	英 語 6 ベトナム語 4 スペイン語 1 その他 1

#### (6) 高機能消防指令システムを構成する装置

##### ア 指令系装置等

指令台（3台）・指揮台（1台）・自動出動指定装置・地図等検索装置・長時間録音装置・非常用指令設備・指令制御装置・指令情報送信装置・気象情報収集装置・災害状況等自動案内装置・順次指令装置・音声合成装置・出動車両運用管理装置・システム監視装置・指令情報出力装置・署所端末・出動車両運用監視装置（AVM）・電源設備（無停電電源装置）・統合型位置情報通知装置・支援情報端末・消防情報支援システム・メール一斉指令装置・119受信FAX・避雷装置・庁舎監視カメラ装置・消防団幹部等災害連絡用ファクシミリ

##### イ 大型表示盤

車両運用表示盤・多目的情報表示盤・支援情報表示盤（46インチ液晶モニター4面マルチ×3面）

ウ 無線統制台（消防救急デジタル無線（活動波）設備等）

チャンネル構成	活動波 1（消防活動用） 活動波 2（救急活動用） 活動波 3（輻輳事案用） 活動波 4（清川活動用）
基地局	厚木市消防本部庁舎
簡易基地局	清川村宮ヶ瀬地区住民センター（活動波 4）
移動局	70（車両 46・携帯 21・可搬 3）
半固定局	3（消防対策本部・厚木署隊本部・厚木北署隊本部）

(7) その他の関連機器

市防災行政無線台・市地域防災無線装置（防災ラジオ）・県防災行政通信網（ファクシミリ付）・震度情報表示盤・防災テレビ・デジタル無線受令機・Em-NET（緊急情報ネットワークシステム）・J-ALERT（全国瞬時警報システム）・NET119 緊急通報システム

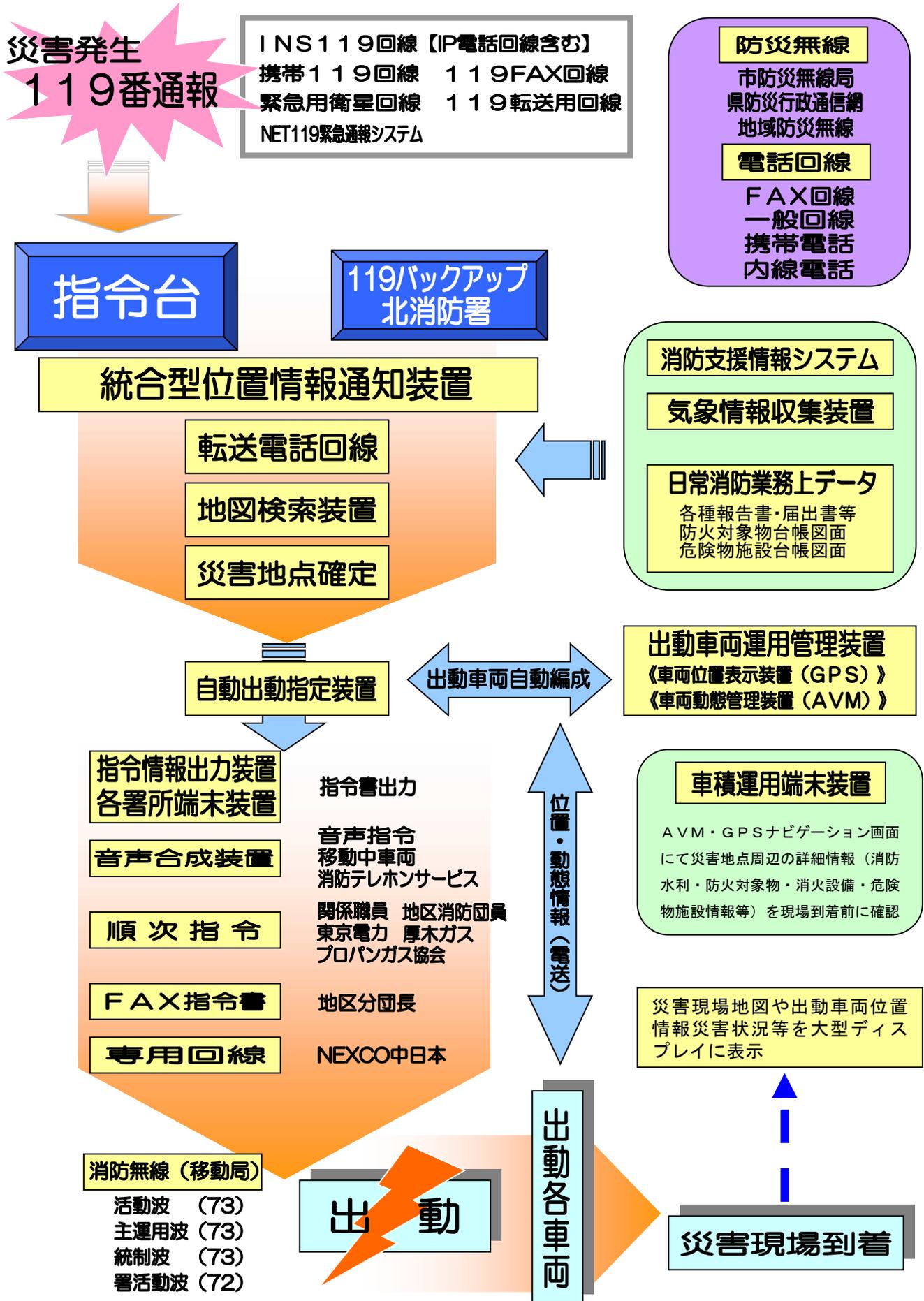
(8) 神奈川県消防救急デジタル無線設備（共通波）

チャンネル構成	統制波 1・統制波 2・統制波 3 主運用波 6（神奈川県割当）
基地局	神奈川県総合防災センター（厚木市下津古久 280 番地）
管理運用	三市共同管理運用 （厚木市消防本部・平塚市消防本部・伊勢原市消防本部）
構成機器	運用管理装置・遠隔制御器・遠隔操作器・遠隔制御装置 無停電電源装置・回線制御器・回線接続装置・その他
回線接続	神奈川県内 21 基地局と県庁及び消防本部 24 箇所ネットワーク

(9) 署活系無線

チャンネル構成	署活動波 1（厚木署管轄） 署活動波 2（北署管轄） 関東共通波 1 防災相互波 1
移動局	72（携帯型無線機）

高機能消防通信指令システムフロー図



### 3 覚知別月別火災発生状況

(令和2年中)

覚知別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災報知専用電話 (NTT加入を除く 固定電話から)	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	5
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話から)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3
火災報知専用電話 (携帯電話から)	2	2	4	4	2	2	1	3	-	3	1	3	27
加入電話 (固定電話から)	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2
加入電話 (携帯電話から)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
警察電話	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
駆け付け通報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事後聞知	2	1	-	1	-	2	-	-	-	1	1	2	10
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	4	4	6	6	2	4	3	3	1	6	2	7	48

# 気 象

## 1 厚木市の気象状況

### (1) 天候 (9時現在調)

(令和2年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
晴 (日数)	17	25	18	23	17	5	2	27	11	12	22	26	205
曇 (日数)	10	1	8	4	10	21	13	4	12	12	6	2	103
雨 (日数)	4	3	4	3	4	4	16	-	7	7	2	3	57
雪 (日数)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

### (2) 気温 (°C)

(令和2年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	記録 (年)
最高気温	18.0	19.9	24.9	23.9	29.8	32.5	34.1	37.6	35.8	27.4	24.4	17.6	37.6
最低気温	0.0	-1.8	0.6	4.5	9.6	16.9	17.8	22.3	15.4	7.0	5.2	-1.8	-1.8
平均気温	7.1	8.2	10.8	13.1	19.7	23.5	24.4	29.2	24.5	17.7	14.1	7.7	16.7

### (3) 相対湿度 (%)

(令和2年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	記録 (年)
最高湿度	98.3	98.3	98.0	98.0	98.3	98.0	98.0	97.7	98.0	97.5	96.3	95.2	98.3
最低湿度	21.6	12.7	12.4	22.4	21.3	38.6	43.8	43.3	34.1	28.0	23.3	13.8	12.4
平均湿度	70.6	59.4	67.7	67.3	73.1	81.5	89.1	76.2	82.3	72.8	65.3	58.8	72.0

### (4) 風向・風速 (m/s)

(令和2年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	記録 (年)
最多風向	北	北	北	北	南	南	南	南	北北西	北	北	北	北
平均風速	1.5	1.7	2.1	2.2	2.3	2.1	1.9	1.9	2.3	1.8	1.4	1.2	1.9
瞬間最大風速 及び 風向	17.2 北北西	16.9 北西	20.3 西北西	21.8 南南東	15.6 北	18.3 北北西	19.6 南	15.5 南西	17.0 南	13.1 北北西	16.1 南	14.8 北	21.8 南南東

## 2 気象通報発表状況調

(令和2年中)

種別	月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	合計		168	12	9	12	21	12	15	23	27	22	6	4
特別 警 報	暴風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	暴風雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
警 報	暴風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大雨	7	-	-	-	1	-	-	2	1	2	1	-	-
	洪水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	7	-	-	-	1	-	-	2	1	2	1	-	-
注 意 報	強風	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	大雨	24	1	-	-	4	1	2	5	4	5	2	-	-
	洪水	7	-	-	-	1	-	-	1	2	3	-	-	-
	大雪	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雷	83	3	3	4	9	6	10	13	19	12	2	1	1
	乾燥	19	2	4	5	2	1	-	-	-	-	1	2	2
	濃霧	17	2	1	1	1	4	3	2	1	-	-	1	1
	霜	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	低温	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	161	12	9	12	20	12	15	21	26	20	5	4	5

### 3 累年降雨量調

年区分		月別												
		合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
H 23 年	降水日数	125	4	12	15	15	12	13	10	6	12	12	8	6
	総雨量	1,876.5	12.0	118.5	196.5	198.0	104.5	146.5	107.0	126.0	386.0	210.0	71.5	200.0
H 24 年	降水日数	117	1	10	8	8	13	12	13	15	13	10	7	7
	総雨量	1,471.5	1.0	111.0	75.5	64.0	223.5	133.0	78.5	245.5	254.5	147.0	86.5	51.5
H 25 年	降水日数	120	7	8	11	12	10	16	10	5	13	11	7	10
	総雨量	1,698.0	45.0	125.0	148.5	151.0	242.0	252.0	158.0	21.5	232.5	98.5	137.0	87.0
H 26 年	降水日数	105	6	8	10	9	8	10	10	8	11	14	4	7
	総雨量	1,513.0	58.0	58.5	49.0	324.5	56.5	155.5	53.5	40.0	352.5	289.0	33.0	43.0
H 27 年	降水日数	114	7	7	11	11	10	12	10	10	10	10	11	5
	総雨量	1,732.5	28.5	75.5	140.5	140.0	106.0	370.5	64.0	80.5	150.0	437.0	70.0	70.0
H 28 年	降水日数	134	10	7	14	11	5	15	16	9	16	8	16	7
	総雨量	1,707.0	102.5	48.0	93.0	94.0	94.0	129.0	341.5	153.5	330.0	62.5	137.5	121.5
H 29 年	降水日数	132	4	6	9	13	8	17	10	13	19	10	15	8
	総雨量	1,628.5	75.0	103.0	116.5	135.5	105.0	162.5	112.0	256.5	272.0	80.0	126.0	84.5
H 30 年	降水日数	101	2	6	8	10	5	8	8	12	15	17	7	3
	総雨量	1,463.5	21.5	14.0	84.5	121.0	71.0	139.5	55.0	195.0	219.5	478.0	47.0	17.5
R 元年	降水日数	113	5	4	13	8	10	13	7	10	20	8	8	7
	総雨量	1,685.5	75.5	17.5	317.5	130.0	167.0	139.0	270.5	100.5	348.0	40.0	22.5	57.5
R 2 年	降水日数	116	9	7	11	10	8	12	22	5	18	8	3	3
	総雨量	1,479.0	84.0	30.5	143.5	232.0	74.5	171.5	373.5	27.5	149.0	175.0	8.5	9.5

※雨量の単位：ミリメートル

#### 4 月別気象別火災発生状況

(令和2年中)

気象別		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
風速別	1 m未満	1	1	3	-	1	1	-	-	-	-	-	2	9
	1 m以上	-	1	1	5	1	-	2	-	-	5	-	2	17
	2 m以上	2	2	-	-	-	1	1	1	-	-	2	2	11
	3 m以上	1	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	1	6
	4 m以上	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4
	5 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	8 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15 m以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		4	4	6	6	2	4	3	3	1	6	2	7	48

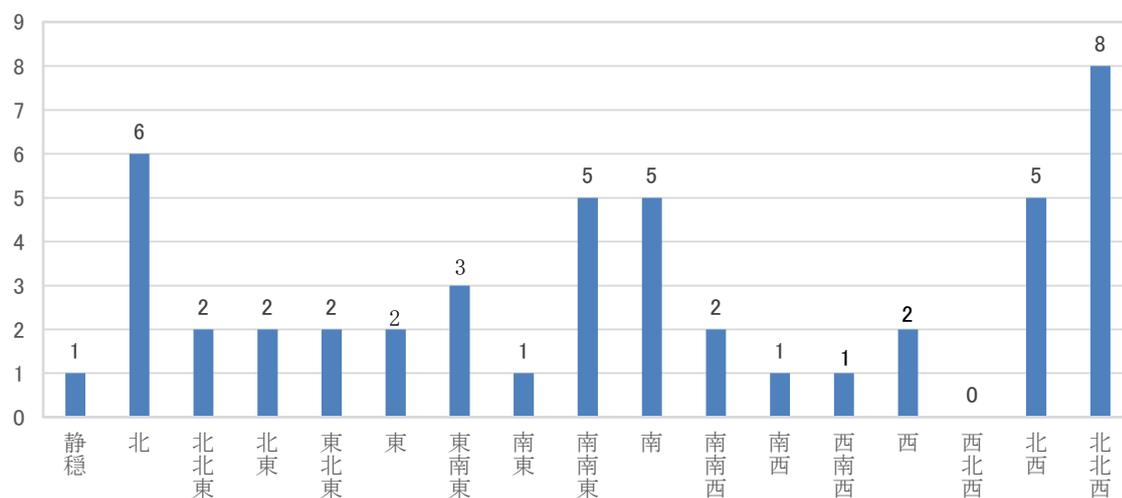
湿度別	30%未満	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	6
	30%以上	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	45%以上	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	2
	55%以上	-	-	1	2	-	-	-	2	-	2	-	-	7
	65%以上	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	1	3	7
	75%以上	1	-	1	-	-	-	1	-	1	1	-	1	6
	85%以上	2	1	2	2	1	4	2	-	-	2	-	-	16
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		4	4	6	6	2	4	3	3	1	6	2	7	48

天気別	晴	2	4	3	3	2	-	-	3	-	2	2	7	28
	曇	-	-	2	3	-	1	1	-	-	3	-	-	10
	雨	2	-	1	-	-	3	2	-	1	1	-	-	10
	雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		4	4	6	6	2	4	3	3	1	6	2	7	48

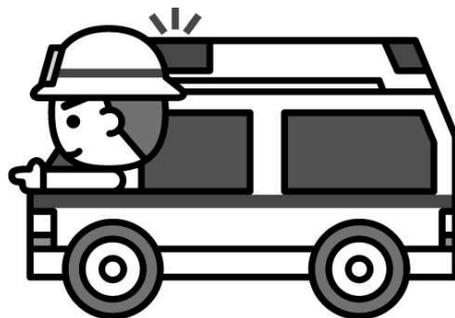
#### 5 風向と火災件数

(令和2年中)

(件)



救 急



# 救急救命

## 1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制

救急現場から医療機関への搬送途上で救急救命士等が行う応急処置の質の向上のため、厚木市消防本部は、湘南・県央の一部・県西地区の14消防本部を統轄する湘南地区メディカルコントロール協議会に加盟し、活動しています。

主な活動内容は、医師による救急救命士への指示及び救急隊員への指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証体制の充実、病院実習等の再教育及び各種研修会の開催となっています。

救急救命士の教育（病院実習）状況 (令和2年度)

区分	人数	区分	人数
救急救命士の再教育実習	43	ビデオ喉頭鏡病院実習	4
気管挿管病院実習	3	気管挿管再教育実習	7
薬剤投与病院実習	0	薬剤投与再教育実習	23

事後検証実施状況

一次検証	件数	二次検証	件数
	9,325		223

指示・指導・助言実施状況

件数
272

※一次検証とは、救急技術指導者（消防職員）が部隊活動、医学的判断、処置について検証を行う。

※二次検証とは、一次検証の中から心肺停止症例、重症外傷症例等について検証医師が検証を行う。

## 2 応急手当普及啓発活動

救急車が到着するまでの間、救急現場に居合わせた人の一刻も早い応急手当が、傷病者救命のために大変重要なこととなるため、住民の方々に心肺蘇生法の実技指導を中心とした各種講習会を実施しています。また、だれでもが自動体外式除細動器（心臓の不整脈等が原因で発生する心肺停止傷病者へ電気ショックを行う医療機器）の使用ができることとなり、応急手当等の技術習得に住民の関心が、年々高まっています。

救命講習会実施状況

	平成6年度～累計		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
普及員	50	991	4	103	5	104	5	91	4	22
上級	41	1,281	2	48	2	49	2	44	0	0
普通	2,322	52,282	125	2,484	123	2,334	110	2,370	49	1,417
一般	1,941	67,691	126	4,899	155	6,068	130	5,472	4	314
合計	4,354	122,245	257	7,534	285	8,555	247	7,977	57	1,753

※応急手当普及員講習の件数及び受講者数については、普及員再講習の件数及び受講者数を含む。

## 救急活動

### 1 救急活動の概要

令和2年中の救急出動件数は10,600件で、前年に比べ1,770件(14.3%)の減、搬送人員は9,389人で、前年に比べ1,738人減となり、1日当りの平均は、出動件数が29.0件、搬送人員は25.7人で、これは約49.7分に1回の割合で救急車が出動したことになります。

事故種別ごとの出動件数は、急病が6,710件で全体の63.3%を占め、次いで一般負傷1,536件で全体の14.5%、交通事故829件で全体の7.8%の順になっております。

派遣型救急ワークステーションによる医師同乗出動件数は113件となり、医師による迅速な医療行為が行われました。

\*表中にある事故種別は、次のように区分しています。

火 災・・・ 火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

自然災害・・・ 暴風、豪雨等の自然現象に起因する災害による事故をいう。

水 難・・・ 水泳中(運動競技によるものを除く)の溺者又は水中転落等の事故をいう。

交通事故・・・ 交通機関相互の衝突等若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

労働災害・・・ 工場等において就業中発生した事故をいう。

運動競技・・・ 運動競技中に発生した事故をいう。

一般負傷・・・ 他に分類されない不慮の事故をいう。

加 害・・・ 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。

自損行為・・・ 故意に自分自身に傷害等加えた事故をいう。

急 病・・・ 疾病によるもので救急業務として取り扱ったものをいう。

そ の 他・・・ 医療機関から医療機関へ搬送されたもの又は災害現場へ医師、看護師等を搬送したものをいう。

不 搬 送・・・ 傷病者搬送拒否、容態回復等をいう。

\*表中にある傷病者程度は、次のように分類しています。

死 亡・・・ 初診時において、死亡が確認されたもの。

重 症・・・ 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中 等 症・・・ 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。

軽 症・・・ 傷病の程度が入院を必要としないもの。

そ の 他・・・ 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものの。

\*派遣型救急ワークステーション医師同乗出動基準

① 心肺蘇生を必要とする傷病者又はこれに準ずる状態の重症傷病者が発生した場合。

② 傷病者の救出に相当の時間を要し、医師の救命処置が必要と判断した場合。

③ 多数傷病者事故が発生し、医師の救命処置及びトリアージが必要と判断した場合。

④ 前号に掲げる場合のほか医師の救命処置が必要と判断した場合。

## 2 救急活動累年比較調

事故種別	年別	H28	H29	H30	R1	R2
	区分					
合計	救急件数	11,293	11,612	12,471	12,370	10,600
	搬送人員	10,176	10,525	11,248	11,127	9,389
火災	救急件数	91	65	83	97	74
	搬送人員	3	3	6	6	14
自然災害	救急件数	-	-	2	-	-
	搬送人員	-	-	2	-	-
水難	救急件数	6	4	11	14	19
	搬送人員	2	-	-	3	1
交通事故	救急件数	1,124	1,098	1,164	1,054	829
	搬送人員	1,106	1,101	1,149	1,038	827
労働災害	救急件数	103	101	129	123	135
	搬送人員	100	99	126	119	135
運動競技	救急件数	76	100	96	80	52
	搬送人員	75	98	96	79	51
一般負傷	救急件数	1,457	1,597	1,666	1,633	1,536
	搬送人員	1,369	1,485	1,543	1,540	1,425
加害	救急件数	84	99	89	78	59
	搬送人員	61	82	63	60	50
自損行為	救急件数	144	158	134	142	147
	搬送人員	94	97	90	99	113
急病	救急件数	7,247	7,435	7,980	7,920	6,710
	搬送人員	6,654	6,813	7,309	7,282	6,046
その他	救急件数	961	955	1,117	1,229	1,039
	搬送人員	712	747	864	901	727
不搬送件数		1,224	1,201	1,321	1,331	1,286

※不搬送件数は内数

### 3 月別救急活動調

(令和2年中)

月別	区分	計	救急事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	救急件数	10,600	74	-	19	829	135	52	1,536	59	147	6,710	1,039
	搬送人員	9,389	14	-	1	827	135	51	1,425	50	113	6,046	727
1	救急件数	997	5	-	-	73	7	4	140	3	12	660	93
	搬送人員	883	-	-	-	76	7	4	128	2	8	594	64
2	救急件数	916	9	-	-	74	11	7	135	5	13	564	98
	搬送人員	823	5	-	-	72	11	7	125	5	11	509	78
3	救急件数	868	10	-	3	71	10	2	124	5	15	544	84
	搬送人員	773	2	-	-	75	10	2	114	4	13	489	64
4	救急件数	719	8	-	-	50	10	1	101	3	4	480	62
	搬送人員	621	2	-	-	47	10	1	89	3	2	419	48
5	救急件数	725	3	-	-	53	9	-	109	4	9	477	61
	搬送人員	649	-	-	-	51	9	-	104	3	6	424	52
6	救急件数	774	4	-	1	62	10	1	120	5	9	479	83
	搬送人員	708	1	-	-	61	9	1	111	4	7	445	69
7	救急件数	911	9	-	7	63	16	5	119	7	10	584	91
	搬送人員	792	-	-	-	64	19	5	110	5	9	522	58
8	救急件数	1,077	4	-	4	83	16	7	130	6	18	712	97
	搬送人員	945	1	-	1	73	16	7	122	4	17	642	62
9	救急件数	886	3	-	2	63	12	4	137	3	17	572	73
	搬送人員	777	-	-	-	63	11	4	128	2	13	514	42
10	救急件数	891	9	-	2	68	12	8	138	3	16	543	92
	搬送人員	803	1	-	-	74	12	7	128	3	12	506	60
11	救急件数	880	3	-	-	75	12	8	124	10	14	543	91
	搬送人員	791	-	-	-	77	12	8	119	9	10	492	64
12	救急件数	956	7	-	-	94	10	5	159	5	10	552	114
	搬送人員	824	2	-	-	94	9	5	147	6	5	490	66

#### 4 署所別救急活動調

(令和2年中)

事故種別	区分 署別	計	厚 木 消 防 署			北 消 防 署			
			本 署	南毛利分署	相川分署	本 署	依知分署	睦合分署	清川分署
合 計	救急件数	<b>10,600</b>	<b>3,747</b>	<b>1,478</b>	<b>1,045</b>	<b>1,399</b>	<b>1,293</b>	<b>1,428</b>	<b>210</b>
	搬送人員	<b>9,389</b>	<b>3,320</b>	<b>1,330</b>	<b>949</b>	<b>1,219</b>	<b>1,105</b>	<b>1,298</b>	<b>168</b>
火 災	救急件数	<b>74</b>	21	10	9	7	12	15	-
	搬送人員	<b>14</b>	6	3	-	2	-	3	-
自然災害	救急件数	-	-	-	-	-	-	-	-
	搬送人員	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	救急件数	<b>19</b>	4	-	2	-	10	2	1
	搬送人員	<b>1</b>	-	-	1	-	-	-	-
交通事故	救急件数	<b>829</b>	280	98	130	98	97	96	30
	搬送人員	<b>827</b>	285	96	132	93	96	95	30
労働災害	救急件数	<b>135</b>	41	19	16	11	27	19	2
	搬送人員	<b>135</b>	41	19	16	10	27	20	2
運動競技	救急件数	<b>52</b>	9	7	6	12	8	9	1
	搬送人員	<b>51</b>	9	7	6	12	7	9	1
一般負傷	救急件数	<b>1,536</b>	555	191	156	209	178	220	27
	搬送人員	<b>1,425</b>	520	179	147	185	163	206	25
加 害	救急件数	<b>59</b>	30	9	3	4	6	6	1
	搬送人員	<b>50</b>	31	8	-	2	6	2	1
自損行為	救急件数	<b>147</b>	63	13	9	11	16	27	8
	搬送人員	<b>113</b>	52	10	7	9	10	21	4
急 病	救急件数	<b>6,710</b>	2,332	971	598	932	869	901	107
	搬送人員	<b>6,046</b>	2,079	866	552	844	775	840	90
その他	救急件数	<b>1,039</b>	412	160	116	115	70	133	33
	搬送人員	<b>727</b>	297	142	88	62	21	102	15
不 搬 送 件 数		<b>1,286</b>	459	153	109	184	195	141	45

※厚木消防署本署は2隊体制

※不搬送件数は内数

5 月別覚知別救急件数調

(令和2年中)

月別 覚知別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
合計	10,600	997	916	868	719	725	774	911	1,077	886	891	880	956
119	10,240	966	884	847	704	703	754	858	1,034	855	856	855	924
加入電話	219	16	21	10	11	14	10	33	27	23	21	15	18
東名 専用電話	4	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
かけつけ 通報	31	-	3	6	1	1	2	4	5	2	4	1	2
消防 専用電話	4	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1
その他	102	12	8	5	3	6	8	16	10	5	10	8	11

6 曜日別救急件数調

(令和2年中)

曜日別	計	救急事故種別										
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	10,600	74	-	19	829	135	52	1,536	59	147	6,710	1,039
日	1,400	9	-	6	98	12	14	214	13	19	931	84
月	1,565	16	-	4	119	19	4	218	6	23	1,002	154
火	1,472	12	-	4	124	27	1	190	8	21	936	149
水	1,510	3	-	2	122	25	5	230	9	16	943	155
木	1,538	13	-	1	119	20	4	231	8	22	951	169
金	1,617	8	-	-	110	17	11	229	6	27	1,008	201
土	1,498	13	-	2	137	15	13	224	9	19	939	127

## 7 年齢別搬送人員調

(令和2年中)

年齢区分	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	9,389	14	-	1	827	135	51	1,425	50	113	6,046	727
新生児 (生後28日以内)	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	46
乳幼児 (29日以上7歳未満)	335	-	-	-	25	-	-	119	1	-	160	30
少年 (7歳以上18歳未満)	337	1	-	-	100	-	32	51	-	8	126	19
成人 (18歳以上65歳未満)	3,494	5	-	-	544	113	15	287	41	91	2,170	228
高齢者 (65歳以上)	5,172	8	-	1	158	22	4	968	8	14	3,585	404

## 8 傷病程度別搬送人員調

(令和2年中)

傷病程度	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	9,389	14	-	1	827	135	51	1,425	50	113	6,046	727
死亡	168	-	-	1	1	-	-	2	-	15	147	2
重症	695	3	-	-	21	6	-	47	-	11	422	185
中等症	4,433	7	-	-	257	58	20	547	17	46	2,990	491
軽症	4,091	4	-	-	548	71	31	829	33	41	2,485	49
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-

## 9 傷病程度別年齢区分別搬送人員調

(令和2年中)

傷病程度	計	新生児 (生後28日以内)	乳幼児 (29日以上7歳未満)	少年 (7歳以上18歳未満)	成人 (18歳以上65歳未満)	高齢者 (65歳以上)
合計	9,389	51	335	337	3,494	5,172
死亡	168	-	-	2	36	130
重症	695	8	10	11	186	480
中等症	4,433	39	66	92	1,562	2,674
軽症	4,091	4	259	232	1,710	1,886
その他	2	-	-	-	-	2

## 10 救急隊員の行った応急処置件数調

(令和2年中)

区分 事故種別	対応 象急 人処 員置	合 計	応急処置											特定行為等					
			小 計	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 マ ッ サ ー ジ	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	血 圧 測 定	血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	心 電 図	そ の 他	小 計	除 細 動	輸 液	気 道 確 保	薬 剤 投 与
合計	9,365	30,608	30,050	224	743	8	-	217	1,562	120	8,943	9,161	5,525	3,547	558	22	189	183	164
急病	6,040	19,798	19,307	33	29	5	-	188	1,150	96	5,768	5,871	4,240	1,927	491	21	166	161	143
交通事故	823	2,785	2,781	26	392	-	-	3	38	3	808	821	190	500	4	-	2	1	1
一般負傷	1,420	4,424	4,403	122	247	1	-	7	65	5	1,356	1,408	478	714	21	-	8	7	6
その他	1,082	3,601	3,559	43	75	2	-	19	309	16	1,011	1,061	617	406	42	1	13	14	14

※ 特定行為中の気道確保は、救急救命士がラリングアルチューブ等を使用して行ったもの。

## 11 一般市民の行った応急手当件数調

(令和2年中)

事故種別	計	止血	気道確保	人工呼吸	心肺蘇生	その他
合計	1,016	233	50	-	149	584
急病	555	21	44	-	129	361
交通事故	64	21	-	-	1	42
一般負傷	272	148	5	-	9	110
その他	125	43	1	-	10	71

## 12 発生地区別救急件数調

(令和2年中)

地区名	計	救 急 事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 搬 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	10,600	74	-	19	829	135	52	1,536	59	147	6,710	1,039
小 計	10,352	72	-	15	767	130	51	1,507	59	140	6,597	1,014
厚 木	2,133	14	-	3	124	18	3	329	24	32	1,260	326
依 知	1,546	17	-	9	129	38	8	217	7	21	1,041	59
睦 合	1,668	5	-	1	130	19	10	240	7	39	1,106	111
荻 野	1,165	10	-	-	69	8	10	168	7	11	770	112
小 鮎	562	4	-	-	34	9	5	85	5	4	380	36
玉 川	251	-	-	-	19	4	1	23	-	2	96	106
南 毛 利	1,899	15	-	-	158	16	7	270	8	19	1,223	183
相 川	658	6	-	2	85	17	5	98	1	7	413	24
緑ヶ丘	181	-	-	-	11	-	-	40	-	2	119	9
宮の里	87	-	-	-	3	-	-	20	-	1	61	2
森の里	202	1	-	-	5	1	2	17	-	2	128	46
小 計	248	2	-	4	62	5	1	29	-	7	113	25
清 川	183	1	-	-	31	4	1	29	-	4	91	22
他 都 市	11	1	-	4	2	-	-	-	-	3	-	1
東名・新東名 高 速	28	-	-	-	17	-	-	-	-	-	10	1
小田原厚木 道 路	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
圏 央 道	25	-	-	-	11	1	-	-	-	-	12	1

13 時間別救急件数調

(令和2年中)

時間別	計	救 急 事 故 種 別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	10,600	74	-	19	829	135	52	1,536	59	147	6,710	1,039
0~2	491	1	-	-	26	2	-	44	13	11	366	28
2~4	408	7	-	-	15	1	-	51	5	6	304	19
4~6	435	5	-	3	16	-	-	60	2	7	323	19
6~8	733	4	-	1	69	4	-	89	3	10	524	29
8~10	1,161	3	-	3	120	28	7	164	5	6	732	93
10~12	1,260	9	-	2	81	30	16	203	2	23	697	197
12~14	1,183	4	-	2	87	22	11	186	3	12	679	177
14~16	1,149	9	-	6	94	21	6	188	2	11	657	155
16~18	1,146	8	-	2	108	12	7	203	3	14	661	128
18~20	1,027	11	-	-	103	5	3	131	8	17	662	87
20~22	921	11	-	-	69	7	2	127	8	21	607	69
22~24	686	2	-	-	41	3	-	90	5	9	498	38

14 消防相互応援件数 (救急)

(令和2年中)

区分	計	横 濱 市	相 模 原 市	平 塚 市	綾 瀬 市	海 老 名 市	伊 勢 原 市	大 和 市	秦 野 市	座 間 市	愛 川 町	小 田 原 市
		応援	38	-	5	-	-	17	8	-	4	1
東名高速	18	-	-	-	-	7	7	-	4	-	-	-
受援	6	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
東名高速	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※東名高速応援の件数については、東名高速道路上に出動した厚木市地内の件数(10件)は含めてない。

※新東名高速道路上の出動件数については、東名高速に含む。

15 救急支援出動件数

(令和2年中)

出動基準	圏小東 田・原 央厚木 道道路	線国道 上129 の交号 通事24 事故6号	全 (C 疑い P 含A む。症 例)	救急隊 到着 遅延	集 団 救 急 事 故	そ の 他			合 計
						救急 隊長 の要 請	指 令 係 長 の判 断	支 へ り 援 要 請 出 に 伴 う	
件数	43	35	832	28	1	137	13	3	<b>1,092</b>

16 派遣型救急ワークステーション医師同乗出動件数

(令和2年中)

月 別	計	救 急 事 故 種 別										
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 災 事 故	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	<b>113</b>	-	-	-	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	-	<b>3</b>	<b>96</b>	<b>1</b>
1 月	<b>15</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-
2 月	<b>11</b>	-	-	-	-	-	-	1	-	-	10	-
3 月	<b>8</b>	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	-
4 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 月	<b>18</b>	-	-	-	-	2	-	-	-	-	16	-
8 月	<b>10</b>	-	-	-	1	-	-	-	-	1	7	1
9 月	<b>10</b>	-	-	-	-	1	-	2	-	-	7	-
10 月	<b>11</b>	-	-	-	2	-	1	-	-	1	7	-
11 月	<b>10</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-
12 月	<b>20</b>	-	-	-	-	1	-	1	-	1	17	-

17 熱中症年齢別程度別搬送人員調

年別	程度別		合計	小計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
	年齢別								
令和2年	新生児		120	-	-	-	-	-	-
	乳幼児			1	-	-	-	1	-
	少年			10	-	-	4	6	-
	成人			52	-	-	19	33	-
	高齢者			57	-	1	29	27	-
令和元年	新生児		105	-	-	-	-	-	-
	乳幼児			-	-	-	-	-	-
	少年			11	-	-	5	6	-
	成人			54	-	2	19	33	-
	高齢者			40	-	3	22	15	-
平成30年	新生児		159	-	-	-	-	-	-
	乳幼児			1	-	-	1	-	-
	少年			27	-	-	12	15	-
	成人			82	-	-	35	47	-
	高齢者			49	-	2	25	22	-

18 熱中症年齢別発生場所別搬送人員調

年別	発生場所		合計	小計	住居	仕事場 ① (工場等)	仕事場 ② (農作業等)	教育 機関	公衆出入り 場所		道路	その他
	年齢								屋内	屋外		
令和2年	新生児		120	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児			1	-	-	-	1	-	-	-	-
	少年			10	-	-	-	2	-	6	2	-
	成人			52	8	22	1	1	1	6	9	4
	高齢者			57	19	6	3	-	1	6	15	7
令和元年	新生児		105	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児			-	-	-	-	-	-	-	-	-
	少年			11	-	-	-	7	1	3	-	-
	成人			54	9	23	2	1	-	5	8	6
	高齢者			40	24	2	2	-	1	3	7	1
平成30年	新生児		159	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児			1	-	-	-	-	-	1	-	-
	少年			27	1	-	-	6	6	13	-	1
	成人			82	8	40	1	-	1	14	13	5
	高齢者			49	21	3	4	1	3	2	14	1

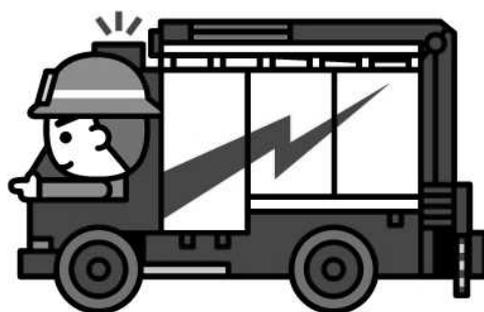
19 家庭内や身近な生活で発生したケガ等の年齢別原因別搬送人員調

(令和2年中)

年齢区分	計	発生原因別搬送人員									
		転倒	転落	ぶつかる	切る・刺さる	誤って飲み込む物がつまる	やけど	はさまれる	刺さる かまれる	溺れる	その他
合計	1,452	950	194	67	34	58	11	15	14	27	82
新生児 (生後28日以内)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳幼児 (29日以上7歳未満)	120	40	37	13	4	13	4	3	-	1	5
少年 (7歳以上18歳未満)	51	13	18	7	4	-	1	1	1	-	6
成人 (18歳以上65歳未満)	288	158	41	25	14	5	3	8	8	1	25
高齢者 (65歳以上)	993	739	98	22	12	40	3	3	5	25	46

救

助



## 救助活動の概要

令和2年中の救助出動件数は、192件で1件の減少となっています。

事故種別による出動件数は、建物等による事故が101件、その他の事故が34件、火災が26件、水難事故が18件、交通事故が13件となっています。

活動件数は、160件で前年に比べ12件の増加(救助出動件数に対する活動件数の率は、83.3%)となっています。

また、被救助人員は、144人で前年に比べ36人の増加となっています。建物等による被救助人員が86人で全体の59.7%を占め、その他の事故による被救助人員が27人で全体の18.7%となっています。

地区別救助出動件数では、厚木地区が34件で最も多く、全体の17.7%を占め、続いて睦合地区が30件で続いています。

### 1 救助出動状況調

#### (1) 救助出動件数

(令和2年中)

区分 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害等 自然災害	建物等	ガス及 び酸欠	その他	計
出動件数	26	13	18	-	101	-	34	192
延べ出動隊員数	945	214	612	-	1,631	-	563	3,965
活動件数	26	5	14	-	91	-	24	160
延べ活動隊員数	198	44	348	-	643	-	230	1,463
被救助人員	14	7	10	-	86	-	27	144

#### (2) 地区別救助出動件数

(令和2年中)

区分 \ 地区別	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	清川	東名高速	応援等	計
火災	5	6	1	3	2	1	4	3	1	-	-	26
交通事故	2	1	3	-	2	-	1	1	-	3	-	13
水難事故	2	2	1	-	-	-	-	1	1	-	11	18
風水害等自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建物等による事故	23	11	23	14	4	3	19	3	1	-	-	101
ガス及び酸欠事故	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	2	2	7	2	5	5	4	5	-	-	34
計	34	22	30	24	10	9	29	12	8	3	11	192

※ 東名高速の件数については、市内件数を含める。

※ 新東名高速道路上の出動件数については、東名高速に含む。

### (3) 消防相互応援件数 (救助)

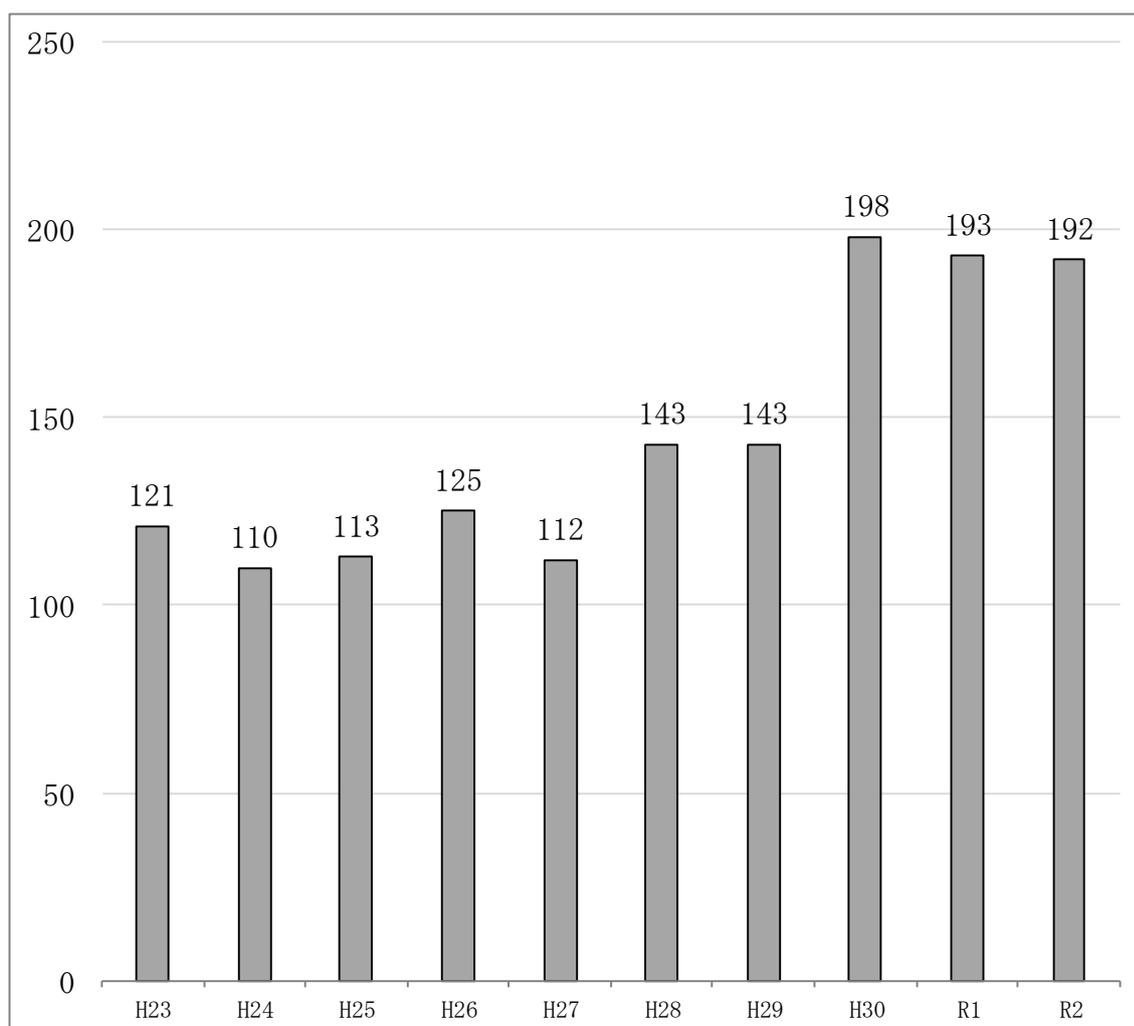
(令和2年中)

応援市町村 区分	横浜市	相模原市	海老名市	伊勢原市	座間市	秦野市	愛川町	寒川町	計
応 援	-	5	4	-	2	2	-	-	13
東名高速	-	-	-	-	-	2	-	-	2
受 援	1	2	4	-	-	-	-	-	7
東名高速	1	-	-	-	-	-	-	-	1

※ 新東名高速道路上の出動件数については、東名高速に含む。

### (4) 救助出動の推移

(件)



(5) 主な人命救助活動

(令和2年中)

発生日	時 分	種 別	事故概要及び活動状況	使用資機材
6月2日	(覚 知) 14時44分 (救 出) 16時02分	交通事故	高速道路上に停車していた大型トレーラーに普通トラックが衝突し、普通トラックの運転手が座席とダッシュボードの間に挟まれ閉じ込められた事故。事故車両を車載ウインチで引き離し、可搬式ウインチ及び油圧救助器具を使用し救出する。	1 可搬式ウインチ 2 油圧スプレッダー 3 油圧切断機 4 ペダルカッター 5 電動カッター
9月29日	(覚 知) 14時38分 (救 出) 15時14分	その他の事故	一般住宅の2階屋根を修理していた男性が、腰を痛め屋根上から動けなくなったもの。救助工作車のクレーンを上部支点とし、メッシュ担架に収容後、一箇所吊りで地上まで救出する。	1 かぎ付はしご 2 三連はしご 3 メッシュ担架
11月1日	(覚 知) 16時27分 (救 出) 17時07分	機械による事故	農作業中の男性が、耕運機の回転爪に左下肢を巻き込まれた事故。爪が取り付けられている回転軸のボルトを取り外した後、耕運機本体を持ち上げ救出する。	1 工具 2 照明器具

2 救助技術の強化

多種多様化する人命救助事案に対して身体の鍛錬と救助技術を習得するとともに、他都市との合同訓練を通じ、大規模災害への広域的な連携強化を図ることを目的としています。

(令和2年中)

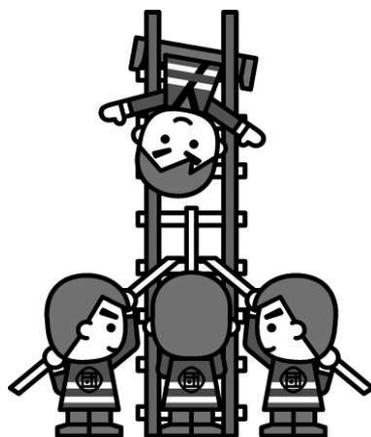
訓練等区分	月 日	場 所	参加人員	内 容
軌道事故対応訓練	2月4日	小田急電鉄株式会社 海老名電車基地	46人	小田急電鉄株式会社及び3市(厚木市・秦野市・伊勢原市)による軌道事故を想定した合同訓練
神奈川県内消防広域応援・緊急消防援助隊 県内合同訓練	2月6日	神奈川県庁 神奈川県消防学校 各消防本部	200人	県内全ての消防本部が参加し、「かながわ消防」の実効性の向上を図る受伝達訓練及び実動訓練
山岳救助連携訓練	9月28日 12月9日 12月10日	七沢弁天の森 キャンプ場東側 南沢林道 ぼうさいの丘公園	182人	山岳救助事案に対し、航空隊と地上部隊の連携を図り、迅速的確な救助活動を行うため、横浜市消防局航空隊及び川崎市消防局航空隊と実施した合同訓練
架空送電設備における高所救助訓練	11月18日	東京電力パワーグリッド株式会社 相模原研修センター	150人	県内消防(局)本部と合同で実施。架空送電設備の高所で発生した救助事案及び洞道における火災現場を想定した実践的な救出訓練

### 3 救助関係主要機械器具等一覧表

(令和3年4月1日現在)

用途	一般救助用器具								重量物排除用器具				
名称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サーバイバースリング	救助用平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧スプレッダー	油圧ジャッキ	
数量	10	16	2	1	2	20	7	3	2	1	5	2	
用途	重量物排除用器具				切断用器具								
名称	救助用支柱器具	可搬式ウインチ	空気ジャッキ式 マット型	チェーンブロック	油圧切断機 (カッター)	(エアソー) 空気鋸	エンジンカッター	電動カッター	(酸素溶断器) ガス溶断器	チェンソー	鉄線カッター		
数量	1	6	2	1	6	3	23	1	1	30	28		
用途	検知・測定用器具				破壊用器具				呼吸保護用器具				
名称	複合ガス検知器 (可燃性ガス警報器含む) (酸素濃度測定器及び)	(ポケット型含む) 放射線測定器	有毒ガス検知器	化学剤検知器	生物剤検知器	削岩機	ハンマードリル	携帯用コンリット 破壊器具	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	送排風機	
数量	27	50	3	1	1	3	3	2	66	5	2	9	
用途	隊員保護用器具								水難救助用器具				
名称	防毒マスク	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	放射線保護服	陽圧式化学防護服	化学防護服	水中スピーカー	水中時計 (ダイブコンピュータ)	水中カメラ	潜水器具一式
数量	60	22	9	9	15	6	5	20	148	2	2	1	12
用途	水難救助用器具				高度救助用器具					その他の救助用器具			
名称	救命胴衣	救命ボート	船外機	流水救助器具	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	画像探索機	地震警報器	地中音響探知機	除染設備一式	エアータント	ドローン	プレスキューム プラットフォーム
数量	167	10	10	59	7	1	4	1	1	2	3	3	1

# 消防団と古式消防保存会



# 消防団

## 1 厚木市消防団のあゆみ

江戸時代中期から末期にかけての消防は、火災現場付近の人々が駆けつけて消火にあたる「駄付火消」であった。しかし、組織化されていないため火事が発生する度に、いざこざが絶えなかった。

明治初期、厚木町において、住民が中心となり、一定の人員と火消道具を備え消火技術をもった「町火消」が誕生し、各町内ごとに一組の「消防組」が設けられ、現在の消防団へと発展した。

明治初期	厚木町に「町火消」が誕生し、各町内ごとに一組の「消防組」が設けられた周囲の村々は「駄付火消」であったが徐々に「消防組」となる																												
明治27. 2. 9	勅令（第15号）により消防組規則設定																												
	各町村の公設消防組設置年月日																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>町 村 名</th> <th>設 置 年 月 日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>厚 木 町 消 防 組</td> <td>明治28年1月</td> </tr> <tr> <td>荻 野 村 消 防 組</td> <td>明治28年1月</td> </tr> <tr> <td>妻 田 村 消 防 組</td> <td>明治37年</td> </tr> <tr> <td>小 鮎 村 消 防 組</td> <td>大正3年</td> </tr> <tr> <td>南 毛 利 村 消 防 組</td> <td>大正3年</td> </tr> <tr> <td>及 川 村 消 防 組</td> <td>大正10年</td> </tr> <tr> <td>相 川 村 消 防 組</td> <td>大正11年</td> </tr> <tr> <td>三 田 村 消 防 組</td> <td>大正14年</td> </tr> <tr> <td>棚 沢 村 消 防 組</td> <td>大正14年</td> </tr> <tr> <td>下 川 入 村 消 防 組</td> <td>大正14年</td> </tr> <tr> <td>林 村 消 防 組</td> <td>大正14年</td> </tr> <tr> <td>依 知 村 消 防 組</td> <td>大正2年</td> </tr> <tr> <td>玉 川 村 消 防 組</td> <td>大正3年</td> </tr> </tbody> </table>	町 村 名	設 置 年 月 日	厚 木 町 消 防 組	明治28年1月	荻 野 村 消 防 組	明治28年1月	妻 田 村 消 防 組	明治37年	小 鮎 村 消 防 組	大正3年	南 毛 利 村 消 防 組	大正3年	及 川 村 消 防 組	大正10年	相 川 村 消 防 組	大正11年	三 田 村 消 防 組	大正14年	棚 沢 村 消 防 組	大正14年	下 川 入 村 消 防 組	大正14年	林 村 消 防 組	大正14年	依 知 村 消 防 組	大正2年	玉 川 村 消 防 組	大正3年
町 村 名	設 置 年 月 日																												
厚 木 町 消 防 組	明治28年1月																												
荻 野 村 消 防 組	明治28年1月																												
妻 田 村 消 防 組	明治37年																												
小 鮎 村 消 防 組	大正3年																												
南 毛 利 村 消 防 組	大正3年																												
及 川 村 消 防 組	大正10年																												
相 川 村 消 防 組	大正11年																												
三 田 村 消 防 組	大正14年																												
棚 沢 村 消 防 組	大正14年																												
下 川 入 村 消 防 組	大正14年																												
林 村 消 防 組	大正14年																												
依 知 村 消 防 組	大正2年																												
玉 川 村 消 防 組	大正3年																												
明治28. 1	厚木町消防組で、米国製の吸管付手押ポンプ購入																												
大正11.	厚木町消防組第4部（天王町）で、横浜市から中古の蒸気ポンプを購入																												
大正12. 4	厚木町消防組第2部（本町）で、手引ガソリンポンプ（30馬力）購入																												
昭和3.	昭和3年11月、昭和天皇即位の御大典の挙行に当たり、御大典記念事業として、消防施設の整備が行われた																												
	厚木町消防組第4部（天王町）消防ポンプ自動車（30馬力）1台購入																												
	第7部（旭町）手引ガソリンポンプ（40馬力）1台購入																												
	第2部（本町）手引ガソリンポンプ（40馬力）1台購入																												
	厚木神社前に防火井戸を設置																												
	荻野村消防組で村内主要箇所貯水池12基設置																												
	玉川村消防組で火の見櫓を3基設置																												
昭和8. 12	厚木町消防組では、消防ホースの接手をねじ式から町野式にした																												

昭和14.	1 . 24	勅令（第20号）により「警防団令」が発令された。この令により各町村の警防団は4月1日から発足することになり、明治27年勅令に基づく「消防組規制」によって誕生し、さらに発展してきた各町村の消防組も「消防組規制」の廃止とともに「防空、水火災消防その他の警防に従事」する警防団に改組され、戦時体制に協力することになる
昭和22.	4 . 30	勅令（第185号）「消防団令」が制定公布され、従来の警防団は廃止 法律（第226号）「消防組織法」が施行され、従来、警察に属していた消防は完全に分離独立し、消防は市町村の責任に移り、市町村長がこれを管理することになる
昭和22.	12 . 23	
昭和30.	2 . 1	町村合併促進法に基づき、厚木町、睦合村、小鮎村、玉川村、南毛利村を合併して厚木市が発足、同時に厚木市消防団を設置 初代消防団長 木下信勝 氏就任 (1) 組織 団長以下613名（12個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 21台 手引動力ポンプ 6台
昭和30.	7 . 8	依知村、相川村を合併、これらの消防団を厚木市消防団に統合 (1) 組織 団長以下865名（16個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 34台 手引動力ポンプ 8台
昭和31.	8 . 15	2代目消防団長 新戸裕治 氏就任
昭和31.	9 . 30	荻野村を合併、荻野村消防団を厚木市消防団に統合 (1) 組織 団長以下975名（18個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 39台 手引動力ポンプ 8台
昭和32.	6 . 11	消防団員等公務災害補償責任共済に加入
昭和33.	2 . 1	3代目消防団長 山本総三郎 氏就任
昭和33.	4 . 1	4代目消防団長 向島孝秋 氏就任 組織改革により団長以下1,010名とする
昭和35.	4 . 1	常備隊発足計画により消防団の縮小を実施 (1) 組織 団長以下618名（18個分団）
昭和37.	1 . 7	消防団と消防常備隊の出初め式を厚木市総合グラウンドで挙
昭和39.	4 . 1	消防団組織改革により団長以下555名（8個分団） 中型消防自動車2台、オート三輪車搭載可搬ポンプ3台を新たに配置し、少数精鋭とした
昭和39.	6 . 30	消防団員退職報償金支給責任共済に加入
昭和40.	10 . 17	第1回消防団員家族慰安会を実施
昭和46.	6 . 1	消防団の組織改革を実施 (1) 組織 8個分団 52個部 団長以下564名
昭和49.	10 . 12	第1回消防団分団別対抗ソフトボール大会を実施

昭和51. 4. 1	5代目消防団長 吉村博 氏就任
昭和53. 4. 29	元副団長 平井實 氏 昭和53年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和55. 4. 29	元分団長 片倉三衛 氏 昭和55年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和55. 7. 30	第1回消防団員健康診断を実施
昭和55. 8. 1	消防団出動区分の見直しを実施
昭和56. 4. 1	消防団員福祉共済に加入
昭和56. 4. 29	元分団長 井上泰一 氏 昭和56年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和57. 4. 1	6代目消防団長 小泉阿栗 氏就任
昭和57. 11. 3	元団長 吉村博 氏 昭和57年秋の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
昭和59. 4. 1	7代目消防団長 小瀬村初男 氏就任
昭和59. 10. 24	消防団再編成小委員会を設置し、今後の消防団組織を検討
昭和60. 8. 11	第1回厚木市消防団消防操法大会を実施
昭和61. 9. 1	第7回6都県市合同防災訓練開催
昭和62. 4. 29	元副団長 飛川正春 氏 昭和62年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
昭和63. 4. 1	消防団再編成小委員会の答申に基づき消防団組織を改正し、本部付団員を解消し各分団へ再配置した
	8代目消防団長 和田美正 氏就任
昭和63. 11. 3	元分団長 大塚喜代忠 氏 昭和63年秋の消防関係生存者叙勲 勲七等青色桐葉章を賜る
平成元. 11. 3	元分団長 浅岡昭二 氏 平成元年秋の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成2. 10. 14	第1回厚木市消防団員家族運動会を実施
平成3. 4. 29	元分団長 堀池勲 氏 平成3年春の消防関係生存者叙勲 勲七等青色桐葉章を賜る
平成3. 8. 13	9代目消防団長 関野靖穂 氏就任
平成3. 8. 26	厚木市消防団訪中（揚州市）
平成4. 9. 27	厚木市消防団訪中（揚州市）
平成5. 4. 29	元団長 小泉阿栗 氏 平成5年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
平成6. 4. 1	10代目消防団長 萩原隆行 氏就任
平成6. 4. 29	元分団長 成瀬佳三 氏 平成6年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成7. 4. 29	元分団長 坂本榮一 氏 平成7年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成9. 4. 29	元団長 関野靖穂 氏 平成9年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
平成11. 4. 29	元分団長 青木鐵雄 氏 平成11年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る

平成14.	4.	1	11代目消防団長 森久保純生 氏就任
平成15.	1.	22	携帯電話の電子メール活用による災害情報配信運用開始
平成15.	3		服制準則に準拠した冬作業服の更新
平成15.	2.	7	日本消防協会特別表彰「まとい」受章
平成15.	12		団活動環境の改善として防寒衣を新規導入
平成16.	12.	16	団活動環境の改善として防火帽を更新
平成17.	4.	1	女性消防団員任用のため厚木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例を施行し、定員を579人に改定する
平成17.	7.	1	本市初の女性消防団員任用（20名）
平成17.	11.	20	市制50周年記念 第1回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成18.	2.	24	消防団地域活動表彰受賞
平成18.	4.	1	12代目消防団長 森屋昭一 氏就任
平成18.	4.	29	元副分団長 北條正博 氏 平成18年春の消防関係生存者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成18.	11.	19	第2回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成19.	11.	18	第3回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成20.	4.	1	下川入第1・2・3自治会が睦合北地区自治会連絡協議会から依知北地区自治会連絡協議会へ所属が変更となったことに合わせて、厚木市消防団第3分団第6部を第2分団第10部に変更
平成20.	11.	16	第4回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成21.	11.	15	第5回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成22.	1.	18	元副分団長 井上一男 氏 死亡叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成22.	3.	1	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両1台を無償で借り受ける
平成22.	4.	1	13代目消防団長 堀池春夫 氏就任
平成22.	11.	3	元団長 萩原隆行 氏 秋の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成22.	11.	7	あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成23.	4.	1	厚木市消防団協力事業所表示制度を制定
平成23.	11.	6	第2回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成24.	11.	9	厚木市消防団協力事業所表示証交付式を挙行
平成24.	11.	11	第3回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成25.	4.	29	元副分団長 小泉勝敏 氏 春の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成25.	11.	10	第4回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成26.	2.	28	公益財団法人日本消防協会から表彰旗を受章
平成26.	4.	1	14代目消防団長 井上衛 氏就任
平成26.	11.	9	第5回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成27.	3.	15	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両1台を無償で借り受ける
平成27.	3.	30	団活動環境の改善として防火衣一式を更新
平成27.	11.	8	第6回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成28.	4.	29	元団長 森久保純生 氏 春の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成28.	10.	28	元副団長 藤井道宏 氏 死亡叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成28.	11.	13	第7回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成29.	4.	1	厚木市学生消防団活動認証制度を制定
平成29.	9.	30	女性消防団が第23回全国女性消防操法大会に出場

平成29. 11. 3	元分団長 尾島敏晴 氏 秋の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成29. 11. 12	第8回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成29. 12. 21	公益財団法人日本消防協会から消防防災活動車 1 台交付される
平成30. 4. 1	15代目消防団長 望月玉三朗 氏就任
平成30. 4. 19	厚木市学生消防団活動認証制度による本市学生消防団員初認証
平成30. 11. 11	第9回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成30. 12	団活動環境の改善として防寒着を更新
令和元. 5. 21	元団長 森屋昭一 氏 春の叙勲 瑞宝単光章を賜る
令和元. 11. 3	元団長 堀池春夫 氏 秋の叙勲 瑞宝単光章を賜る
令和元. 11. 10	第10回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
令和2. 11. 3	元団長 井上衛 氏 秋の叙勲 瑞宝単光章を賜る
令和2. 12	団活動環境の改善として保安帽を更新
令和3. 3. 30	公益財団法人神奈川県消防協会から表彰旗を受章



## 2 消防団事務

### (1) 公務災害補償

令和2年度中の補償状況 消防団員 0人

### (2) 退職消防団員に対する報償

令和2年度中の退職消防団員は13人であり、5年未満勤務の退団者9人には、礼状と記念品をそれぞれ贈り、その労をねぎらいました。

### (3) 表彰

ア	消防庁長官表彰 消防庁長官表彰（永年勤続功労章）	1 人
イ	神奈川県知事 神奈川県知事表彰（永年勤続優良消防団員20年）	18 人
ウ	厚木市消防団長 功績表彰 功労表彰 部表彰	44 人 10 人 8 個部
エ	日本消防協会会長 精績章	2 人
オ	神奈川県消防協会会長 表彰旗 功績章 勤続章（20年） 精勤章（20年）	厚木市消防団 6 人 15 人 15 人
カ	厚木市表彰条例に基づく表彰 一般表彰	56 人

### (4) 消防団員教養訓練等

消防団幹部研修	(6月)
消防団副団長研修	(7月)
消防団員指導員研修（現場指揮課程）	(10月)
消防団長・副団長研修	(10月)
消防団員指導者講習	(11月)
消防団員幹部候補研修	(11月)
消防団幹部地震対策特別講習	(12月)
団員専科教育「機関科」	(1月)
消防団分団長研修	(2月)
女性消防団員及び婦人消防隊員等合同研修	(2月)

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催中止

### 3 福利厚生

#### 消防団員健康診断

過酷な消防業務に携わる団員の日常における健康状態を把握するため、自営業者、健康診断を実施していない事業所等に勤務されている団員を対象とした健康診断（診察、身体計測、尿検査、血液検査、心電図、胸部レントゲン）を令和2年8月に実施した。

受診者 50人

### 4 消防操法

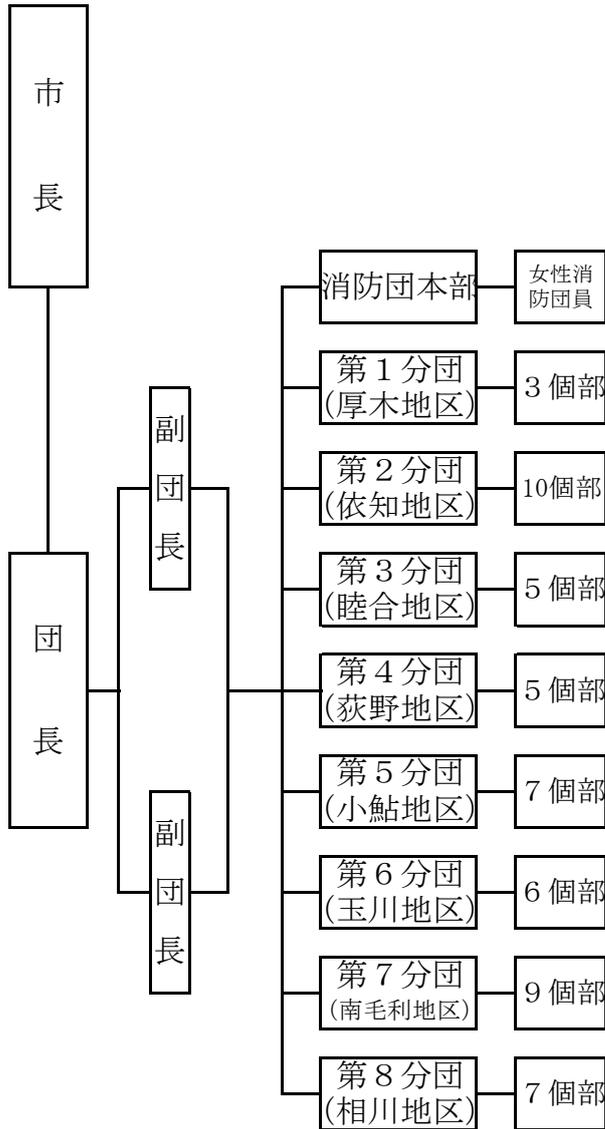
	第52回神奈川県消防団消防操法大会
実施日	令和2年7月15日（水）
実施場所	神奈川県総合防災センター

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催中止

## 5 消防団組織と現勢

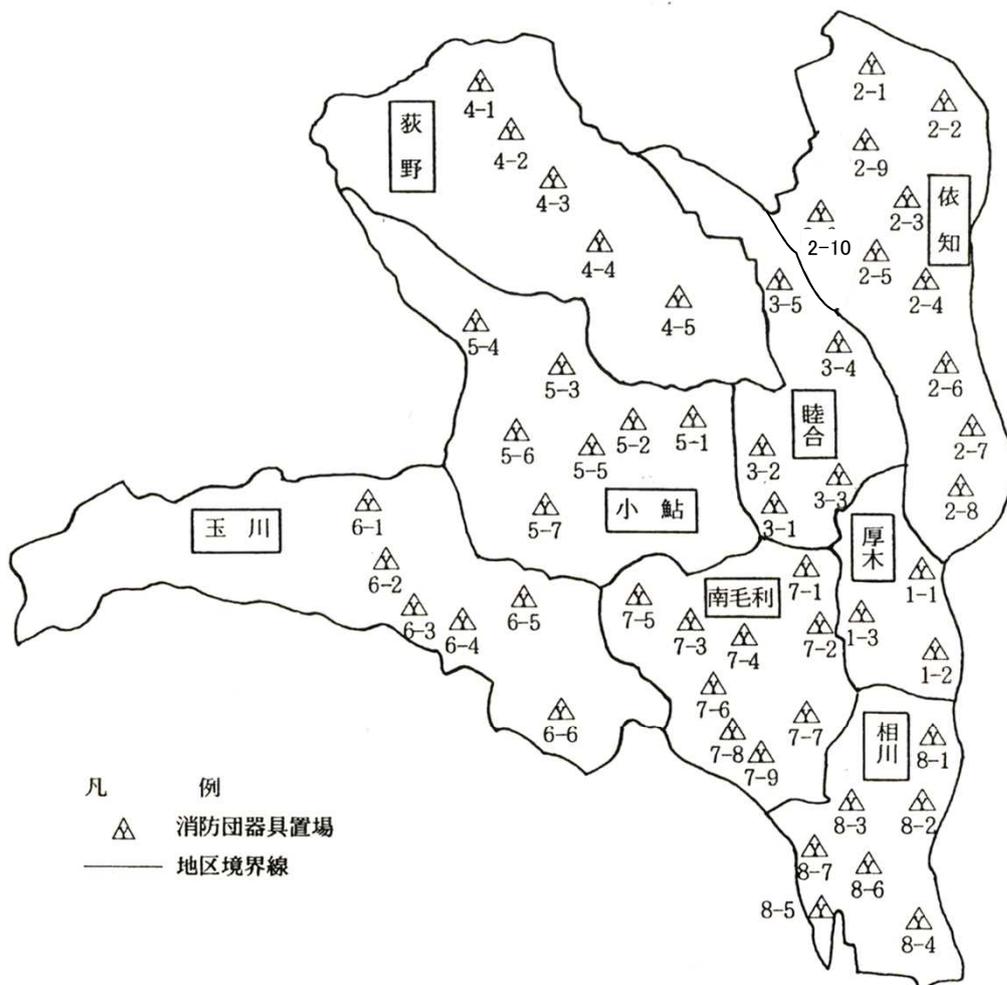
消 防 団 員 …………… 定員579名、実員523名  
 団 ・ 分 団 ・ 部 数 …………… 1 団、8 個分団、52 個部  
 小型動力ポンプ付積載車 …………… 52 台  
 そ の 他 の 車 両 …………… 1 台

(令和3年4月1日現在)



階 級 と 実 員							車 両 台 数			
団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	副 部 長	団 員	計	積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付	そ の 他 の 車 両
1	2	8	8	52	52	400	523	52		1
1	2	-	-	-	-	8	11	-		1
-	-	1	1	3	3	31	39	3		-
-	-	1	1	10	10	68	90	10		-
-	-	1	1	5	5	36	48	5		-
-	-	1	1	5	5	41	53	5		-
-	-	1	1	7	7	55	71	7		-
-	-	1	1	6	6	47	61	6		-
-	-	1	1	9	9	69	89	9		-
-	-	1	1	7	7	45	61	7		-

## 6 消防団施設配置図



## 7 産業別消防団員調

(令和3年4月1日現在)

区分 総数等	農	林業・狩猟業	水産養殖業	鉱業	建設業	製造業	飲食店・小売業・卸売業	金融・保険業	不動産業	運輸・通信業	電気・ガス・水道業	サービス業	公務	その他
	523	19	-	-	-	66	104	43	55	8	37	12	82	60
比率(%)	3.6	-	-	-	12.6	19.9	8.2	10.5	1.5	7.1	2.3	15.7	11.5	7.1

## 8 消防団員退職状況

区分 年度別	計	在職年数						
		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
H25	81	10	12	25	14	15	-	5
H26	6	6	-	-	-	-	-	-
H27	83	17	13	34	10	7	2	-
H28	7	5	1	-	-	-	-	1
H29	71	7	10	34	6	8	3	3
H30	18	9	5	2	2	-	-	-
R1	91	17	15	36	10	9	1	3
R2	13	9	-	2	2	-	-	-

9 退職報償金年度別及び階級別支払状況

(単位：円)

区分		年度別					
		H27	H28	H29	H30	R1	R2
団 長	人員	-	-	1	-	-	-
	金額	-	-	979,000	-	-	-
副 団 長	人員	1	-	1	-	1	-
	金額	534,000	-	709,000	-	909,000	-
分 団 長	人員	1	-	-	-	3	-
	金額	413,000	-	-	-	1,875,000	-
副分団長	人員	-	-	3	-	-	-
	金額	-	-	1,675,000	-	-	-
部 長	人員	21	-	28	-	12	-
	金額	7,416,000	-	9,328,000	-	3,824,000	-
副 部 長	人員	14	1	10	-	4	-
	金額	4,264,000	283,000	2,981,000	-	1,053,000	-
団 員	人員	28	2	21	9	55	4
	金額	6,897,000	934,000	5,736,000	1,780,000	16,062,000	1,239,000
合 計	人員	65	3	64	9	75	4
	金額	19,524,000	1,217,000	21,408,000	1,780,000	23,723,000	1,239,000

※退職報償金は、5年以上在職し、消防団活動を続けて退職した場合に、その労苦に報いるため、支給することになっています。

10 階級別年齢調

(令和3年4月1日現在)

階 級 年 齢	合 計	比 率 (%)	団	副	分	副	部	副	団
			長	長	団	分	長	部	部
合 計	523	100.0	1	2	8	8	52	52	400
20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳以上25歳未満	8	1.5	-	-	-	-	-	-	8
25歳以上30歳未満	32	6.1	-	-	-	-	-	1	31
30歳以上35歳未満	52	10.0	-	-	-	-	-	2	50
35歳以上40歳未満	86	16.4	-	-	1	-	9	8	68
40歳以上45歳未満	108	20.7	-	-	-	-	11	16	81
45歳以上50歳未満	113	21.6	-	-	1	4	15	14	79
50歳以上55歳未満	92	17.6	-	-	5	4	14	7	62
55歳以上	32	6.1	1	2	1	-	3	4	21
平均年齢	42.8	-	68.0	58.0	50.1	49.3	46.5	44.3	41.7

## 11 階級別勤務年数調

(令和3年4月1日現在)

階級 年数	合計	比率 (%)	団	副	分	副	部	副	団
			長	団	団	分	長	部	長
合計	523	100.0	1	2	8	8	52	52	400
5年未満	145	27.7	-	-	-	-	-	2	143
5年以上10年未満	175	33.5	-	-	-	-	18	23	134
10年以上15年未満	87	16.6	-	-	1	1	19	19	47
15年以上20年未満	72	13.8	-	-	2	3	8	5	54
20年以上25年未満	26	5.0	-	1	2	1	5	-	17
25年以上30年未満	16	3.1	-	1	3	2	2	3	5
30年以上	2	0.4	1	-	-	1	-	-	-
平均	9.3	-	37.0	25.0	22.1	21.1	12.7	10.7	7.9

## 12 消防団員年度別公務災害発生状況

年度別	区分	負傷時の状況									治療期間		
		総数	火災	水災	訓練	特別警戒	点検整備	警防調査	救急	その他	1週間未満	1ヶ月未満	1ヶ月以上
H27	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	4	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	4
H28	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
H29	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H30	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R1	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
R2	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 13 消防団員報酬

(令和3年4月1日現在)

(単位：円)

階級 報酬	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部长	団員
年額	115,000	100,500	80,500	54,500	49,500	40,500	39,500

### 14 消防団員費用弁償

(令和3年4月1日現在)

(単位：円)

種別	火災	水防	その他の災害	警戒	訓練
出動1回につき		4時間未満 4時間以上	3,400 4,500	2,700	2,700

### 15 消防団出動状況

(令和3年4月1日現在)

出動別		合計	火災	風水害	訓練・演習	特別警戒等	その他	管外応援
計	件数	790	386	12	124	116	152	-
	人員	4,783	1,629	67	491	2,082	514	-
本団	件数	77	48	-	8	4	17	-
	人員	218	147	-	14	8	49	-
1分団	件数	94	71	-	7	7	9	-
	人員	519	329	-	32	126	32	-
2分団	件数	161	94	-	31	21	15	-
	人員	1,005	425	-	141	392	47	-
3分団	件数	100	59	6	12	11	12	-
	人員	549	226	31	43	210	39	-
4分団	件数	90	23	6	12	11	38	-
	人員	527	78	36	76	208	129	-
5分団	件数	85	27	-	15	15	28	-
	人員	576	116	-	57	288	115	-
6分団	件数	38	6	-	12	13	7	-
	人員	333	28	-	39	244	22	-
7分団	件数	111	58	-	16	19	18	-
	人員	742	280	-	57	348	57	-
8分団	件数	34	-	-	11	15	8	-
	人員	314	-	-	32	258	24	-

※災害件数は、1災害に対して複数の分団が出動した件数を含めた延べ件数です。

16 消防団施設一覧表

(令和3年4月1日現在)

		器 具 置 場					ホ ー ス 乾 燥 塔							
分団	部	所在地	延(占有)面積(m <sup>2</sup> )	器具置場面積(m <sup>2</sup> )	待機室面積(m <sup>2</sup> )	設置年月	構造	所在地	構造	脚数	高さ(m)	設置年月	サイレン	防災無線
1	1	東町8-10	83.19	29.25	53.94	昭和58年3月	鉄骨造2階 カラー石綿スレート葺	東町8-10	鉄骨	1	13	昭和58年3月	有	無
	2	旭町2-4-18	93.94	46.20	47.74	平成29年3月	鉄筋コンクリート造 複合施設	旭町2-4-18	鉄骨	1	12	平成29年3月	有	無
	3	水引1-1-3	78.00	39.00	39.00	平成17年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	水引1-1-3	鋼管	1	12	平成17年2月	有	無
2	1	上依知290-2	50.92	28.98	21.94	昭和61年10月	木造平屋 カラー鉄板葺	上依知290-2	コンクリート	1	12	昭和61年10月	有	無
	2	猿ヶ島199-2	47.78	28.13	19.65	昭和60年2月	木造平屋 カラー鉄板葺	—	—	—	—	—	有	無
	3	山際982-2	49.89	27.41	22.48	昭和60年11月	鉄骨造2階 複合施設	山際982-2	コンクリート	1	12	昭和60年11月	有	無
	4	関口31	76.23	36.12	40.11	平成16年3月	鉄骨造2階 複合施設	関口31	コンクリート	1	12	平成16年3月	有	無
	5	関口305-4	44.30	25.96	18.34	昭和61年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	関口305-4	コンクリート	1	12	昭和61年8月	有	有
	6	中依知661-6	57.96	28.98	28.98	平成2年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	中依知661-6	コンクリート	1	12	平成2年3月	有	無
	7	下依知2-31-22	48.02	24.84	23.18	昭和63年3月	木造2階 カラー鉄板葺	下依知2-31-22	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有
	8	金田685-3	50.51	28.98	21.53	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	金田685-3	コンクリート	1	12	昭和62年3月	有	有
	9	山際805-4	100.80	45.00	55.80	平成12年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	山際805-4	コンクリート	1	12	平成12年1月	有	無
	10	下川入1366-3	66.24	33.12	33.12	平成4年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	下川入1366-3	コンクリート	1	12	平成4年3月	有	無
3	1	林3-8-52	92.75	34.43	58.32	平成2年2月	鉄骨造2階 カラー石綿コロニアル葺	林3-8-52	鋼管	1	12	平成15年9月	有	無
	2	及川473-3	73.71	35.65	38.06	平成10年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	及川473-3	コンクリート	1	12	平成10年2月	有	有
	3	妻田西2-6-16	79.92	38.88	41.04	平成18年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	妻田西2-6-16	鋼管	1	12	平成18年12月	有	無
	4	三田2727-2	75.60	37.80	37.80	平成21年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	三田2727-2	鋼管	1	12	平成21年12月	有	無
	5	棚沢1593-6	75.75	34.97	40.78	平成13年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	棚沢1593-6	コンクリート	1	12	平成13年2月	有	有

器 具 置 場							ホ ー ス 乾 燥 塔							
分 団	部	所 在 地	延 (占有) 面積 (㎡)	器具置場 面積 (㎡)	待機室 面積 (㎡)	設置年月	構 造	所 在 地	構 造	脚数	高さ (m)	設置 年月	サイレン	防災無線
4	1	上荻野1325-2	52.92	26.46	26.46	平成3年3月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	上荻野1325-2	コンクリート	1	12	平成3年3月	有	無
	2	上荻野1203-2	76.94	30.40	46.54	令和2年3月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上荻野1203-2	鉄 骨	1	12	令和2年3月	有	無
	3	上荻野36-1	78.08	39.04	39.04	平成31年3月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上荻野36-1	コンクリート	1	12	平成31年3月	有	無
	4	中荻野743-7	94.57	48.03	46.54	平成2年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	中荻野743-7	コンクリート	1	12	平成2年3月	有	有
	5	下荻野773-2	72.78	34.90	37.88	平成8年12月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	下荻野773-2	コンクリート	1	12	平成8年12月	有	無
5	1	飯山272-5	80.40	40.20	40.20	平成3年3月	木造2階 石綿スレート葺	飯山272-5	コンクリート	1	12	平成3年3月	有	無
	2	飯山1228-3	46.37	26.50	19.87	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	飯山1228-3	コンクリート	1	12	昭和62年3月	有	無
	3	飯山4586-5	44.30	25.96	18.34	昭和61年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	飯山4586-5	コンクリート	1	12	昭和61年3月	有	有
	4	飯山5100-1	53.80	26.90	26.90	昭和62年8月	木造2階 カラー鉄板葺	飯山5100-1	鉄 骨	4	12	昭和44年1月	有	有
	5	飯山3141-9	79.50	34.78	44.72	平成2年1月	木造2階 石綿スレート葺	飯山3141-9	コンクリート	1	12	平成2年1月	有	無
	6	上古沢77-2	82.06	41.03	41.03	平成27年12月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上古沢77-2	コンクリート	1	12	平成11年2月	有	有
	7	下古沢328-1	45.95	23.18	22.77	平成元年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	下古沢328-1	コンクリート	1	12	平成元年3月	有	有
6	1	七沢1274	79.92	38.88	41.04	平成20年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	七沢1274	鋼 管	1	12	平成20年12月	有	無
	2	七沢1523-7	82.06	41.03	41.03	平成29年3月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	七沢1523-7	コンクリート	1	12	平成29年3月	有	無
	3	七沢199-8	76.33	26.08	50.25	平成元年2月	鉄骨一部木造2階 石綿スレート葺	七沢199-8	コンクリート	1	12	平成元年2月	有	無
	4	小野839-1外	83.72	41.86	41.86	平成9年2月	木造2階 亜鉛メッキ鋼葺	小野839-1	コンクリート	1	12	平成9年2月	有	無
	5	小野2161-1	53.82	28.98	24.84	昭和60年3月	木造2階 カラー鉄板葺	小野2161-1	コンクリート	1	12	昭和60年3月	有	有
	6	岡津古久878-11	79.70	39.85	39.85	平成27年1月	軽量鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	岡津古久878-11	鋼 管	1	12	平成27年1月	有	無

器 具 置 場							ホ ー ス 乾 燥 塔							
分 団	部	所 在 地	延 (占 有) 面	器具置 場	待機室 面積	設置年 月	構 造	所 在 地	構 造	脚数	高さ (m)	設置 年月	サイレン	防災無線
7	1	戸室2-5-17	60.48	30.24	30.24	平成4年3月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	戸室2-5-17	コンクリート	1	12	平成4年3月	有	無
	2	恩名3-4-25	48.86	28.99	19.87	昭和59年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	恩名3-4-25	コンクリート	1	12	昭和59年2月	有	無
	3	温水西2-2-20	88.08	44.04	44.04	令和3年2月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	温水西2-2-20	鉄 骨	1	12	令和3年2月	有	無
	4	温水612	49.68	24.84	24.84	昭和63年3月	鉄骨造2階 複合施設	温水612	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有
	5	愛名36-8	46.37	23.18	23.19	昭和63年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	愛名36-8	コンクリート	1	12	昭和63年12月	有	無
	6	長谷1574-3	43.92	24.16	19.76	昭和62年8月	鉄骨造2階 複合施設	南 毛 利 分 署 兼 用						
	7	船子1250-2	46.37	23.18	23.19	昭和63年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	船子1250-2	コンクリート	1	12	昭和63年12月	有	無
	8	愛甲西1-3-5	75.92	34.39	41.53	平成11年1月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	愛甲西1-3-5	コンクリート	1	12	平成11年1月	有	有
	9	愛甲東2-8-2	46.74	23.19	23.55	昭和62年9月	木造2階 カラー鉄板葺	愛甲東2-8-2	鉄 骨	4	12	昭和50年3月	有	有
8	1	岡田4-19-16	53.82	28.98	24.84	昭和59年10月	木造2階 カラー鉄板葺	岡田4-19-16	鉄 骨	4	16	昭和41年2月	有	有
	2	酒井2090-8	80.38	39.95	40.43	平成5年3月	木造2階 ガルバリウム鋼板葺	酒井2090-8	コンクリート	1	12	平成5年3月	有	無
	3	酒井940-1	75.67	37.17	38.50	平成14年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	酒井940-1	コンクリート	1	12	平成14年2月	有	無
	4	戸田1202-3	62.10	33.12	28.98	平成6年3月	木造平屋 亜鉛メッキ葺	戸田1202-3	コンクリート	1	12	平成6年3月	有	有
	5	長沼160-2	46.37	23.19	23.18	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	長沼160-2	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有
	6	下津古久716-3	48.02	26.49	21.53	昭和61年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	下津古久716-3	コンクリート	1	12	昭和61年12月	有	無
	7	上落合555-2	81.14	39.89	41.25	平成17年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上落合555-2	鋼 管	1	12	平成17年12月	有	無

17 消防団車両保有状況

(令和3年4月1日現在)

分団	部	車両番号	型式	登録年月	ポンプ性能		
					社名	馬力	級別
本団		相模800せ1816	スバル DBA-SJ5	平成29年12月	—	—	—
1	1	相模800す5003	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800す5004	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模830せ103	ニッサン CBF-SQ2F24	令和2年1月	トーハツ	30	B 3
2	1	相模800す866	ニッサン TC-SH4F23	平成17年3月	トーハツ	62	B 2
	2	相模830す202	ニッサン CBF-SQ2F24	平成31年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模830す203	ニッサン CBF-SQ2F24	平成29年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模800す4185	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模830さ205	ニッサン CBF-SQ2F24	令和3年2月	トーハツ	30	B 3
	6	相模800さ9166	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	7	相模830す207	ニッサン CBF-SQ2F24	平成31年2月	トーハツ	30	B 3
	8	相模830そ208	ニッサン CBF-SQ2F24	令和2年1月	トーハツ	30	B 3
	9	相模800す1890	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	10	相模800す1891	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	62	B 2
3	1	相模800す867	ニッサン TC-SH4F23	平成17年3月	トーハツ	62	B 2
	2	相模800す5755	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800す5761	ニッサン PDG-SZ5F24	平成22年2月	マキタ沼津	43	B 2
	4	相模830す304	ニッサン CBF-SQ2F24	令和3年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800す4186	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
4	1	相模830さ401	ニッサン CBF-SQ2F24	平成29年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800さ7546	ニッサン GE-SH4F23	平成15年1月	トーハツ	46	B 3
	3	相模830さ403	ニッサン CBF-SQ2F24	令和3年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模830せ404	ニッサン CBF-SQ2F24	平成31年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模830さ405	ニッサン CBF-SQ2F24	令和2年1月	トーハツ	30	B 3

分団	部	車両番号	型式	登録年月	ポンプ性能		
					社名	馬力	級別
5	1	相模800す1892	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	62	B 2
	2	相模800さ9167	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	3	相模830す503	ニッサン CBF-SQ2F24	令和2年1月	トーハツ	30	B 3
	4	相模800す7818	ニッサン CBF-SQ2F24	平成25年3月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800す605	ニッサン TC-SH4F23	平成16年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ6012	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	7	相模800す5756	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
6	1	相模800す5005	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800す4187	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模830す603	ニッサン CBF-SQ2F24	平成30年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模830さ604	ニッサン CBF-SQ2F24	平成30年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模830す605	ニッサン CBF-SQ2F24	平成31年2月	トーハツ	30	B 3
	6	相模800す604	ニッサン TC-SH4F23	平成16年12月	トーハツ	46	B 3
7	1	相模800す1893	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	2	相模800す5757	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800す5006	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模800す9397	ニッサン GBF-SQ2F24	平成27年3月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800す3118	ニッサン TC-SH4F23	平成18年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ6013	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	7	相模800さ9168	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	8	相模830さ708	ニッサン GBF-SQ2F24	令和3年2月	トーハツ	30	B 3
	9	相模800さ9102	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3

分団	部	車 両 番 号	型 式	登 録 年 月	ポ ン プ 性 能		
					社 名	馬 力	級 別
8	1	相模800す4188	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800さ6014	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	3	相模800す9361	いすゞ TKG-NHS85AN	平成27年2月	トーハツ	62	B 2
	4	相模800す3119	ニッサン TC-SH4F23	平成18年12月	トーハツ	62	B 2
	5	相模800す1894	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800す5758	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	7	相模800さ9169	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3

小型動力ポンプ付積載車 52台

## 18 水防・資材倉庫施設一覧表

(令和3年4月1日現在)

名 称		所 在 地	延(占有) 面積(m <sup>2</sup> )	設 置 年 月	構 造
水 防 倉 庫	厚木水防倉庫	旭町2丁目4番18号	29.60	平成29年3月	鉄筋コンクリート
	依知水防倉庫	中依知661番6	26.50	平成2年3月	木造カラー石綿葺
	林水防倉庫	林3丁目1567番先	33.12	昭和54年4月	木造亜鉛葺
	睦合水防倉庫	三田2727番地2	29.40	平成21年12月	鉄骨造ガルバリウム鋼板葺
	荻野水防倉庫	上荻野1203番地2	41.10	令和2年3月	鉄骨造
	小鮎水防倉庫	飯山1433番地1	33.12	昭和57年3月	木造亜鉛葺
	玉川水防倉庫	小野2161番地	39.74	昭和60年3月	木造カラー鉄板瓦棒葺
	南毛利水防倉庫	温水612番地	31.05	昭和63年3月	鉄骨造
	相川水防倉庫	戸田366番地3	45.54	昭和63年1月	鉄骨造
資 材 倉 庫	関口資材倉庫	関口31番地	100.00	平成16年3月	鉄骨造カラー鉄板
	毛利台資材倉庫	毛利台1丁目28番8号	31.10	昭和62年12月	鉄骨造炭酸マグネシウム板
	荻野資材倉庫	下荻野1071番地4	39.74	昭和58年3月	プレハブ平屋造カラー鉄板

# 厚木鳶職組合 古式消防保存会

## 1 古式消防保存会のあゆみ

厚木市鳶職組合によって創設された古式消防保存会は、惜しまれる古式消防のしきたりを後継者に引継ぎ、消防昔日の姿を保存することを目的に、昭和45年5月9日に会員59人を以て結成された。

現在は、年頭における消防出初め式をはじめ、各種福祉施設等に出向き、木遣り歌、はしご乗りの勇姿を披露、大勢の方々から大きな期待が寄せられている。

古式消防保存会歴代会長

就任日	会 長 名	
昭和45. 5. 9	初代会長	飯島 正治 氏
昭和49. 3. 15	2代目会長	石井 倉造 氏
昭和53. 4. 1	3代目会長	桐生 高雄 氏
平成元. 4. 1	4代目会長	井上 忠雄 氏
平成3. 4. 1	5代目会長	小池 高利 氏
平成5. 4. 1	6代目会長	加藤 邑夫 氏
平成7. 4. 1	7代目会長	小池 高利 氏
平成13. 4. 1	8代目会長	中村 直二 氏
平成17. 4. 1	9代目会長	栗原 幸男 氏
平成25. 4. 1	10代目会長	森屋 知之 氏



※厚木鳶職組合は、昭和39年に初代組合長である内田石松氏と組合員19人で結成された。その後、2代目組合長として関野保治氏（昭和41年就任）、3代目組合長として森屋種治氏（昭和43年就任）が組織の拡大に尽力を注ぎ、4代目組合長として飯島正治氏（昭和45年就任）が就任した際に、古式消防保存会が創設された。

## 2 組織図

